

2018
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 生涯スポーツ学部 1 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

平成30年度 北翔大学・北翔大学短期大学 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
						4/1	
4/2	4/3 在学生オリエンテーション	4/4 入学式	4/5 オリエンテーション	4/6 オリエンテーション	4/7	4/8	
4/9 ①	4/10 ①	4/11 ①	4/12 ①	4/13 ①	4/14	4/15	教育学科養護教諭コース3年次 養護実習：4/9～4/27
4/16 ②	4/17 ②	4/18 ②	4/19 ②	4/20 ②	4/21	4/22	
4/23 ③	4/24 ③	4/25 ③	4/26 ③	4/27 ③	4/28	4/29	昭和の日
4/30 振替休日	5/1 7/16の振替休日	5/2 9/24の振替休日	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	5/6	
5/7 ④	5/8 ④	5/9 ④	5/10 ④	5/11 ④	5/12	5/13	
5/14 ⑤	5/15 ⑤	5/16 ⑤	5/17 ⑤	5/18 ⑤	5/19	5/20	こども学科2年次 教育実習：5/14～6/1
5/21 ⑥	5/22 ⑥	5/23 ⑥	5/24 ⑥	5/25 ⑥	5/26	5/27	
5/28 ⑦	5/29 ⑦	5/30 ⑦	5/31 ⑦	6/1 ⑦	6/2	6/3	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6/18～6/29
6/4 ⑧	6/5 ⑧	6/6 ⑧	6/7 ⑧	6/8 ⑧	6/9	6/10	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6/27～6/29
6/11 ⑨	6/12 ⑨	6/13 ⑨	6/14 ⑨	6/15 ⑨	6/16	6/17	
6/18 ⑩	6/19 ⑩	6/20 ⑩	6/21 ⑩	6/22 ⑩	6/23	6/24	
6/25 ⑪	6/26 ⑪	6/27 ⑪	6/28 ⑪	6/29 ⑪	6/30	7/1	
7/2 ⑫	7/3 ⑫	7/4 ⑫	7/5 ⑫	7/6 ⑫	7/7	7/8	
7/9 ⑬	7/10 ⑬	7/11 ⑬	7/12 ⑬	7/13 ⑬	7/14	7/15	
7/16 海の日⑭	7/17 ⑭	7/18 ⑭	7/19 ⑭	7/20 ⑭	7/21	7/22	
7/23 ⑮	7/24 ⑮	7/25 ⑮	7/26 ⑮	7/27 ⑮	7/28	7/29	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ：8月
7/30 補講・試験日(月)	7/31 補講・試験日(火)	8/1 補講・試験日(水)	8/2 補講・試験日(木)	8/3 補講・試験日(金)	8/4	8/5	教育学科養護教諭コース2年次 看護学臨床実習：8月中
8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11 山の日	8/12	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8/20～9/28
8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19	健康福祉学科3年次 相談援助実習：8月～9月
8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園 8/20～9/7 小学校 8/20～9/14
8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2	
9/3	9/4	9/5 学園創立記念日	9/6	9/7	9/8	9/9	心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	こども学科2年次 保育実習(保育所)：8月～9月
9/17 敬老の日	9/18	9/19	9/20 オリエンテーション	9/21 ①	9/22	9/23	こども学科2年次 保育実習(施設)：9月～12月
9/24 振替休日①	9/25 ①	9/26 ①	9/27 ①	9/28	9/29 大学祭	9/30	
10/1 ②	10/2 ②	10/3 ②	10/4 ②	10/5 ②	10/6	10/7	
10/8 体育の日	10/9 ③	10/10 ③	10/11 ③	10/12 ③	10/13	10/14	
10/15 ④	10/16 ④	10/17 ④	10/18 ④	10/19 ④	10/20	10/21	
10/22 ⑤	10/23 ⑤	10/24 ⑤	10/25 ⑤	10/26 ⑤	10/27	10/28	
10/29 ⑥	10/30 ⑥	10/31 ⑥	11/1 ⑥	11/2 ⑥	11/3 文化の日	11/4	
11/5 ⑦	11/6 ⑦	11/7 ⑦	11/8 ⑦	11/9 ⑦	11/10	11/11	
11/12 ⑧	11/13 ⑧	11/14 ⑧	11/15 ⑧	11/16 ⑧	11/17	11/18	
11/19 ⑨	11/20 ⑨	11/21 ⑨	11/22 ⑨	11/23 勤労感謝の日⑩	11/24	11/25	
11/26 ⑩	11/27 ⑩	11/28 ⑩	11/29 ⑩	11/30 ⑩	12/1	12/2	
12/3 ⑪	12/4 ⑪	12/5 ⑪	12/6 ⑪	12/7 ⑪	12/8	12/9	
12/10 ⑫	12/11 ⑫	12/12 ⑫	12/13 ⑫	12/14 ⑫	12/15	12/16	
12/17 ⑬	12/18 ⑬	12/19 ⑬	12/20 ⑬	12/21 ⑬	12/22	12/23	天皇誕生日
12/24 振替休日	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	
12/31	1/1 元旦	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	
1/7 ⑭	1/8 ⑭	1/9 ⑭	1/10 ⑭	1/11 ⑭	1/12	1/13	
1/14 成人の日	1/15 11/23の振替休日	1/16 ⑮	1/17 ⑮	1/18 ⑮	1/19	1/20	
1/21 ⑯	1/22 ⑯	1/23 補講・試験日(火)	1/24 補講・試験日(水)	1/25 補講・試験日(木)	1/26	1/27	
1/28 ⑰	1/29 補講・試験日(火)	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	
2/4 補講・試験日(月)	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2/12～3/11
2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2月
2/25	2/26	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：3月
3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	
3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	
3/18	3/19 学位記授与式	3/20	3/21 春分の日	3/22	3/23	3/24	
3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2018（平成30）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教育課程表

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
導入科目							
基礎教育セミナーⅠ	演習	①		担当教員	スポーツ教育学科		1
				担当教員	健康福祉学科		2
基礎教育セミナーⅡ	演習	①		担当教員	スポーツ教育学科		3
				担当教員	健康福祉学科		4
基礎科目							
日本語表現	講義	①		小杉直美			5
				岩本希			
				小坂守孝			
				村松幹男			
				石原深雪			
				小原信夫			
				前川公美夫			
				福田信一			
数学入門	講義	①		松澤衛			6
				佐藤克之			
				竹内雅明			
				三浦公裕			
				水野信太郎			
				菊池隆夫			
				佐々木雅史			
				西村光弘			
情報機器操作Ⅰ	演習	②		伊藤博晃	スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 社会教育主事_選必	7
				榎洋一			
				大関慎	健康福祉学科	[健]社会教育主事_選必	8
情報機器操作Ⅱ	演習	②		伊藤博晃	スポーツ教育学科		9
				榎洋一			
				伊藤博晃	健康福祉学科		10
健康体育(実技を含む)	講義・実	2		畝中智志	スポーツ教育学科		11
				大西昌美	集中講義		
				永谷稔			
				近藤雄一郎			
				重成敏史			
英語コミュニケーションⅠ	演習	②		C.B.サイモンズ	スポーツ教育学科	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	12
				デニス クイン	健康福祉学科		13
外国語科目							
英語コミュニケーションⅡ	演習		2	C.B.サイモンズ	スポーツ教育学科		14
				デニス クイン	健康福祉学科		15

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
就業力養成科目							
キャリアデザイン I	講義	①		永井秀岳			16
				小川美夏			
外国人留学生科目							
日本語	講義	2		田光子			17
現代日本の文化	講義		2	菊地達夫	集中講義		18

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
心理学概論	講義	2		澤 聡 一	健康福祉学科・ 心理カウンセリング学科 専門科目	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、 社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、 認定心理士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	19
発達心理学	講義	2		新川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人間関係の心理学	講義		2	小坂 守 孝	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必 [教][芸]社会教育主事_必修 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、 社会教育主事_必修	21
乳幼児心理学	講義		2	新川 貴 紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
福祉心理学	講義		2	佐藤 至 英	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	23
社会と生活に関する科目群							
社会学	講義	2		森下 義 亜	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][教][芸]社会教育主事_選必 [心]精神保健福祉士_選必、社会福祉主事_選必、 社会教育主事_選必	24
文化と芸術に関する科目群							
音楽概論	講義		2	今井 敏 勝	教育学科(音)専門科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静 子	芸術学科専門科目		26
				富田 玲 子			
インテリアデザイン	演習	2		千里 政 文	芸術学科専門科目		27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千里 政 文	芸術学科専門科目	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次	前後				
心身・健康に関する科目群							
食生活と健康	講義	2		黒田裕太	スポーツ教育学科専門科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	29
発達心理学	講義	2		新川貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	20
人間関係の心理学	講義		2	小坂守孝	心理カウンセリング学科 専門科目	[ス][健]社会教育主事_選必 [教][芸]社会教育主事_必修 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、 社会教育主事_必修	21
乳幼児心理学	講義		2	新川貴紀	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	22
福祉心理学	講義		2	佐藤至英	心理カウンセリング学科 専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、 福祉心理士_選必	23
文化と芸術に関する科目群							
音楽概論	講義		2	今井敏勝	教育学科(音)専門科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	25
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田 静子	芸術学科専門科目		26
				富田 玲子			
インテリアデザイン	演習	2		千里政文	芸術学科専門科目		27
ユニバーサルデザイン	講義		2	千里政文	芸術学科専門科目	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	28

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
生涯スポーツ学	講義	②		川西正志	スポーツ教育学科	[ス]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	31
				小坂井留美	健康福祉学科	[健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	32
生涯学習論	講義	2		谷川松芳		[ス][健]社会教育主事_必修	33
栄養と健康	講義		2	黒田裕太		[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、 認定トレーニング_必修、公認スポーツ 指導者(I・II・III)_必修 [健]実践指導者_必修、公認スポーツ指 導者(I・II・III)_必修	34
健康学	講義	②		小田史郎		[ス]実践指導者_必修、指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、実践指導者_必修	35
介護予防論	講義	2		小田史郎	健康福祉学科		36
				小坂井留美			
				吉田修大			
スポーツ心理学	講義	2		吉田聡美		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSUスポ ーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、 公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修、 レク・コーディネ_必修 [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	37
スポーツ運動学	講義	2		廣田修平		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	38
生理学	講義	2		柴田啓介		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、公認ス ポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	39
運動生理学	講義		2	井出幸二郎		[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 実践指導者_必修、指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー_必修、認定トレー ニング_必修、アスレティックトレー ナー_必修、レク・コーディネ_必修	40

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
スポーツ教育学概論	講義	②		永谷 稔		[ス]JPSUスポーツトレーナー_必修、 レク・コーディネ_必修	41
				阿部 達彦			
				上田 知行			
				菊地 はるひ			
				小坂井 留美			
				竹田 唯史			
吉田 真							
食生活と健康	講義	2		黒田 裕太	発展科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	42
基礎解剖学	講義	2		高田 真吾	健康福祉学科同時展開	[ス][健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	43
機能解剖学	講義		2	吉田 真		[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、 認定トレーニング_必修、アスレティック トレーナー_必修	44
トレーニング論	講義		2	瀧澤 一騎	健康福祉学科同時展開	[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、 認定トレーニング_必修、公認スポーツ 指導者(I・II・III)_必修 [健]実践指導者_必修、公認スポーツ指 導者(I・II・III)_必修	45
トレーニング演習	演習		2	井出 幸二郎	健康福祉学科同時展開	[ス]実践指導者_必修、指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_必修、 認定トレーニング_必修、アスレティック トレーナー_必修 [健]実践指導者_必修	46
				上田 知行			
				近藤 雄一郎			
				重成 敏史			
				高田 真吾			
				山本 敏美			
コーチ学	講義		2	大西 昌美	健康福祉学科同時展開	[ス]認定トレーニング_必修、公認ス ポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	47
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	実技	1		花井 篤子	選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、 JPSUスポーツトレーナー_選必	48
				高屋敷 亨子			
				中村 恵			
				畠山 綾子			
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大宮 真一	選択必修科目	[ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、 ジュニアスポーツ指導員_必修	49
				品田 吉博			
				松橋 昌巳			
					健康福祉学科同時展開	[健]実践指導者_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修	

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
生涯スポーツ(器械運動)	実技		1	廣田修平	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、 ジュニアスポーツ指導員_必修 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修	50
				川端茂夫			
生涯スポーツ(エアロビック)	実技		1	菊地はるひ	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、エアロビック指導員_必修 [健]実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修	51
生涯スポーツ(バドミントン)	実技		1	竹内雅明	選択必修科目	[ス]中・高1種(保健体育)_選択、 JPSUスポーツトレーナー_選必	52
				北村優明			
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永谷稔	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	53
				工藤憲			
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技		1	畝中智志	選択必修科目 健康福祉学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、 ジュニアスポーツ指導員_必修 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修	54
				横山茜理			
冬季スポーツボランティア実習	実習		2	渡部峻	集中講義		55
				竹田唯史			
特別支援教育総論	講義		2	瀧澤聡	教育学科同時展開 一部集中講義	[ス][教]特支1種_必修	56
				阿部達彦			
				佐藤至英			
				石塚誠之			
				伊藤政勝			
				細谷一博			

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
アスレティックトレーナー概論	講義		②	吉田真		[ス]アスレティックトレーナー_必修	57

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
教職概論	講義		②	西村貴之		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	59
教育原理	講義		②	堂徳将人		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	60
教育心理学	講義		②	新川広樹		[ス]中・高1種(保健体育)_必修	61

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
健康福祉学概論	講義	②		小田 史郎			63
				本間 美幸			
				吉田 修大			
健康運動実践論	講義	②		小田 史郎		[健]実践指導者_必修	64
				新開谷 深			
コ ー チ 学	講義		2	大西 昌美	スポーツ教育学科同時展開	[健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [ス]認定トレーニング_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	65
基礎解剖学	講義		2	高田 真吾	スポーツ教育学科同時展開	[健][ス]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	66
トレーニング論	講義		2	瀧澤 一騎	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [ス]実践指導者_必修、指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修	67
トレーニング演習	演習		2	井出 幸二郎	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修 [ス]実践指導者_必修、指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_必修、認定トレーニング_必修、アスレティックトレーナー_必修	68
				上田 知行			
				近藤 雄一郎			
				重成 敏史			
				高田 真吾			
				山本 敏美			
レジャー・レクリエーション論	講義		2	徳田 真彦		[健]レク・インスト_必修 [ス]レク・インスト_必修、レク・コーディネ_必修	69
生涯スポーツ(陸上競技)	実技	1		大宮 真一	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修	70
				品田 吉博			
				松橋 昌巳			
生涯スポーツ(器械運動)	実技		1	廣田 修平	スポーツ教育学科同時展開	[健]ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修	71
生涯スポーツ(バレーボール)	実技		1	永谷 稔	スポーツ教育学科同時展開	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必	72
生涯スポーツ(バスケットボール)	実技		1	横山 茜理	スポーツ教育学科同時展開	[健]ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修	73
生涯スポーツ(エアロビック)	実技		1	菊地 はるひ	スポーツ教育学科同時展開	[健]実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修 [ス]実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必、エアロビック指導員_必修	74
精神保健	講義		2	杉岡 品子		[健]介護福祉士_必修	75
生活の中の介護福祉	講義		2	福島 義典		[健]介護福祉士_選必	76

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
介護予防実践演習	演習		2	小田 史郎	集中講義		77
				阿部 豊			
				岩本 希			
				尾形 良子			
				梶 晴美			
				黒澤 直子			
				小坂井 留美			
				佐藤 郁子			
				佐藤 克之			
				杉岡 品子			
				本間 美幸			
				八巻 貴穂			
吉田 修大							
医学概論	講義		2	大宮司 信		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	78
医学知識	講義		2	大宮司 信	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_必修	79
社会学	講義		2	松下 守邦		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必	80
心理学概論	講義		2	澤 聡一	発展科目 心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_選必、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	81
ソーシャルワーク概説Ⅰ	講義	②		岩本 希	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	82
ソーシャルワーク概説Ⅱ	講義		2	岩本 希	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	83
ソーシャルワーク論Ⅰ	講義		2	尾形 良子		[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修	84
高齢者福祉論Ⅰ	講義		2	吉田 修大	介護福祉士養成課程以外	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	85
				若狭 重克	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	86
児童・家庭福祉論	講義		2	小松 留美子		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	87
生活生理学	講義		2	長屋 智美		[健]介護福祉士_必修	88
介護概論Ⅰ	講義		2	本間 美幸	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必	89
介護技術演習Ⅰ	演習		1	藤原 素子	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	90

全学共通科目

科目名	基礎教育セミナーⅠ			授業形態	演習	単位数	1	
教員名	スポーツ教育学科担当教員							
授業の目的	ねらい	本講義では大学での講義をより効果的に受けていくために、基本的な講義受講のポイントや文章の書き方、あるいは図書検索・レポートの書き方や環境学習の基礎知識を学ぶ。講義は10名程度の少人数クラスで構成し、入学後4年間の学習に活かせる学芸技能の習得を目指す。また、教育の理念、建学の精神を理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身に付ける。 (2)文章の書き方を身に付ける。 (3)図書検索・レポートの書き方を身に付ける。 (4)環境学習の基礎知識を身に付ける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 大学で学ぶこと 【計画内容】 学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、G
	第3回	【テーマ】 メンタルヘルス 【計画内容】 心理カウンセラーの講話を通して、健康やメンタルヘルスの重要性を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、G、K
	第4回	【テーマ】 講義の受講の仕方1 【計画内容】 講義受講の基礎を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】 講義の受講の仕方2 【計画内容】 講義受講の応用を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】 講義の受講の仕方3 【計画内容】 講義受講の発展を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】 文章の書き方1 【計画内容】 文章の書き方の基礎を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】 文章の書き方2 【計画内容】 文章の書き方の応用を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】 文章の書き方3 【計画内容】 文章の書き方の発展を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第10回	【テーマ】 図書検索・レポートの書き方1 【計画内容】 図書検索・レポートの書き方の基礎を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A
	第11回	【テーマ】 図書検索・レポートの書き方2 【計画内容】 図書検索・レポートの書き方の応用を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A
	第12回	【テーマ】 図書検索・レポートの書き方3 【計画内容】 図書検索・レポートの書き方の発展を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、H
	第13回	【テーマ】 環境学習1 【計画内容】 環境学習の基礎を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、J
	第14回	【テーマ】 環境学習2 【計画内容】 環境学習の応用を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、M
	第15回	【テーマ】 環境学習3 【計画内容】 環境学習の発展を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、M
テキスト	教育支援総合センター編、2018年、『北翔スタンダードの確立をめざして』、北翔大学・北翔大学短期大学部							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%		60%	20%	
	補足			平時		平時	学力到達度	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格								
その他	毎回、「基礎学力向上」に関する評価を実施します。							

科目名	基礎教育セミナーⅠ		授業形態	演習	単位数	1	
教員名	健康福祉学科担当教員						
授業の目的	ねらい	本講義では、本学の教育理念、建学の精神を理解し、大学での講義をより効果的に受けるために必要な情報検索、ノートテイキング、リーディング等の基礎知識を習得する。また、大学生活に必要な基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を身につける。さらに、地域貢献の前提となる基礎知識を学び、実践する準備を行う。					
	到達目標	(1)講義の受講の仕方を身につける。 (2)文章の読解力を身につける。 (3)図書検索・情報検索の方法を身につける。 (4)人と接する際の基本的なマナーを身につける。 (5)地域貢献活動のため地域への理解を進め、コミュニケーションや活動スキルの基礎を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】大学で学ぶということ 【計画内容】学長講話を通して、大学で学ぶことの意義と姿勢を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A				
	第3回	【テーマ】母校への手紙1 【計画内容】出身高校へ大学入学後の近況報告の手紙を送付することを通して、目上の方などに送る、基本的な手紙の文章構成と書き方を知る。 【準備学習の内容】手紙に書く内容を考えてくる。	A、B				
	第4回	【テーマ】メンタルヘルス 【計画内容】学生相談室心理カウンセラーの講話を通して、メンタルヘルスについて学び、その重要性を理解する。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A				
	第5回	【テーマ】情報検索の方法 【計画内容】図書館ガイダンスにより、図書館の活用方法について学ぶ。また、インターネットを用いた情報検索の方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A、B				
	第6回	【テーマ】母校への手紙2 【計画内容】各自がワープロで作成した出身高校への手紙の添削を受け、手紙の書き方を学び、文章表現力を向上させる。 【準備学習の内容】手紙を書いて用意する。	B				
	第7回	【テーマ】ノートテイキング 【計画内容】ノートを取るの意味、ノートテイクの基本、効果的なノートテイクの技法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A、K				
	第8回	【テーマ】文献・情報検索演習 【計画内容】図書館ガイダンスで学んだ情報検索方法を使って、実際に自分の関心あるキーワードで文献検索を行い、図書館でその文献を借りるまでを、体験を通して学ぶ。 【準備学習の内容】図書館ガイダンスで学んだことを復習してくる。	B				
	第9回	【テーマ】リーディング1 【計画内容】効率良く文章を読む方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A、B				
	第10回	【テーマ】リーディング2 【計画内容】文章を掘り下げて読む方法、長文の要旨をまとめる方法を学ぶ。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当章を読んでおくこと。	A、B				
	第11回	【テーマ】キャリア教育 【計画内容】人と接する際の基本的なマナー(姿勢、態度、言葉遣い)を学ぶ。 【準備学習の内容】マナーについて調べてくる。	A、B				
	第12回	【テーマ】地域貢献1-地域食堂・子ども食堂オリエンテーション 【計画内容】地域貢献の一環として実施している地域食堂・子ども食堂に運営として参加するためのオリエンテーションを行う。 【準備学習の内容】地域食堂・子ども食堂について調べておく。	A				
	第13回	【テーマ】地域貢献2-地域食堂・子ども食堂 事前準備 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。	A、D				
	第14回	【テーマ】地域貢献3-地域食堂・子ども食堂 事前準備2 【計画内容】地域食堂・子ども食堂に参加するために必要な、基本的な調理や喫茶の知識および技術を学ぶ。 【準備学習の内容】前回のオリエンテーションの内容を復習をしてくる。	A、D				
	第15回	【テーマ】前学期の振り返りとまとめ 【計画内容】前学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】前学期の学びを振り返り復習しておくこと。	L				
テキスト	教育支援総合センター編、2018年、『北翔スタンダードの確立をめざして』、北翔大学・北翔大学短期大学部						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格							
その他	4～5回 常識力を確認します。						

科目名	基礎教育セミナーⅡ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	スポーツ教育学科担当教員							
授業の目的	ねらい	本講義では「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容の向上を目指す。また、2年次以降の学習に向けて、学部教員の専門分野について概要説明(ブリーフィング)を受け、学生個々人の方向性を決定する上で基盤となる、本学部・学科についての知識や理解度も深めていくことを目標とする。						
	到達目標	(1)「基礎教育セミナーⅠ」で習得した内容を向上させる。 (2)学部・学科教員の専門分野を知る。 (3)2年次以降の学習の方向性を明確にする。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第6回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第7回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第8回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第9回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第11回	【テーマ】 学部・学科教員の専門分野に関するブリーフィング 【計画内容】 担当教員の専門分野について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】 「基礎教育セミナーⅡ」受講報告会 【計画内容】 ブリーフィングを聞いた感想をクラス内で発表していく。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A、F
	第13回	【テーマ】 ディベート1 【計画内容】 ディベートの基礎を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A、I
	第14回	【テーマ】 ディベート2 【計画内容】 ディベートの応用を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A、I
	第15回	【テーマ】 ディベート3 【計画内容】 ディベートの発展を理解する。(全教員) 【準備学習の内容】 配付されたプリントを予習しておくこと。						A、I
テキスト	教育支援総合センター編、2018年、『北翔スタンダードの確立をめざして』、北翔大学・北翔大学短期大学部							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%		60%	20%	
	補足			平時		平時	学力到達度	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格								
その他	毎回「基礎学力向上」に関する評価を実施します。							

科目名	基礎教育セミナーⅡ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	健康福祉学科担当教員							
授業の目的	ねらい	本講義では、大学での講義に必要なライティングの基礎を習得する。また、福祉教養としてボランティアについて基礎を学び、実践につながる力を養う。さらに健康福祉学科の特徴である地域貢献事業を実践し、回を重ねるごとに地域住民との双方向性のコミュニケーションのあり方を身につけ、人生の先輩からさまざまなことを学びながら、自らも役立つという経験を深めていく。						
	到達目標	(1)基本的なレポート作成方法を身につける。 (2)福祉教養としてのボランティアについて理解し、実践力を身につける。 (3)地域住民と円滑なコミュニケーションができるようになる。 (4)さまざまな地域住民から成り立っている地域社会のあり方を理解する。 (5)他者への配慮や大学生という特性を生かした活動を経験する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義内容を紹介し、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 地域貢献4ー地域食堂・子ども食堂 事前説明 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加するための事前説明を行う。 【準備学習の内容】 説明内容を復習し実践に備える。						A
	第3回	【テーマ】 ライティング1 【計画内容】 事実と意見を区別する書き方を学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、B
	第4回	【テーマ】 ライティング2 【計画内容】 問題提起をするための文章表現を学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、B
	第5回	【テーマ】 地域貢献5ー地域食堂・子ども食堂参加1 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流する。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第6回	【テーマ】 地域貢献6ー地域食堂・子ども食堂参加2 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流する。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第7回	【テーマ】 ライティング3 【計画内容】 レポートの構成方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、B
	第8回	【テーマ】 ライティング4 【計画内容】 構成を考えたレポート作成を学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、B
	第9回	【テーマ】 地域貢献7ー地域食堂・子ども食堂参加3 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第10回	【テーマ】 地域貢献8ー地域食堂・子ども食堂参加4 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して住民のニーズを知る。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第11回	【テーマ】 福祉教養1 【計画内容】 外部講師を招き、ボランティアについて、ボランティアの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 ボランティアについて調べてくる。						A
	第12回	【テーマ】 地域貢献9ー地域食堂・子ども食堂参加5 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第13回	【テーマ】 地域貢献10ー地域食堂・子ども食堂参加6 【計画内容】 地域貢献の一環として地域食堂・子ども食堂に運営として参加し、地域住民との交流を通して地域の課題を考える。 【準備学習の内容】 事前説明の内容を復習し実践に備える。						M
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーションの方法 【計画内容】 卒業研究報告会に参加し、プレゼンテーション方法について理解を深める。 【準備学習の内容】 指定したテキストを読んでおくこと。						A、K
	第15回	【テーマ】 後学期の振り返りとまとめ 【計画内容】 後学期の振り返りを行い、理解度を確認する。 【準備学習の内容】 後学期の振り返りを行っておくこと。						L
テキスト	教育支援総合センター編、2018年、『北翔スタンダードの確立をめざして』、北翔大学・北翔大学短期大学部							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格								
その他	4～5回 常識力を確認します。							

科目名	日本語表現				授業形態	講義	単位数	1
教員名	小杉 直美、岩本 希、小坂 守孝、村松 幹男、石原 深雪、小原 信夫、前川 公美夫、福田 信一							
授業の目的	ねらい	日本語による表現能力の向上と、基本的知識の修得を目的とします。その表記方法(文字・語彙・文法・文体等)を学習し、文章の種類・形態と文章を書くときの要領について学習します。伝えることの大切さを意識すると同時に、日本語の各分野における能力を向上させることを目的としています。各自が持つ日本語表現能力を向上させ、効果的で円滑なコミュニケーションを図ることができるように、基礎的な力を付けることを目的としています。						
	到達目標	(1)自らの日本語の能力を知り、言葉の大切さを意識することができる。 (2)自らの日本語表現能力を高めることができる。 (3)必要な情報を読み取り、適切に伝えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 書き言葉を使いこなすために 【計画内容】 レポートや報告書を作成するための基本的なスキルとして書き言葉のルールを確認します。 【準備学習の内容】 テキストの第一章「書き言葉を使いこなすために」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第2回	【テーマ】 筆順について 【計画内容】 筆順の考え方を、「筆順指導の手引」に基づきながら、二つの大原則と、八つの原則に分類して学びます。 【準備学習の内容】 テキストの第二章「筆順について」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第3回	【テーマ】 四字熟語・慣用句 【計画内容】 社会人の常識として必須であり、就職試験(SPI-Ⅱなど)にも出題頻度の高い、四字熟語・慣用句の知識を確認し、理解不足を補う機会とします。 【準備学習の内容】 テキストの第三章「四字熟語・慣用句」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第4回	【テーマ】 変わる言葉 【計画内容】 「日本語が時とともに変わっていく」ということに焦点をあて、そのことを意識したコミュニケーションの重要性を学びます。 【準備学習の内容】 テキストの第四章「変わる言葉」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第5回	【テーマ】 敬意表現 【計画内容】 日本語特有の敬意表現について、自己表現、他者との関わりを考慮した表現という視点から、日常生活に即した学びをします。 【準備学習の内容】 テキストの第五章「敬意表現」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第6回	【テーマ】 日本語表現の歴史と特徴 【計画内容】 日本語がどのようにして生まれ現在にいたのかを、日本語の表現の特徴に触れながら学びます。 【準備学習の内容】 テキストの第六章「日本語表現の歴史と特徴」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第7回	【テーマ】 レポートに適した内容と構成 【計画内容】 意見と感想の違いを確認し、レポートに適した構成について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの第七章「レポートに適した内容と構成」部分を予習しておくこと。	A、G、H					
	第8回	【テーマ】 正しく伝える 【計画内容】 考えを相手に正しく伝えるには「自分の文章を他人の目になって読む」ことが必要です。新聞記事などを例に「文章作りのポイント」を学びます。 【準備学習の内容】 テキストの第八章「正しく伝える」部分に目を通しておくこと。	A、G、H					
テキスト	テキストを入学時に配付します							
参考書	講義時に指示します							
成績評価の方法	配分補足	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
						40%	60%	
						演習等取組意欲	理解度の確認	
質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。 E-Mail:nihongo@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	大学生活を送る上で必要な日本語表現を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。毎週、理解度確認などにより評価を行います。補講は致しませんが、理解度に不足があると認められた学生には、12週目に特別な試験を行います。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。クラスによってテーマの順番が変わりますので、初回講義には必ず出席すること。							

科目名	数学入門				授業形態	講義	単位数	1
教員名	松澤 衛、佐藤 克之、竹内 雅明、三浦 公裕、水野 信太郎、菊池 隆夫、佐々木 雅史、西村 光弘							
授業の目的	ねらい	現代社会のように高度に発達した情報化社会では、物事を論理的に考える力が求められております。数学は、論理的な思考能力を養うとてもよい学習です。 「数学入門」では数学教材を題材に、多様な見方・考え方、就業力に必要な数学の基礎を学びます。						
	到達目標	(1)物事を論理的に考えることができる。 (2)数学の面白さと楽しさを感じることができる。 (3)就業力に必要な数学の基礎が理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！ 【計画内容】人間が都合よく作り出してきた数、その数の仕組みを理解して、この情報化社会を乗り切るための基本的な考えを学びます。(松澤衛) 【準備学習の内容】テキスト第1章「数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！」を読み、頭の中を柔らかくしておくこと。						A、H
	第2回	【テーマ】点と線と面(図形の基本) 【計画内容】サザエさんの住まいを題材に、長さと面積を考えます。その中で、次元の概念と次元を変えることで見えることについて解説します。 各自が簡易製図板を使用して、自ら線を写す(トレース)作業を行いながら、長さ、面積を理解して量(たたみ)、間取り、建物等、小さな寸法(スケール)で書かれている図形から実際の空間を把握し、数値と次元の重要性を学びます。(佐藤克之) 【準備学習の内容】テキスト第2章「点と線と面(図形の基本)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A、J
	第3回	【テーマ】身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう 【計画内容】「速さ・時間・距離」を身近な事例を通して理解し、「はじき公式」の適用問題を教材に就業力数学への基礎的・基本的なスキルを学びます。(菊池隆夫) 【準備学習の内容】テキスト第3章「速さ・時間・距離」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】身のまわりのプロポーション(比率) 【計画内容】比例・比率、平方根、A3ならびにB5などの意味を学びます。(水野信太郎) 【準備学習の内容】テキスト第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A、H
	第5回	【テーマ】順列・組合せの意味理解とその活用 【計画内容】身近にある具体的な事柄を素材に、起こりうる場合を順序よく整理して調べる活動を通して、公式の意味を理解しその活用の仕方を学びます。(三浦公裕) 【準備学習の内容】テキスト第5章「場合の数」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける 【計画内容】金利のしくみ、基本概念について学びます。(単利・複利、カードでの購入と支払い、分割払いとリボ計算など。)(竹内雅明) 【準備学習の内容】テキスト第6章「金利の基礎知識と計算」を読み、クレジットカード等について調べておくこと。						A
	第7回	【テーマ】相手とリズムカルな変わり方をする数量調べ！ 【計画内容】規則的でリズムカルなきまりを示しながら数が並んでいたりと、不思議な順序や変化をして表れたりする数の変わり方を調べて、関数的な見方・考え方、活用の仕方に触れてみます。(西村光弘) 【準備学習の内容】テキスト第7章「相手とリズムカルな変わり方をする数量調べ！」を読み、数量の規則的な変化に関心をもち、疑問点などを明らかにしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】日常生活で役に立つ“集合” 【計画内容】事象を分類整理する活動や典型問題の解決を通して、集合の考えのよさとその活用の仕方を学びます。(佐々木雅史) 【準備学習の内容】テキスト第8章「集合・資料の整理」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。						A
テキスト	テキストを配付します							
参考書	講義時に指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			60%		40%		
質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。E-Mail:suugaku@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	これからの時代を生き抜くために必要な数学を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。毎回、理解度の確認などにより評価を行います。 8回の授業です。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので初回講義には必ず出席すること。 第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を受講する際は、定規とコンパスを持参すること。							

科目名	情報機器操作 I			授業形態	演習	単位数	2
教員名	伊藤 博晃、横 洋一						
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。					
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。				B、L	
	第2回	【テーマ】 日本語文書処理の基本1 【計画内容】 キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第3回	【テーマ】 日本語文書処理の基本2 【計画内容】 文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第4回	【テーマ】 日本語文書処理の基本3 【計画内容】 一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第5回	【テーマ】 日本語文書処理の基本4 【計画内容】 一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第6回	【テーマ】 日本語文書処理の応用1 【計画内容】 一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第7回	【テーマ】 日本語文書処理の応用2 【計画内容】 一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。				B、L	
	第8回	【テーマ】 日本語文書処理の応用3 【計画内容】 ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第9回	【テーマ】 日本語文書処理の応用4 【計画内容】 応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。				B、L	
	第10回	【テーマ】 日本語文書処理のまとめ 【計画内容】 基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第11回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】 プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第12回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】 スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第13回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】 外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】 課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【準備学習の内容】 次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。				B、L	
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】 課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表します。 【準備学習の内容】 スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。				B、F、L	
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
	補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、社会教育主事_選必						
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科目名	情報機器操作 I			授業形態	演習	単位数	2
教員名	大関 慎						
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。					
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。					B、L
	第2回	【テーマ】 日本語文書処理の基本1 【計画内容】 キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第3回	【テーマ】 日本語文書処理の基本2 【計画内容】 文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第4回	【テーマ】 日本語文書処理の基本3 【計画内容】 一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第5回	【テーマ】 日本語文書処理の基本4 【計画内容】 一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第6回	【テーマ】 日本語文書処理の応用1 【計画内容】 一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第7回	【テーマ】 日本語文書処理の応用2 【計画内容】 一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第8回	【テーマ】 日本語文書処理の応用3 【計画内容】 ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第9回	【テーマ】 日本語文書処理の応用4 【計画内容】 応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。					B、L
	第10回	【テーマ】 日本語文書処理のまとめ 【計画内容】 基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第11回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】 プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第12回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】 スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第13回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】 外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。					B、L
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】 課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【準備学習の内容】 次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。					B、L
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】 課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表します。 【準備学習の内容】 スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。					B、F、L
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
	補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格	[健]社会教育主事_選必						
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科目名	情報機器操作Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	伊藤 博晃、横 洋一						
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。					
	到達目標	(1) ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2) データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3) 情報モラルについて考えを深めることができる。 (4) 基本的なマルチメディアを扱うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、教育現場での必要性について、考察を開始します。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。			B		
	第2回	【テーマ】 データ活用をすること 【計画内容】 データについての基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、L		
	第3回	【テーマ】 データを活用すること 基礎1 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、L		
	第4回	【テーマ】 データを活用すること 基礎2 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。			B、L		
	第5回	【テーマ】 データを活用すること 基礎3 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。			B、L		
	第6回	【テーマ】 データを活用すること 応用1 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。			B、L		
	第7回	【テーマ】 データを活用すること 応用2 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習しておくこと。			B、L		
	第8回	【テーマ】 データを活用すること 応用3 【計画内容】 PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、L		
	第9回	【テーマ】 データベースの活用 その1 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習しておくこと。			B、L		
	第10回	【テーマ】 データベースの活用 その2 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、L		
	第11回	【テーマ】 データベースの活用 その3 【計画内容】 PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、L		
	第12回	【テーマ】 課題への挑戦 その1 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【準備学習の内容】 講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。			B、H、L		
	第13回	【テーマ】 課題への挑戦 その2 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【準備学習の内容】 次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。			B、H、L		
	第14回	【テーマ】 課題への挑戦 その3 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【準備学習の内容】 課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。			B、H、L		
	第15回	【テーマ】 課題への挑戦 その4 【計画内容】 日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【準備学習の内容】 実践的な課題解決に取り組むため、十分に復習しておくこと。			B、F、L		
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
補足			情報モラル・PC基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格							
その他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

全学共通科目

科目名	情報機器操作Ⅱ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	伊藤 博晃						
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。					
	到達目標	(1)ICT活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、教育現場での必要性について、考察を開始します。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。				B	
	第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第3回	【テーマ】データを活用すること 基礎1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第4回	【テーマ】データを活用すること 基礎2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。				B、L	
	第5回	【テーマ】データを活用すること 基礎3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。				B、L	
	第6回	【テーマ】データを活用すること 応用1 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について十分に復習しておくこと。				B、L	
	第7回	【テーマ】データを活用すること 応用2 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。				B、L	
	第8回	【テーマ】データを活用すること 応用3 【計画内容】PC操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第9回	【テーマ】データベースの活用 その1 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。				B、L	
	第10回	【テーマ】データベースの活用 その2 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第11回	【テーマ】データベースの活用 その3 【計画内容】PC操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、L	
	第12回	【テーマ】課題への挑戦 その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【準備学習の内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。				B、H、L	
	第13回	【テーマ】課題への挑戦 その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【準備学習の内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。				B、H、L	
	第14回	【テーマ】課題への挑戦 その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【準備学習の内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない箇所について復習しておくこと。				B、H、L	
	第15回	【テーマ】課題への挑戦 その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【準備学習の内容】実践的な課題解決に取り組むため、十分に復習しておくこと。				B、F、L	
テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC基礎	演習課題等			演習への取組意欲	筆記(実技含む)
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格							
その他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。						

科目名	健康体育(実技を含む)			授業形態	講義・実技	単位数	2
教員名	畠中 智志、大西 昌美、永谷 稔、近藤 雄一郎、重成 敏史						
授業の目的	ねらい	本授業では、教職をめざすものとしての運動、スポーツ、健康に関する基本的な理論や実技を学習し、運動・スポーツが健康・体力の維持増進に果たす役割や意義を理解し、生涯にわたりスポーツ活動を生活の一部として取り入れることが目的です。					
	到達目標	(1)自己の健康・体力の維持増進ための方法を理解する。 (2)中学高等学校保健体育領域の内容を理解する。 (3)実技における最低限の指導技術の理解と具体的な実践を行う。 (4)保健体育教員として最低限度の体力を備える。					
授業の計画	第1回	[テーマ] ①理論授業のガイダンス ②体力の定義について 【計画内容】 ①理論授業のねらい、展開、評価についての説明、②体力に関する広義および狭義の構成要素について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第13回	[テーマ] 実技① 【計画内容】 集団行動の主な行動様式を身につけ、集団の約束やきまりを守って行動する。集合、整列、番号、解散、列増減、開列、行進、かけ声、指示声、吹笛などの方法を学び実践する。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 実技授業であるので、体力的な準備をしておくこと。	E	
	第2回	[テーマ] 運動不足がからだに与える影響(生活習慣病について) 【計画内容】 運動の必要性、運動不足に関わる病気について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 予告したテーマに関する文献を探し、熟読しておくこと。	A	第14回	[テーマ] 実技② 【計画内容】 集団行動の主な行動様式を身につけ、集団の約束やきまりを守って行動する。集合、整列、番号、解散、列増減、開列、行進、かけ声、指示声、吹笛などの方法を学び実践する。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 実技授業であるので、体力的な準備をしておくこと。	E	
	第3回	[テーマ] 一般のトレーニングに関する原理および原則について 【計画内容】 4つの原理、5つの原則について。実例について説明する。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 予告したテーマに関する文献を探し、熟読し、実例も含めてまとめておくこと。	H	第15回	[テーマ] 実技③ 【計画内容】 集団行動の主な行動様式を身につけ、集団の約束やきまりを守って行動する。集合、整列、番号、解散、列増減、開列、行進、かけ声、指示声、吹笛などの方法を学び実践する。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 実技授業であるので、体力的な準備をしておくこと。	E	
	第4回	[テーマ] エネルギー供給機構について 【計画内容】 有酸素性代謝、無酸素性代謝について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A	第16回	[テーマ] 実技④ 【計画内容】 集団行動の主な行動様式を身につけ、集団の約束やきまりを守って行動する。集合、整列、番号、解散、列増減、開列、行進、かけ声、指示声、吹笛などの方法を学び実践する。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 実技授業であるので、体力的な準備をしておくこと。	E	
	第5回	[テーマ] 体力づくりの科学的基礎 【計画内容】 呼吸循環系、筋肉系、神経系について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A	第17回	[テーマ] 実技⑤ 【計画内容】 集団行動の主な行動様式を身につけ、集団の約束やきまりを守って行動する。集合、整列、番号、解散、列増減、開列、行進、かけ声、指示声、吹笛などの方法を学び実践する。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 実技授業であるので、体力的な準備をしておくこと。	E	
	第6回	[テーマ] 運動処方内容 【計画内容】 運動処方の実際(種類、強度、量、頻度)、トレーニングの基本的な方法について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	K	第18回	[テーマ] 実技テーマ成果発表① 【計画内容】 それぞれの実技テーマの成果発表を行う。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 これまでの実技テーマの成果についての整理と発表の準備をしておくこと。	E	
	第7回	[テーマ] 発達に合わせたトレーニング方法 【計画内容】 成長期のからだの変化、それに対するトレーニング方法、注意すべき点について学ぶ。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	K	第19回	[テーマ] 実技テーマ成果発表② 【計画内容】 それぞれの実技テーマの成果発表を行う。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 これまでの実技テーマの成果についての整理と発表の準備をしておくこと。	E	
	第8回	[テーマ] 体育教師の役割について 【計画内容】 これまでの理論のまとめ、そして振り返りと考えの共有ならびに理解度確認を行う。(近藤雄一郎) 【準備学習の内容】 配付した各授業の「まとめ」の資料について理解を深めておくこと。	A	第20回	[テーマ] 実技テーマ成果発表③ 【計画内容】 それぞれの実技テーマの成果発表を行う。 (畠中智志・重成敏史・大西昌美) 【準備学習の内容】 これまでの実技テーマの成果についての整理と発表の準備をしておくこと。	E	
	第9回	[テーマ] 実技授業のガイダンス 【計画内容】 体育実技の展開方法の概要について説明する。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第21回	[テーマ] 新体力テスト実施④ 【計画内容】 新体力テスト①②③で実施した項目のうち、弱点項目を中心に再実施を行う。(畠中智志・永谷稔・重成敏史) 【準備学習の内容】 前回のテスト結果より上回るために、体力的・技術的に弱点克服するよう準備をしておくこと。	E	
	第10回	[テーマ] 新体力テストの実施④ 【計画内容】 文部科学省のテスト項目：対象年齢に応じた項目で実施する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回配付資料にて説明したテスト項目を行うので、体力的な準備をしておくこと。	E	第22回	[テーマ] 新体力テスト実施⑤ 【計画内容】 新体力テスト①②③で実施した項目のうち、弱点項目を中心に再実施を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 前回のテスト結果より上回るために、体力的・技術的に弱点克服するよう準備をしておくこと。	E	
	第11回	[テーマ] 新体力テストの実施⑤ 【計画内容】 文部科学省のテスト項目：対象年齢に応じた項目で実施する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回配付資料にて説明したテスト項目を行うので、体力的な準備をしておくこと。	E	第23回	[テーマ] 新体力テスト実施⑥ 【計画内容】 新体力テスト①②③で実施した項目のうち、弱点項目を中心に再実施を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 前回のテスト結果より上回るために、体力的・技術的に弱点克服するよう準備をしておくこと。	E	
	第12回	[テーマ] 新体力テストの実施⑥ 【計画内容】 文部科学省のテスト項目：対象年齢に応じた項目で実施する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回配付資料にて説明したテスト項目を行うので、体力的な準備をしておくこと。	E	第24回	[テーマ] 体育実技のまとめ 【計画内容】 新体力テスト、各実技種目の実践を通して学んだ運動技術などを振り返り、教職を目指すものにとっての最低限の内容を整理する。(全教員) 【準備学習の内容】 新体力テスト項目、各実技種目の授業展開、ルールなどを整理しておくこと。	E	
テキスト	講義時に説明します						
参考書	E. フォックス(朝比奈・渡部訳)、1982年、『スポーツ生理学』、大修館書店 文部科学省、『中学校学習指導要領解説保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説保健体育編』						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	A:40% B:100%	A:60%				
補足	B: 授業態度・技能習得度 B: 実技テスト無						
質問への対応	授業のガイダンス時に説明します。						
資格							
その他	A: 理論授業が8回、B: 実技授業が15回です。成績はA: 理論50%、B: 実技50%の配分で総合的に判断します。教職を目指す者としての自覚と態度を求めます。北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

全学共通科目

科目名	英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	C・B・サイモンズ						
授業の目的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力を育成する。					
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。					
授業の計画	第1回	【テーマ】初対面のあいさつ・紹介 【計画内容】初対面のあいさつについて学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。				H	
	第2回	【テーマ】ホテルの予約 【計画内容】ホテルまでの行き方について尋ねる。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第1章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				N	
	第4回	【テーマ】キャンパス内の施設について 【計画内容】留学に関するパンセージを読み、質問し合う。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第5回	【テーマ】ホームステイ 【計画内容】滞在先の家庭のルールについて尋ねる。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第6回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H	
	第7回	【テーマ】道を尋ねる 【計画内容】道の尋ね方について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第8回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H	
	第9回	【テーマ】復習(第1章～第4章) 【計画内容】復習とロールプレイチャレンジ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第10回	【テーマ】レストラン 【計画内容】食事の注文、支払いの会話について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第11回	【テーマ】ビデオ 【計画内容】会話を聞き、日本人の英語の誤りを見つけ訂正する。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H	
	第12回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				N	
	第13回	【テーマ】レンタルショップ 【計画内容】レンタルショップでの会話について学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				H、N	
	第14回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第6章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				N	
	第15回	【テーマ】まとめとロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章、第6章の内容をロールプレイチャレンジする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。				N	
テキスト	Gershon, Mares, Walker, 2007年、『On the Go』、Longman						
参考書	Gershon, Mares, Walker, 2007年、『On the Go』、Longman						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				40%	20%
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
その他	第16回に試験を行います。						

科目名	英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	デニス クイン						
授業の目的	ねらい	This course is designed to help students develop their skills in speaking and listening via a combination of teacher-led practical discussions and student pair and group activities. The activities are designed to promote the confidence to speak freely in English and the freedom to make mistakes. Two classes are devoted to each unit of the textbook Units 1 -6 which focusses on a particular theme and grammar point and complimented by a range of grammar, speaking, and listening activities. This course is designed to precede 「英語コミュニケーションⅡ」.					
	到達目標	(1) Become comfortable speaking in English. (2) Learn strategies for surviving in an English environment. (3) Enjoy communicating without fear of making mistakes. (4) Develop functionality in key aspects of pre-intermediate English grammar aspects.					
授業の計画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Getting to know your teacher and classmates. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Read course information and guidance.				A、B、D、E	
	第2回	【テーマ】 Meeting New People 【計画内容】 Talking about personal information. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Think of what to say the first time you meet someone.				A、B、D、E	
	第3回	【テーマ】 Describing People 【計画内容】 Talking about how people look. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第4回	【テーマ】 What are you doing? 【計画内容】 Practice talking about current actions. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第5回	【テーマ】 Feelings 【計画内容】 Talk about how you are feeling. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第6回	【テーマ】 Groceries 【計画内容】 Talk about things you buy at the supermarket. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第7回	【テーマ】 Shopping 【計画内容】 Practice buying things. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第8回	【テーマ】 Review of Grammar from Weeks 1-7. Verbal Presentations in Pairs. 【計画内容】 A review of weeks 1-7 Verbal Presentations and Class feedback. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week and review past work.				F、H、N	
	第9回	【テーマ】 Weather 【計画内容】 Describing the weather. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 How is the weather today?				A、B、D、E	
	第10回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Talking about places you want to go to. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第11回	【テーマ】 Amazing people 【計画内容】 Describing people with special abilities. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第12回	【テーマ】 Heroes 【計画内容】 Talking about people you admire. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第13回	【テーマ】 Memories 【計画内容】 Things that happened in the past. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第14回	【テーマ】 Dreams 【計画内容】 Talking about your dreams. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第15回	【テーマ】 Review of Grammar from Weeks 9-14. Verbal Presentations in Pairs. 【計画内容】 A review of weeks 9-14 Verbal Presentations and Class feedback. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week and review work from week 9-14.				F、H、N	
テキスト	Susan Stempleski; James R. Morgan; Nancy Douglas, 2011年、『World Link 1』、Heinle、9781424055012						
参考書	Dictionary						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					60%	40%
	補足					Attendance:30%, Classroom Participation: 30%	第8回・第15回 Verbal Presentation (pairs): 20% ×2
質問への対応	Questions can be asked during the 1st class explanation, after class, or via E-Mail:quinndenone@gmail.com						
資格							
その他							

科目名	英語コミュニケーションⅡ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	C・B・サイモンズ						
授業の目的	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力が育成される。「読む」「書く」能力の向上については、文法知識の習得だけではなく、日常会話報道などの内容から必要な情報を理解し、自分の考えや意見を正しく表明することができるレベルを目指す。					
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。					
授業の計画	第1回	【テーマ】過去形を用いて 【計画内容】過去形を使い、夏休みの出来事について話す(ハンドアウトを使用)。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	H				
	第2回	【テーマ】ロンドンの街について尋ねる 【計画内容】公共交通機関、観光地などについて尋ねる方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第7章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第4回	【テーマ】ホテル 【計画内容】チェックインをする、ゲストサービスについて尋ねる方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第5回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第8章の内容をロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第6回	【テーマ】Review Plus 2 【計画内容】リスニングを行う。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第7回	【テーマ】ショッピング 【計画内容】商品について尋ねる方法を学ぶとともにロールプレイする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第8回	【テーマ】空港 【計画内容】チェックインをする方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第9回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】中間発表の準備として、ロールプレイを行う。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第10回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】テキスト第10章までのロールプレイチャレンジを行う。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第11回	【テーマ】自分自身のことを話す 【計画内容】自分自身のことを話す方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第12回	【テーマ】ツアーに参加する 【計画内容】ツアーについて尋ね、申し込む方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
	第13回	【テーマ】日本の観光地について 【計画内容】外国人に紹介する視点で日本の観光地について調べる。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H				
	第14回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】今までの復習と確認をする。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N				
	第15回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】今までの復習を行い、さらに会話を上達させることについて学ぶ。 【準備学習の内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H、N				
テキスト	Gershon, Mares, Walker, 2007年、『On the Go』、Longman						
参考書	Gershon, Mares, Walker, 2007年、『On the Go』、Longman						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				40%	20%
補足	発表						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com						
資格							
その他	第16回に試験を行います。						

科目名	英語コミュニケーションⅡ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	デニス クイン						
授業の目的	ねらい	This course is designed to help students develop their skills in speaking and listening via a combination of teacher-led practical discussions and student pair and group activities. The activities are designed to promote the confidence to speak freely in English and the freedom to make mistakes. Two classes are devoted to each unit of the textbook Units 6-12 which focusses on a particular theme and grammar point and complimented by a range of grammar, speaking, and listening activities. This course is designed to follow 「英語コミュニケーションⅠ」.					
	到達目標	(1) Become comfortable speaking in English. (2) Learn strategies for surviving in an English environment. (3) Enjoy communicating without fear of making mistakes. (4) Develop functionality in pre-intermediate level grammar aspects.					
授業の計画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Getting to know your teacher and classmates. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Read course information and guidance.				A、B、D、E	
	第2回	【テーマ】 Neighbourhood 【計画内容】 Talking about places near your house. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Think of what is close to your house.				A、B、D、E	
	第3回	【テーマ】 Describing Places 【計画内容】 Talking about how places look. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第4回	【テーマ】 Free-time activities 【計画内容】 Practice talking about your free-time. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第5回	【テーマ】 Describing personalities 【計画内容】 Talk about different people's personalities. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第6回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Describing how people change. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第7回	【テーマ】 Future plans 【計画内容】 Talk about the future. Mode of learning: Teacher-led instruction, group and pair speaking activities, CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第8回	【テーマ】 Review of Grammar from Weeks 1-7. Verbal Presentations in Pairs. 【計画内容】 A review of weeks 1-7 (units 6-9) Verbal Presentations and Class feedback. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week and review past work.				F、H、N	
	第9回	【テーマ】 Health & body 【計画内容】 Describing body parts and health problems. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 How many body parts do you know?				A、B、D、E	
	第10回	【テーマ】 Stress 【計画内容】 Talking about things that make you stressed. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第11回	【テーマ】 Special abilities 【計画内容】 Talking about skills and abilities. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第12回	【テーマ】 Challenges 【計画内容】 Describing difficulties. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第13回	【テーマ】 Movies 【計画内容】 Talking about movies. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第14回	【テーマ】 Movies continued 【計画内容】 More movie talk. Teacher-led instruction, group and pair speaking activities. CD listening activities. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week.				A、B、D、E	
	第15回	【テーマ】 Review of Grammar from Weeks 9-14 Verbal Presentations in pairs. 【計画内容】 A review of weeks 9-14 (units 10-12) Verbal Presentations and Class feedback. 【準備学習の内容】 Finish homework from last week and review work from week 9-14.				F、H、N	
テキスト	Susan Stempleski; James R. Morgan; Nancy Douglas, 2011年、『World Link 1』、Heinle、9781424055012						
参考書	Dictionary						
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足					60% Attendance:30%, Classroom Participation: 30%	40% 第8回・第15回 Verbal Presentation (pairs): 20% × 2
質問への対応	Questions can be asked during the 1st class explanation, after class, or via E-Mail:quinndenone@gmail.com						
資格							
その他							

科目名	キャリアデザインⅠ				授業形態	講義	単位数	1
教員名	永井 秀岳、小川 美夏							
授業の目的	ねらい	「キャリアデザイン」は、一人一人が明確な目的意識を持って学業や大学生活に取り組む姿勢を育み、主体的に自己の進路を選択できるようになることを目的としています。目まぐるしく変わる現代社会を生き抜くには、社会の仕組みや労働市場について知り、答えのない世界で自分なりの答えを見つけ、進んでいく力が必要となります。本講ではその基本となる社会の仕組み、コミュニケーションや思考のスキルを身に付けていきます。						
	到達目標	(1)世の中(現代社会)の仕組みを理解し、自分なりに説明できるようになる。 (2)自己分析を通じて、自分の強みややりたいことを見つける。 (3)10年先のキャリアデザインを自分なりに描けるようになる。 (4)より充実した大学生活、人生を歩めるようになる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション(授業の目標・内容・進め方・成績評価の方法など) 自己理解(1) 社会人基礎力測定(リテラシー:問題解決力、言語・非言語処理能力) 【計画内容】 授業の目標・内容・進め方・成績評価の方法などを紹介し、8回の授業展開を説明する。キャリアデザインで使用するキャリアファイルの活用を含め、3~4年間のキャリアに関するグランドデザインを考える。また、自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(リテラシー)を受験する。(小川美夏) 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。	A、K					
	第2回	【テーマ】 大学生活とキャリア 自己理解(2) 社会人基礎力測定(コンピテンシー:対人基礎力、對自己基礎力、対課題基礎力) 【計画内容】 社会の求める基礎力が卒業後だけでなく、大学生活を充実させることを学ぶ。自分の基礎力の現状を客観的に把握するために、社会人基礎力診断 PROG(コンピテンシー)を受験する。(小川美夏) 【準備学習の内容】 授業内や授業外で、大学時代に伸ばす力を考えておくこと。	A、K					
	第3回	【テーマ】 激動の20年を幸せに生きるためのキャリアデザイン 【計画内容】 講義で取り扱う現代社会の状況や、大学生活をより充実したものにするためのヒント、社会で役に立つスキルなどについて総括的にまとめる。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、H、K					
	第4回	【テーマ】 就職・仕事・恋愛-人間関係でモテるコミュニケーションとは 【計画内容】 人が仕事を辞めてしまう時、その理由の中で一番の割合を占めるのは「人間関係」。自分のタイプや考え方、相手の視点立って見ることを知り、より良いコミュニケーションを築けるスキル、感情のコントロール方法などを身につけていく。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 講義の中で学んだ内容を大学生活で実践してみること。	A、H、K					
	第5回	【テーマ】 6つの働くスタイル 【計画内容】 仕事とどのように向き合っているのかは人さまざま。どのような向き合い方があるのかを知り、現在の自分のタイプに当てはめつつ、どう向き合っていきたいのかを考えていく。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 自分や周りの人の仕事に対する考え方について調べておくこと。	A、H、K					
	第6回	【テーマ】 人材市場を徹底活用！資格って必要？公務員は安定？ブラック企業ってなに？ 【計画内容】 労働時間・スタイルなどの雇用形態の変化と、その社会的な背景を知る。その上で、自分はどのように働きたいか、そのためには大学生活でどんな準備をしていくのかを考えていく。また、資格って必要？公務員は安定？ブラック企業ってなに？など、就職活動を始める前の学生が、疑問に思うことにも答えていく。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 人材市場に関して調べておくこと。	A、H、K					
	第7回	【テーマ】 キャリアビジョンの描き方「10年後にどうなっていたい」？ 【計画内容】 これまでの講義で取り扱った、働くスタイル、人材市場などの情報を元に自分のキャリアをデザインしていく。好きなことは何か、やりたいことがない場合はどうしたら良いかなど、ワークを通して探っていく。仕事だけに限らず、10年後の自分のライフスタイルなども合わせて書き出していく。(永井秀岳) 【準備学習の内容】 自分の理想のライフスタイルについて考えておくこと。	A、H、K					
	第8回	【テーマ】 社会人基礎力測定検査結果の解説(テストの結果をもとに、自分の行動目標を立てる)。総合評価・自己評価・ポートフォリオのまとめ 【計画内容】 社会人基礎力で測定した主観的結果と客観的結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに、自分の行動目標を立てる。(小川美夏) 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を振り返り、夏休みの行動計画を考えておくこと。	A、K					
テキスト	プリントを使用する							
参考書	プリントを使用する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			50%		50%		
質問への対応	講義終了後、質問を随時受け付ける。							
資格								
その他								

科目名	日本語		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	田 光子						
授業の目的	ねらい	外国人留学生を対象に、本学でのコミュニケーション・学習・発表がスムーズに行えるように読み、書く、聞く、話すの4技能の向上を目標とする。また、日本の文化、事情、風習、マナーなどを読み物や視聴覚教材を通して理解することで、日本での留学生活がより有意義なものになるようにする。日本語能力検定1級を持っていない学生は必ず取得しよう。					
	到達目標	(1)日本語の読み、書き、聞き取り、話すの4技能の向上。 (2)漢字の読み書きがスムーズにできる。 (3)レポートがスムーズに書ける。 (4)日本語の正しい発音ができる。 (5)テキストなどがスムーズに読め、内容が理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションと自己紹介 【計画内容】 講義概要・講義の展開方法などの説明。 【準備学習の内容】 自己紹介準備とシラバスを読んでおく。			A		
	第2回	【テーマ】 読解を中心(小説を読む)① 【計画内容】 発音確認と読み方。 【準備学習の内容】 プリントを読んで、内容を理解する。			A		
	第3回	【テーマ】 読解を中心(小説を読む)② 【計画内容】 漢字の読み方や意味を確認する。 【準備学習の内容】 漢字の読み方や意味を調べておく。			A、F		
	第4回	【テーマ】 語彙と文法① 【計画内容】 語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。			A		
	第5回	【テーマ】 語彙と文法② 【計画内容】 語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。			A		
	第6回	【テーマ】 文法確認と作文練習 【計画内容】 文法の作文練習を確認する。 【準備学習の内容】 プリントの作文練習をし、発表準備をする。			A、K		
	第7回	【テーマ】 漢字練習・自国の風習について発表 【計画内容】 漢字の復習と(風習についての)文章力向上と発表。 【準備学習の内容】 漢字復習と風習について調べて作文し、発表準備をする。			A、F、K		
	第8回	【テーマ】 日本事情・聞いてまとめる(ニュースを見る) 【計画内容】 ニュースの聞き取りや表現を理解する。 【準備学習の内容】 ニュースを毎日聞き、聞き取りに慣れるようにする。			A、L		
	第9回	【テーマ】 語彙と文法③ 【計画内容】 ニュースの語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。			A		
	第10回	【テーマ】 読解を中心(新聞を読む) 【計画内容】 新聞を速読し、内容を理解し要約する力を養う。 【準備学習の内容】 毎日新聞を読む習慣をつける。			A		
	第11回	【テーマ】 語彙と文法④ 【計画内容】 新聞の語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。			A		
	第12回	【テーマ】 日本語・韓国語の翻訳練習 【計画内容】 日本語から韓国語へ、韓国語から日本語への自然な表現を学ぶ。 【準備学習の内容】 課題のプリントを翻訳する。			A、F、K		
	第13回	【テーマ】 日本の文化理解 【計画内容】 本学の演劇を観劇して、日本の文化に触れる。 【準備学習の内容】 演目について調べ、観劇後は感想文を書く。			M		
	第14回	【テーマ】 日本と自国の違いについて討論 【計画内容】 文化の違いを発表して、お互いの意見を確認したり討論したりする。 【準備学習の内容】 日本での生活を通して感じた文化の違いを作文して、発表準備をする。			A、F、I		
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 既習の語彙や文法事項の確認。 【準備学習の内容】 既習の語彙や文法事項の復習をする。			A、L		
テキスト	プリントを使用します						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
補足				レポートなど			
質問への対応	講義内での質問も随時受け付けます。E-Mail:chun@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	留学生対象科目。遅刻・欠席はしないこと。						

科目名	現代日本の文化				授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地 達夫							
授業の目的	ねらい	「現代日本の文化」では、留学生の出身国(地域)における文化的事項の認識を確認し、比較を意識しながら、日本(北海道)の文化的な特色が、どのように形成・定着・発展したのか史的に学習します。						
	到達目標	(1)日本の文化的な特色について理解できる。 (2)北海道の文化的な特色について理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容についてよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 出身国(地域)の文化的事項の確認 【計画内容】 出身国(地域)の文化的事項について確認します。 【準備学習の内容】 出身国(地域)の文化的事項について整理しておくこと。						K
	第3回	【テーマ】 日本の主な文化的事項(食文化・芸術・スポーツ) 【計画内容】 日本の主な文化的事項について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】 日本の文化的な地域的特色 【計画内容】 日本の文化的な地域的特色(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】 日本の文化的事項の形成 【計画内容】 日本の文化的事項の形成過程(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】 日本の文化的事項の定着 【計画内容】 日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように定着したのか、学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】 日本の文化的事項の発展 【計画内容】 日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように発展してきたのか、学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】 日本の伝統文化(生活習慣) 【計画内容】 日本の年中行事について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】 北海道の地域文化1 【計画内容】 北海道の地域文化の地域的特色について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】 北海道の地域文化2 【計画内容】 アイヌ民族・文化について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第11回	【テーマ】 北海道の地域文化3 【計画内容】 博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第12回	【テーマ】 北海道の地域文化4 【計画内容】 博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第13回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 これまでの学習内容の重要な点について整理します。 【準備学習の内容】 理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容についてよく整理しておくこと。						L
	第15回	【テーマ】 まとめと応用 【計画内容】 学習成果の活かし方について説明します。 【準備学習の内容】 理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、K
テキスト	必要に応じてプリントを使用します							
参考書	奥野隆史ほか、2006年、『日本総論Ⅱ(人文・社会編)』、朝倉書店、4254167628 桑原真人ほか、2008年、『北海道の歴史がわかる本』、亜細亜社、9784900541757 北海道高校地理教育研究会、1994年、『図説北海道ふるさと早わかり』、北海道新聞社、4893637223							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		30%		20%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格								
その他	留学生対象科目。 履修者との相談の上、2回目以降の曜日・時間帯を決めます。(初回の日時や教室は掲示板等をよく確認すること) 内容が一部変更になる可能性があります。 課題の結果等は、返却時に講評、補足説明を行います。							

発 展 科 目

科目名	心理学概論	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	澤 聡一						
授業の目的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることにより、自己洞察や他者理解を深めることを目指します。講義で扱う心理学の概念を日常生活の経験にてらして具体的に理解し、自己の成長や円滑な人間関係の構築、ひいては他者への支援に応用できるような活きた心理学の知識と考察する力を身につけることを目標とします。					
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景について学び、心理学が社会からどのように必要とされてきたかを知ること、心の学びのイントロダクションとします。 【準備学習の内容】シラバスの内容をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第2回	【テーマ】集団心理 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響等について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの第2章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】自己概念や自尊感情など、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第7回	【テーマ】学習 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように対応しているかを学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章の該当箇所を読んでおくほか、配付資料で示した課題に取り組むこと。			A、K		
	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけ、生理的欲求、社会的欲求、認知的欲求等について概説します。 【準備学習の内容】テキストの第6章をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域と、さまざまな理論について紹介します。 【準備学習の内容】テキストの第7章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】クライアント中心療法や認知行動療法などのさまざまな心理療法について概説します。 【準備学習の内容】テキストの第7章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第13回	【テーマ】乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、人間の成長の特殊性、認知発達理論、発達段階説、言語発達の様相などについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの第8章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】自我同一性などの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【準備学習の内容】テキストの第8章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。			A、K		
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを、ストレス等を例に考えます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。			A、K		
テキスト	平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940133						
参考書	講義のなかで適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				30%	30%
補足		最終				平時	毎回の感想・考察シート
質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。						
資格	[健]介護福祉士 _ 選必、社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必 [心]公認心理師 _ 必修、精神保健福祉士 _ 選必、認定心理士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必						
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 私語や携帯電話使用などの講義の進行を妨げる行為や他の受講生への迷惑行為に対し、注意されても受講態度が変わらない場合は単位を認定しません。						

科目名	発達心理学		授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川 貴紀					
授業の目的	ねらい	従来の発達心理学は、誕生から成人に至る段階までを対象に、それぞれの発達段階で何ができるのか、どのような行動を示すのかを明らかにするものであった。近年、人の寿命が延びてきたこと、新生児期からさらに胎児期での心理学的研究が盛んになされるようになったことから、これまでの傾向が見直され、全生涯を扱う縦断的な観点から発達過程をとらえなおすようになってきている。人間は一生をかけて発達する可能性が明らかになりつつある。このような視点から、誕生から死に至る人間の心理的発達過程について、各発達ステージの相互の関係、発達を保證する条件は何か、これまでに明らかにされてきた研究成果を中心に概説する。				
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味を理解できる。 (2)ライフサイクルにおける変化を理解できる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】発達心理学とはなにか、生涯を通しての発達を考える意味、15回の講義展開について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A、G			
	第2回	【テーマ】発達理論と発達段階 【計画内容】生涯を通しての発達についてピアジェやエリクソンなどの発達理論や発達段階を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第3回	【テーマ】乳児の世界 【計画内容】新生児期から乳児期までの発達について原始反射などの生理学的側面も含めて学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第4回	【テーマ】幼児の世界(ことばの獲得) 【計画内容】ことばが急速に増える幼児期の言語発達についてチョムスキーなどの理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第5回	【テーマ】対人関係の発達(アタッチメントの成立と発展) 【計画内容】養育者とのアタッチメント関係の成立と発展に関する理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第6回	【テーマ】情動と自己の発達 【計画内容】発達早期の情動と自己の発達について、実験研究の結果を基にその理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第7回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】対人関係に広がりがある児童期の発達について、友人関係などの対人面を中心に学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第8回	【テーマ】思考の発達 【計画内容】幼児期や児童期の思考の発達について、ピアジェなどの発達理論から近年の理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第9回	【テーマ】青年期の発達(性的成熟とアイデンティティ) 【計画内容】青年期の性的成熟とアイデンティティについての理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第10回	【テーマ】アイデンティティ・ステータス 【計画内容】アイデンティティについて、その獲得や危機などについての理論を学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第11回	【テーマ】恋愛と結婚 【計画内容】恋愛と結婚に関する心理学的研究についてアタッチメント理論などの発達心理学的視点から学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第12回	【テーマ】親になること・親であること 【計画内容】子どもを授かること、それによる変化について発達心理学の理論を通して学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第13回	【テーマ】中年期の発達 【計画内容】中年期の危機など、社会的役割が獲得される時期に特有の心理学的課題について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第14回	【テーマ】老年期の発達 【計画内容】加齢に伴い喪失体験など様々な出来事が重なる老年期に特有の心理学的課題について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A、G、L			
	第15回	【テーマ】発達心理学からの提言 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、発達心理学ができることについて学びます。 【準備学習の内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A、G、L			
テキスト	プリントを使用します					
参考書	杉村伸一郎・坂田陽子編、2004年、『実験で学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488853 渡辺弥生・伊藤順子・杉村伸一郎編、2008年、『原著で学ぶ社会性の発達』、ナカニシヤ出版、9784779501814					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足		40% レポート		60% 感想等	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。					
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必					
その他	一生を通じて発達することの意味を考えてもらいたい。また子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでもらいたい。					

科目名	人間関係の心理学	授業形態	講義	単位数	2	
教員名	小坂 守孝					
授業の目的	ねらい	人間関係は二者関係が基本となるが、それにとどまらず、より複雑な人間関係の中で様々な心の動きが生じ、その事が個々人の認知や感情、そして行動面に影響を及ぼす。人間関係はその存在が心の支えになることもある。ストレスになることもある。他者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションが取れることは、家庭、学校、職場、近隣を問わず、あらゆる場面において重要である。本講義では、人間関係を心理学の視点から包括的に理解することを目的とする。				
	到達目標	(1)日常における人間関係の様々な特徴を心理学の観点から説明することができる。 (2)人間関係をより良好にしてゆくための工夫を心理学観点から説明することができる。 (3)人間関係における諸問題を心理学の観点から説明することができる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】人と人との出会い 【計画内容】人間関係の始まりは人と人との出会いである。他者についての印象形成、相性の善し悪しの判断などについて取り上げていく。 【準備学習の内容】上記の「授業の目的」をよく確認しておくこと。	A、H			
	第2回	【テーマ】他者に魅力を感じる事 【計画内容】人は他者に対してどのようにして魅力を感じ、心惹かれていくのか。人に対する好き嫌い、友情や恋愛感情などについて取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A、H			
	第3回	【テーマ】円滑なコミュニケーションを目指す 【計画内容】人と生きていく上で、他者と関わりあうことは避けることができない。人と人との間で交わされるコミュニケーションについて取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第4回	【テーマ】人づきあいを避ける心理 【計画内容】他者との関係に無関心であったり、他者との関係をうまく築くことができないという現象について心理学の観点から取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第5回	【テーマ】他者から受ける影響 【計画内容】我々は多かれ少なかれ他者の影響を受けざるを得ない。個人的にも社会的にも受けざるを得ない他者からの影響について取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A、H			
	第6回	【テーマ】メディアを通じたコミュニケーション 【計画内容】人間関係は対面ばかりでなく、近年のインターネットの発達により種々のデジタル機器を介してのやりとりが増えてきている。その諸特徴について理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第7回	【テーマ】集団の中でのふるまい 【計画内容】人間関係においては、1対1での関係と集団における関係とは異なる性質を持っている。集団がもたらす人間関係の特徴について理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第8回	【テーマ】集団間での利害の対立 【計画内容】集団と集団における人間関係がもたらす、集団内で起こる現象や集団間での対立などについて取り上げ、理解を深めていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第9回	【テーマ】対人関係の諸問題について 【計画内容】人間関係において、表面的に平静を保っていても、葛藤や欲求不満などを抱えていることが多い。そのようなことが表出する諸問題について検討していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A、H			
	第10回	【テーマ】他者に対する不平・不満・クレーム 【計画内容】人間関係の中で他者に対するネガティブな感情がエスカレートし、時として常軌を逸した主張となることがある。怒りの表出に関する心理、クレームという現象など取り上げていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第11回	【テーマ】空気を読むこと 【計画内容】「以心伝心」「暗黙の了解」「黙読」など、日本では人間関係の中で「空気を読む」ということが行われることが多い。このようなコミュニケーションについて心理学の観点から理解していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第12回	【テーマ】ストレスと人間関係 【計画内容】我々が感じるストレスには多かれ少なかれ人間関係が絡んでいる。ストレスを正しく理解し、人間関係のマネジメントに活かすためのヒントを得ていく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A、H			
	第13回	【テーマ】他者を助けることと他者に助けを求めること 【計画内容】生きている中で、他者の助けを全く借りないということはなく、また、他者からの援助要請を受けることもある。援助にまつわる心理をあらゆる側面から検討し理解していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A			
	第14回	【テーマ】人間関係の中における自分自身の理解 【計画内容】人間関係においてイライラしている時、実は自分自身の心の動きが原因となっていることがある。自分自身の心理について知る方法について紹介していく。 【準備学習の内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A、H			
	第15回	【テーマ】よりよい人間関係を保つために 【計画内容】14回目までに学んだことをふまえ、人間関係について心理学から得られた知見を再確認し、良好な人間関係づくりの指針を得る。 【準備学習の内容】14回目までの配付資料を復習しておくこと。	A、H			
テキスト	プリントを使用します					
参考書	吉田敏和・橋本剛・小川一美編、2012年、『対人関係の社会心理学』、ナカニシヤ出版、9784779506932 藤本忠明・東正訓編、2004年、『ワークショップ人間関係の心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488334					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%		30%	
補足						
質問への対応	メールにて受け付けます。 E-Mail: kosaka@hokusho-u.ac.jp					
資格	[ス] [健]社会教育主事_選必 [教] [芸]社会教育主事_必修 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_必修					
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。					

科目名	乳幼児心理学				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	新川 貴紀								
授業の目的	ねらい	この講義では、人生の最初期である乳幼児期の発達(身体発達、認知発達、言語発達、社会性の発達など)について学習します。その際、乳幼児の発達が、彼らを取り囲む社会的文脈(対人環境、社会・文化的環境)との接触の中で成し遂げられていくものだという視点を強調します。							
	到達目標	(1)乳幼児期の発達の変化について、さまざまな側面から理解する。 (2)乳幼児期の発達に関する代表的な理論や概念について理解する。 (3)乳幼児期の発達を、社会的文脈との関連性において理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】本講義のガイダンス 【計画内容】講義の進め方と、成績評価の仕方について説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、G		
	第2回	【テーマ】乳幼児心理学が射程に入れるもの 【計画内容】乳幼児に関する発達研究の歴史と現状について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第3回	【テーマ】乳幼児期の身体と運動の発達 【計画内容】乳幼児期の身体構造と運動機能の発達について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第4回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(1) 【計画内容】乳幼児期の感覚・知覚機能(主に視覚機能と聴覚機能)の発達について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第5回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(2) 【計画内容】乳幼児期の知的機能の発達について、代表的な発達理論の一つであるピアジェの認識発達論を軸に説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第6回	【テーマ】乳幼児期の発達に影響を及ぼす要因:遺伝か環境か 【計画内容】乳幼児期の発達はどのような要因に規定されるのか、心理学において長年にわたって議論されてきた「遺伝対環境」という対立軸に基づいて説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第7回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(1) 【計画内容】「ことば以前」の世界から、語彙・文法の獲得、会話の理解へと至る乳幼児期の言語発達の道筋について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第8回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(2) 【計画内容】なぜ乳幼児は複雑で膨大な言語体系を生後数年間の間に理解できるようになっていくのか、言語獲得に関するいくつかの理論について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第9回	【テーマ】乳幼児期の発達と異文化 【計画内容】言語発達や社会性の発達を、異文化との接触という視点から考える。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第10回	【テーマ】乳幼児期における特定の他者との愛着形成 【計画内容】乳幼児期において、特定の他者との人間関係がどのように形成されるのか、主に愛着(アタッチメント)の形成と発達に関する理論に基づいて説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第11回	【テーマ】乳幼児期の遊び(1) 【計画内容】乳幼児期の遊びの発達の变化について、その遊びの形態または内容の変化という観点から説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第12回	【テーマ】乳幼児期の遊び(2) 【計画内容】子どもの遊びを支える要素としての「道具」の意義について考える。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第13回	【テーマ】乳幼児期の発達における社会・文化的要因の影響 【計画内容】乳幼児期の発達に、社会・文化的要因がどのような影響を及ぼすのか、比較文化的視点から説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第14回	【テーマ】発達の代表的理論 【計画内容】心理学における代表的な発達理論(ピアジェ、フロイト、エリクソン、ヴィゴツキーなど)を紹介する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、改めて乳幼児期の発達の意義について説明する。 【準備学習の内容】配付したプリントを復習しておくこと。					A、G、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	内田伸子、2008年、『幼児心理学への招待 - 子どもの世界づくり』、サイエンス社、9784781911823 若井邦夫・高橋道子・高橋義信・堀内ゆかり、2006年、『グラフィック乳幼児心理学』、サイエンス社、4781911374								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			40%		60%			
補足				レポート		感想等			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必								
その他									

科目名	福祉心理学	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	佐藤 至英						
授業の目的	ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉施設における心理的問題などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。					
	到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfareの意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【準備学習の内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。	A、L				
	第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【準備学習の内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。	A、L				
	第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エゴグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【準備学習の内容】子どもと大人の違いは何かを考える。	A、L				
	第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【準備学習の内容】自立とは何かについて考える。	A、L				
	第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【準備学習の内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。	A、L				
	第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何かについて理解する。 【準備学習の内容】家族とは何かを考える。	A、L				
	第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【準備学習の内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。	A、L				
	第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【準備学習の内容】離婚・配偶者の死を考える	A、L				
	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【準備学習の内容】老いることの意味を考える。	A、L				
	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【準備学習の内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。	A、L				
	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【準備学習の内容】カウンセリングとは何かを考える。	A、L				
	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【準備学習の内容】事前に心理テストを行う。	A、L				
	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変わるかについて理解する。 【準備学習の内容】人は変わるかについて考える。	A、L				
	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【準備学習の内容】オープンマインドとは何かを考える。	A、L				
	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【準備学習の内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。	A、L				
テキスト	プリントを配付します						
参考書	岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学 - 援助を必要とする人のために -』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
補足				中間		平時	
質問への対応	講義時ならびにコメントシートにて質問を受け付けます。						
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必						
その他							

科目名	社会学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	森下 義亜						
授業の目的	ねらい	人々は常に自身の内や外の社会とともにある社会的な存在である。つまり誕生前から死後も、個人として、また集団、地域社会、国、世界の一員として、常に他者に影響を与え、与えられる存在である。社会学の目的は、その仕組みや影響を独自の視点、言葉、考え方を使得って説明および解明することである。本科目では、日本学術会議の社会学分野参照基準に沿いながら、社会的な生活の特徴やそこで生じる諸問題の仕組みを多角的に考察する。そしてより多くの人々が互いのことを理解および尊重しつつ、社会の課題を少しずつでも乗り越えていくために役立つ考え方や知識の習得を目指す。					
	到達目標	(1)現代社会の仕組みや課題を、代表的な社会理論をとおして捉えることができるようになる。 (2)当たり前のように営まれている日々の生活を多角的に再考し、人びとの生活に関する理解を深める。 (3)ミクロ-マクロリンクと呼ばれる、人々の行為と社会との間にある関係についての理解を深める。 (4)現代社会における種々の課題や問題点を理解するのに有用な視点や考え方を身につける。 (5)社会に関する複眼的理解を深め、福祉をはじめとする各分野への応用ができるようになる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 全体的な授業の流れや成績評価方法について説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読のうえ、テキストの目次を見て各章のテーマを確認しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 社会学の考え方 【計画内容】 初期社会学の代表的理論や方法を理解する。また社会の基礎となる相互行為について理解する。 【準備学習の内容】 テキストの p.1-p.35を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 変容する家族と性 【計画内容】 最も基本的な集団である家族の変容を理解する。また現代における性の多様なあり方を理解する。 【準備学習の内容】 テキストの p.36-p.59を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A	
	第4回	【テーマ】 要点の整理と確認(1) 【計画内容】 第1-3回目の内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】 第1-3回目の内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。				K、L	
	第5回	【テーマ】 労働 産業 消費 【計画内容】 労働、産業、消費構造の変化と特徴を理解する。また人々の考え方の変化から、社会の方向性を認識する。 【準備学習の内容】 テキストの p.60-p.72を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、J	
	第6回	【テーマ】 近年の社会的論点(1) 【計画内容】 環境、災害、医療の社会的なとらえ方を知る。 【準備学習の内容】 テキストの p.73-p.97を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K	
	第7回	【テーマ】 口頭発表会(1) 【計画内容】 受講生が班に分かれ、所定の形式で発表と質疑応答をおこなう。 【準備学習の内容】 指定するトピックに関して要点を整理し、質問を準備しておくこと。				F、H、I	
	第8回	【テーマ】 要点の整理と確認(2) 【計画内容】 既習内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】 既習内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。				L	
	第9回	【テーマ】 教育の現状と問題 【計画内容】 教育問題の特徴や現代日本の教育のあり方を、社会的に理解する。 【準備学習の内容】 テキストの p.98-p.109を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K、L	
	第10回	【テーマ】 社会問題の社会学 【計画内容】 社会問題、また逸脱や格差の社会的なとらえ方を知る。 【準備学習の内容】 テキストの p.110-p.134を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K	
	第11回	【テーマ】 ローカルとグローバル 【計画内容】 地域社会の変容と現代の特徴を知る。またグローバル社会の構造と特徴を理解する。 【準備学習の内容】 テキストの p.135-p.162を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K	
	第12回	【テーマ】 近年の社会的論点(2) 【計画内容】 宗教やメディアが社会および社会学とどのような関係にあるかを知る。 【準備学習の内容】 テキストの p.163-p.189を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K	
	第13回	【テーマ】 国家と社会運動 【計画内容】 国家や政府の本質について理解する。また社会変革の主体や運動について理解する。 【準備学習の内容】 テキストの p.190-p.199を読み、要点の整理と考察をしておくこと。				A、K、L	
	第14回	【テーマ】 口頭発表会(2) 【計画内容】 受講生が班に分かれ、所定の形式で発表と質疑応答をおこなう。 【準備学習の内容】 指定するトピックに関して要点を整理し、質問を準備しておくこと。				F、H、I	
	第15回	【テーマ】 要点の整理と確認(3) 【計画内容】 第9-14回目の内容の要点を抽出して整理し、内容理解の深化と応用力の養成を図る。 【準備学習の内容】 第9-14回目の内容を復習して理解を深め、応用可能性を検討しておくこと。				L	
テキスト	篠原清夫ほか(編著)、2016年、大学生のための社会学入門、晃洋書房、9784771027176						
参考書	森下伸也、2000年、『社会学がわかる事典』、日本実業出版社、9784534031730 松下育夫ほか(編著)、2013年、『社会理論と社会システム』、学文社、9784762023996 早坂裕子ほか(編著)、2017年、『社会学のつばさ』、ミネルヴァ書房、9784623056309						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%		50%		20%	10%
補足	必ず受験すること			到達度確認等			口頭発表(必須)
質問への対応	授業内容に関する質問や要望には授業前、中、後に対応するので、遠慮せずに申し出ること。授業自体の改善につながる理性的かつ建設的な質問や要望には、できる限り速やかに対応する。						
資格	[入] [教] [芸]社会教育主事_選必 [心]精神保健福祉士_選必、社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必						
その他	出席、課題提出、確認テストおよび筆記試験の受験は単位取得の必要条件であるが、十分条件ではないことに留意すること。初回に採点と成績評価の方法、持ち点制度について明示、説明する。第16回に最終評価のための試験を実施する予定。受講生の理解度や授業の進捗状況に応じて、適宜内容や進度を調整することがある。						

科目名	音楽概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	今井 敏勝						
授業の目的	ねらい	音楽の必要な「音楽の理論」に関する基礎知識を定着させるべく、「音楽」がどのように生まれ、表現され、伝わるのか、歴史を踏まえつつ「音楽」の要素である音階やハーモニーの成り立ち、伝達手段としての楽譜の読み方や書き方、表現方法としての声や楽器の種類、構造と発音原理など、さまざまな角度から学びます。					
	到達目標	(1)歴史的背景を踏まえ、音楽理論の基礎を理解する。 (2)伝達手段である「楽譜」を読んで書けるようになる。 (3)各種楽器の基本構造と発音原理を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義概要の説明及び「音楽」の歴史の変遷を踏まえながら「音楽とは何か?」を考えます。 【準備学習の内容】自分の好きな音楽は何が魅力か考えておくこと。			A		
	第2回	【テーマ】音を知る 【計画内容】音楽の素材である「音」について、その特徴や性質の理解を深めます。 【準備学習の内容】音の性質について調べておくこと。			A		
	第3回	【テーマ】楽譜を読む・書く 【計画内容】音楽の伝達手段である「楽譜」は何を表わしているのかを理解し、読み書きを行います。 【準備学習の内容】五線紙(音楽ノートなど)に音符を書く練習をしておくこと。			A		
	第4回	【テーマ】メロディの成り立ちを考える 【計画内容】音楽の三要素の一つ「メロディ」はどうやってできているのか。骨組みとなる音階を理解します。 【準備学習の内容】音階について調べておくこと。			A		
	第5回	【テーマ】ハーモニーの構造を理解する 【計画内容】音楽の三要素の一つ「ハーモニー」はどうやって生まれるのか。骨組みとなる調性と和音について学びます。 【準備学習の内容】「ハーモニー」という言葉の意味は何か調べておくこと。			A		
	第6回	【テーマ】リズムとは何かを考える 【計画内容】音楽の三要素の一つ「リズム」はどのような特徴があるのか。「拍子」と「リズム」について学びます。 【準備学習の内容】拍子とリズムの違いを調べておくこと。			A		
	第7回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】音楽の三要素について振り返り、確認し理解を深めます。 【準備学習の内容】前回までの内容を復習しておくこと。			A、L		
	第8回	【テーマ】楽器～その分類～について考える 【計画内容】楽器を使った音楽表現方法にはどのような形態があるか、また楽器の種類はどのように分類されるか、学びます。 【準備学習の内容】あなたの知っている楽器はいくつありますか?紙に書き出しておくこと。			A、G		
	第9回	【テーマ】楽器～管楽器～について学ぶ 【計画内容】管楽器を中心に楽器の歴史と発明を踏まえ、基本構造と発音原理を学びます。 【準備学習の内容】管楽器はどのように音が出るか調べておくこと。			A、H		
	第10回	【テーマ】楽器～弦楽器と鍵盤楽器～について学ぶ 【計画内容】弦楽器と鍵盤楽器について歴史と発明を踏まえ、基本構造と発音原理を学びます。 【準備学習の内容】ヴァイオリンとピアノはどうやって音が出るのか調べておくこと。			A、G		
	第11回	【テーマ】音楽の形式について知る 【計画内容】音楽はさまざまな形式で創られており、その種類と特徴について学びます。 【準備学習の内容】音楽の形式にはどんなものがあるか調べておくこと。			A、H		
	第12回	【テーマ】行進曲とJAZZについて 【計画内容】行進曲のための音楽とJAZZとの密接な関係を探る。 【準備学習の内容】様々な行進のための音楽を考察しておくこと。			A、G		
	第13回	【テーマ】音楽用語について学ぶ 【計画内容】音楽で使用される言葉について本来の意味を知り、適切な表現方法を考えます。 【準備学習の内容】音楽用語は何語か調べておくこと。			A、H		
	第14回	【テーマ】演奏形態・スタイルについて 【計画内容】それぞれの演奏表現をする形態・スタイルを学びます。 【準備学習の内容】色々な種類の演奏形態を書き出しておくこと。			A、G		
	第15回	【テーマ】まとめと確認 振り返り 【計画内容】楽譜を通じて学んできた音楽の理論と楽器の基本構造や発音原理のまとめと確認をします。 【準備学習の内容】今までの学習記録ノートをまとめておくこと。			A、G		
テキスト	自作したプリント配付						
参考書	木下牧子監修、2008年、『図解雑学よくわかる楽典』、ナツメ社、4816345173 緒方英子、2006年、『カラー図解 楽器のしくみ』、日本実業出版社、4534040253 関孝弘/ラーゴ・マリアンジェラ共著、2006年、『イタリアの日常会話から学ぶ これで納得!よくわかる音楽用語の話』、全音楽譜出版社、4118802279						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足			学習記録ノート		平時	レポート提出
質問への対応	オフィスアワーなど、初回講義時に説明します。						
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修						
その他	5線ノート(音楽用)と授業ファイルを用意すること。 音楽に興味があり意欲的に授業を受講すること。						

科目名	ファッションデザイン概論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	大信田 静子、富田 玲子							
授業の目的	ねらい	ファッションデザインは、形、色彩、素材、更には作り方と着こなしがあり完成する。そして、そのデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったかを検証し、ファッションをどのように生活の中で役立てていけば良いのかを考える。衣服とは何か？自分らしさとは何か？を一緒に考える。						
	到達目標	(1)日常生活の中での衣服・ファッションとは何か？を考え、基礎的要素のデザインから入り、造形・色彩のセオリーを通して内面的・外面的な美しさを学ぶ。 (2)様々なフォーマルシーン(慶弔別)におけるフォーマルウェアのルール・マナーが理解できる。 (3)ファッションデザインの意義と可能性を理解する。 (4)ファッション分野の科目を履修する上で指針となる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。(大信田静子) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 衣服・ファッションとは 【計画内容】 衣服はいつから始まり、どのような衣類を纏っていたのだろうか。歴史も含めながらみていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 ファッションについて考えておくこと。						A
	第3回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について① 【計画内容】 人はなぜ洋服を着用するのか。歴史的な被服と身体装飾から探っていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について② 【計画内容】 衣服の目的としての実用性と表現、身体保護と機能性を考えていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について③ 【計画内容】 ファッションが人に及ぼすイメージと色彩及び錯視についてみていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第6回	【テーマ】 衣服・ファッションと身体について④ 【計画内容】 衣服の外面的・内面的美しさ個性について考えていきます。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を熟読しておくこと。						A
	第7回	【テーマ】 まとめとレポート提出 【計画内容】 2回目-6回目までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(大信田静子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を熟読しておくこと。						G
	第8回	【テーマ】 ファッションをデザインする 【計画内容】 服飾に関するデザインのプロセスについて学び、ファッションにおける大切な要素について考えます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第9回	【テーマ】 20世紀のファッション①洋装における昼のフォーマルシーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケーションに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】 20世紀のファッション②洋装における夜のフォーマルシーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケーションに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第11回	【テーマ】 20世紀のファッション③洋装における喪服シーン 【計画内容】 男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケーションに合わせたドレスコードを理解します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】 まとめと確認ならびにレポート提出 【計画内容】 8回目-11回目までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第13回	【テーマ】 20世紀のファッション④制服 【計画内容】 制服から発展した現代ファッションを世界に送り出してきたトラディショナル・スタイル(メンズスタイル)について学びます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A
	第14回	【テーマ】 20世紀のファッション⑤デザインの源泉 【計画内容】 ヴィオネと三宅一生の発想と展開について、学びます。(富田玲子) 【準備学習の内容】 配付プリントの内容を確認しておくこと。						A、B
	第15回	【テーマ】 まとめとレポートについて 【計画内容】 これまでのまとめと確認を行います。(富田玲子) 【準備学習の内容】 プリントを読み復習しておくこと。						A
テキスト	2013年、『フォーマルウェア・ルールブック』、日本フォーマルウェア協会 プリントを使用します							
参考書	ジョアン・フィンケルシュタイン 成実弘至訳、2007年、『ファッションの文化社会学』、せりか書房、9784796702799 ベティ・カーク、2002年、『VIONNET』、求龍堂、9784763097309							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		20%		20%		
	補足	最終		レポート		平時		
質問への対応	大信田静子 630研究室 E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp 富田玲子 640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他								

科目名	インテリアデザイン		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	千里 政文						
授業の目的	ねらい	インテリアデザインを学習する上で必要な、基本的知識の習得を目的とする。インテリアデザインの成立要素、人体寸法、インテリアと人間工学、内装材料、モジュールと工業化、室内環境の要素、室内環境と法規において理解し、インテリアデザインの基本的手法を習得する。					
	到達目標	(1)本講義は、インテリアにおけるデザインの基礎を修得することを目標とする。 (2)本講義を通じて、インテリアデザインのための必要な知識と技術を身に付ける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション インテリアデザインとは 【計画内容】 講義内容を具体的に説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。			A		
	第2回	【テーマ】 インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法) 【計画内容】 インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第3回	【テーマ】 インテリア計画と内装材料(床・壁・天井) 【計画内容】 インテリア計画と内装材料(床・壁・天井)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第4回	【テーマ】 インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備 【計画内容】 インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第5回	【テーマ】 インテリア計画と法規 【計画内容】 インテリア計画と法規について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第6回	【テーマ】 インテリア計画と室内環境(シックと換気) 【計画内容】 インテリア計画と室内環境(シックと換気)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第7回	【テーマ】 インテリアデザインの手法 【計画内容】 インテリアデザインの手法について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第8回	【テーマ】 平面図とその表現法 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第9回	【テーマ】 展開図とその表現法 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第10回	【テーマ】 子ども部屋におけるインテリアの工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第11回	【テーマ】 子ども部屋における色彩等の工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第12回	【テーマ】 展開図と3次元の表現法の小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第13回	【テーマ】 理想のマイルームの小演習 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			A、J		
	第14回	【テーマ】 小演習とプレゼンテーションの仕方 【計画内容】 演習課題により具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			F、J		
	第15回	【テーマ】 小演習の発表プレゼンテーション 【計画内容】 完成した小演習課題をプレゼンテーションする。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。			F		
テキスト	Airprah, 2014年、『超図解で全部わかるインテリアデザイン入門』、エクスナレッジ、9784767818764 『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』						
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説芸術編』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。						

科目名	ユニバーサルデザイン		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	千里 政文						
授業の目的	ねらい	建築計画をユニバーサルデザインの視点を取り入れ学ぶ。少子超高齢社会に対応するための、保育園・幼稚園、小・中・高校、各種学校、高齢者施設・医療施設をはじめ都市計画について学び、多くの人々に使いやすく、多様なニーズに対応可能な、これからの社会に対応できる建築計画について習得する。					
	到達目標	(1)建築基準法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」から、少子超高齢社会に対応した建築計画を学ぶ。 (2)建築家ロン・メイスによる提案された「アクセスしやすい建築」の視点、すなわちユニバーサルデザインから建築計画を学ぶ。 (3)人体寸法・動線計画、集住計画・高齢者施設・グループホーム・医療施設・学校教育施設・地域コミュニティ施設等について学ぶ。 (4)本授業を通じて、少子超高齢社会に対応できる建築計画の知識と技術を身に付ける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 建築計画における国土交通省の取り組みについて 【計画内容】 建築計画における国土交通省の取り組み:バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 アクセスしやすい建築(建築家ロン・メイスとユニバーサルデザイン) 【計画内容】 アクセスしやすい建築について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A	
	第3回	【テーマ】 建築計画と人体寸法(乳児から後期高齢者まで) 【計画内容】 乳児から後期高齢者までの人体寸法について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A	
	第4回	【テーマ】 高齢者・身体障害者に対応した細部計画(動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザイン) 【計画内容】 動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインについて具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A	
	第5回	【テーマ】 超高齢社会のための建築計画(在宅介護を可能にする建築計画) 【計画内容】 高齢になっても対応可能な住宅計画を具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第6回	【テーマ】 少子超高齢社会における動線計画 【計画内容】 少子超高齢社会における動線計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第7回	【テーマ】 集住計画(集合住宅、シェアハウス、世代間交流) 【計画内容】 集住計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第8回	【テーマ】 高齢者施設(高齢者施設の種類、サービスの種類、各部門の計画) 【計画内容】 高齢者施設について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第9回	【テーマ】 認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画 【計画内容】 認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第10回	【テーマ】 医療施設(病院・診療所) 【計画内容】 医療施設(病院・診療所)について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第11回	【テーマ】 学校教育施設と地域コミュニティ計画(小学校・中学校、保育所・幼稚園建築と都市計画) 【計画内容】 学校教育施設と地域コミュニティ計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第12回	【テーマ】 加齢に伴う建築計画(色の識別変化と色彩計画、照明計画) 【計画内容】 加齢に伴う建築計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第13回	【テーマ】 住宅・都市のバリアフリー計画(少子超高齢社会への対応) 【計画内容】 住宅・都市のバリアフリー計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第14回	【テーマ】 都市計画(ノーマライゼーション・コンパクトシティ含) 【計画内容】 都市計画について具体的に学ぶ。 【準備学習の内容】 予習復習し課題に取り組むこと。				A、J	
	第15回	【テーマ】 本授業のまとめ 【計画内容】 本授業で学び習得してきた内容について振り返り、授業全体をまとめつつ、これからの建築計画のあり方を考える。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容を再確認しておくこと。				A、G	
テキスト	『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン』						
参考書	自作プリントを配付します 〈建築のテキスト〉編集委員会編、2000年、『初めての建築計画(建築のテキスト)』、学芸出版社、9784761530907 福田健策著、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			60%		40%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[芸]1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必						
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。						

科目名	食生活と健康				授業形態	講義	単位数	2
教員名	黒田 裕太							
授業の目的	ねらい	受講者自身の食行動や食習慣に興味・関心を持ち、日常の食生活を営む上で必要な基礎知識を学ぶ。日本の食文化や日本人が培ってきた食文化は世界一の長寿国をもたらした。そこからさまざまな知見を学び、現在の食生活の現状を直視し、健康的な食生活・食事のための実践力を養う。						
	到達目標	(1)日常の基本的な食生活(朝・昼・夕食)の必要性を理解する。 (2)大学生活において健康な食生活を実践できる知識を習得する。 (3)食行動および食習慣、食材に興味関心を持つ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 本講義の内容を紹介し、15回の授業展開や参考資料等の説明をする。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと(シラバス持参)。						A
	第2回	【テーマ】 食行動の意味 【計画内容】 食行動を改めて考え、その意味と新しい知見に触れる。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A、H
	第3回	【テーマ】 食生活の基本 -1日3食の理由 - 【計画内容】 朝食欠食における弊害や、理想的な食事内容に関して学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第4回	【テーマ】 現代の食生活の現状 【計画内容】 最新の国民健康・栄養調査の結果から、食生活の現状と課題点を探り、自らの食生活を顧みる機会とする。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第5回	【テーマ】 食生活と水分 【計画内容】 水分の役割について学ぶ。また、ペットボトルを始め身近にある飲み物の食品表示(カロリーゼロ、カロリーオフ)の正しい理解について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第6回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -食事バランスガイド - 【計画内容】 偏りのない食生活のために、食事バランスガイドができた背景と、主食・主菜・副菜・乳製品・果物・嗜好品の概要を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第7回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -日本人の食事摂取基準 - 【計画内容】 偏りのない食生活のために、日本人の食事摂取基準ができた背景と基準値の把握および活用方法を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第8回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -食品成分表 - 【計画内容】 偏りのない食生活のために食品成分表に触れ、食品に興味を持ってもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第9回	【テーマ】 身体のリズムと栄養 【計画内容】 食事から得られた栄養素を効率よく摂取するには、身体のリズムを考慮する必要がある。体内時計と食事の関係を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第10回	【テーマ】 栄養素摂取の評価方法① 【計画内容】 食事調査方法や特性を把握し、受講者自身の食事摂取を評価する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A、B
	第11回	【テーマ】 栄養素摂取の評価方法② 【計画内容】 食事調査方法や特性を把握し、調査実施者と調査対象者に別れ、食事調査を実施する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A、B、N
	第12回	【テーマ】 日本食の特徴と機能性 【計画内容】 世界無形文化遺産になった「日本食」の特徴と、機能性を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。						A
	第13回	【テーマ】 日本の食文化の発展と現在① 【計画内容】 日本各地には様々な食文化が根付いている。全国レベルでの食文化事情を調査し、グループに別れ共同学習を実施する。発表方法や、作業の進め方を指導する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。						A、B、H
	第14回	【テーマ】 日本の食文化の発展と現在② 【計画内容】 日本各地には様々な食文化が根付いている。全国レベルでの食文化事情を調査し、グループに別れ共同学習を実施する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。						A、B、H
	第15回	【テーマ】 食生活と健康のまとめ 【計画内容】 本講義のまとめを実施し、13、14回目の授業の成果を発表する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。						A、B、H
テキスト	講義時に説明する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		20%	10%	10%		
補足								
質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)または講義後を活用してください。							
資格	[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事_選必							
その他	「栄養と健康」および「スポーツ栄養学」を受講希望している学生は本講義を受講することが望ましい。							

学部共通科目

科目名	生涯スポーツ学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	川西 正志						
授業の目的	ねらい	本講義では、運動・スポーツの実践に関わる促進・阻害要因として、生涯の各時期における社会・環境要因や個人要因(性・年齢・性格・職業・体力等)を捉えて議論する。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく上で、指導者の役割や必要な資質について講ずる。冰雪寒冷圏域における生涯スポーツの基礎的理論とその現状や課題について理解を深める。					
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念、内容への理解を深める。 (2)各ライフステージ別の運動・スポーツ実践に関する特性について理解する。 (3)冰雪寒冷地における生涯スポーツの現状と特徴について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の概要と展開、評価について確認します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 スポーツとは？歴史と概念 【計画内容】 スポーツの歴史的背景や生涯スポーツの概念、意義について考えます。 【準備学習の内容】 生涯スポーツに対する現在の考えをまとめておく。	A、K				
	第3回	【テーマ】 高齢者スポーツの現状と課題 【計画内容】 高齢者の運動・スポーツ実践の現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第4回	【テーマ】 青少年スポーツの現状と課題 【計画内容】 青少年スポーツの現状と課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第5回	【テーマ】 スポーツの文化的価値 【計画内容】 文化論的立場からの生涯スポーツの意義について理解します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第6回	【テーマ】 我が国のスポーツ振興とスポーツクラブ運営 【計画内容】 日本のスポーツ振興へのスポーツクラブの経営課題について理解します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第7回	【テーマ】 運動実践による健康づくり事業の現状と課題Ⅰ(グループで健康づくり教室の企画をします) 【計画内容】 身体活動量や運動習慣の事業を理解し、グループで企画をします。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、H				
	第8回	【テーマ】 運動実践による健康づくり事業の計画演習Ⅱ(グループで健康づくり教室の企画発表をします) 【計画内容】 運動・スポーツ実践の具体的なプログラムについてグループで発表し全体討論します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	F				
	第9回	【テーマ】 冰雪寒冷地における生涯スポーツの動向と課題 【計画内容】 冰雪寒冷地における各年代の身体特性、健康課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第10回	【テーマ】 冰雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性 【計画内容】 冰雪寒冷地における運動・スポーツ実践の特性について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第11回	【テーマ】 生涯スポーツ指導者制度 【計画内容】 生涯スポーツ指導者資格と取得制度について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第12回	【テーマ】 スポーツ施設の運営管理 【計画内容】 スポーツ施設の運営管理で指定管理やPFIについて考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第13回	【テーマ】 日本の生涯スポーツの推進に向けて 【計画内容】 生涯スポーツの推進に向けた施策について調べます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第14回	【テーマ】 生涯スポーツ研究の現状と課題 【計画内容】 生涯スポーツ学研究的課題について考えます。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 生涯スポーツの意義と課題について、各自の考えを発表し総合討論します。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を復習し、自分の考えを整理しておく。	A、K				
テキスト	川西正志・野川春夫、2012年、改訂3版 『生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109290 追加する必要な資料については、講義時に説明する						
参考書	笹川スポーツ財団、『スポーツ白書』 笹川スポーツ財団、『スポーツライフ・データ』 川西正志・野川春夫監訳、『ヨーロッパ諸国のスポーツクラブ』、市村出版						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		10%		20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に説明します						
資格	[ス]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修						
その他							

科目名	生涯スポーツ学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	小坂井 留美						
授業の目的	ねらい	生涯スポーツの概念や広まってきた背景を学ぶ。幅広い年代や多様な特性をもつ人々に向けて生涯スポーツを推進していく中で必要な、各年代や生涯を通じて起こりうる心身の変化や取り巻く社会環境について理解し、運動・スポーツとの関係で考察する。					
	到達目標	(1)生涯スポーツの概念や生涯スポーツ政策について説明できる。 (2)ライフステージ毎に、特性と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 (3)生涯スポーツ社会の実現と生涯スポーツ振興について、支援者、指導者が果たす役割を具体的に提案できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】生涯スポーツの定義 【計画内容】生涯スポーツの定義と特色、その背景を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第1章をまとめてくる。				A	
	第2回	【テーマ】生涯スポーツの歴史 【計画内容】日本および世界の生涯スポーツ政策の変遷と特徴を理解し、スポーツ振興計画とスポーツ立国戦略に掲げられた具体的な目標をあげられるようにする。北海道の生涯スポーツ政策にも触れる。 【準備学習の内容】演習ノート第2章をまとめてくる。				A	
	第3回	【テーマ】余暇とスポーツ 【計画内容】日本のレジャー・レクリエーション政策とスポーツとのかかわりを理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第3章をまとめてくる。				A	
	第4回	【テーマ】生涯スポーツとビジネス 【計画内容】生涯スポーツのビジネス化とマーケティングについて現状を理解し、スポーツ振興の視点から波及効果について考える。 【準備学習の内容】演習ノート第4章をまとめてくる。				A	
	第5回	【テーマ】生涯スポーツとヘルスプロモーション 【計画内容】高齢社会を迎え健康づくりのために生涯スポーツが求められる役割と、生涯スポーツを通じた健康づくりのマネジメントを学ぶ。 【準備学習の内容】演習ノート第5章をまとめてくる。				A、H	
	第6回	【テーマ】地域社会と生涯スポーツイベント 【計画内容】スポーツイベントによる生涯スポーツ振興や、スポーツツーリズムの事例を取り上げ、経済波及効果やスポーツによる地域活性化について理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第6章をまとめてくる。				A	
	第7回	【テーマ】生涯スポーツ指導者とボランティア 【計画内容】生涯スポーツ指導者の社会的制度について学ぶ。指導者養成と各資格等の役割、スポーツボランティアの果たす役割と現状について理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第7章をまとめてくる。				A	
	第8回	【テーマ】青少年のスポーツ参加 【計画内容】青少年のスポーツ参加の動向と、生涯スポーツ振興施策について理解する。子どもの体力の傾向や学校体育や部活動の問題、スポーツ障害等を取り上げ、各ライフステージにおける現状と望ましい生涯スポーツのあり方を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第8章をまとめてくる。				A、K	
	第9回	【テーマ】高齢者のスポーツ 【計画内容】少子・高齢社会におけるスポーツの役割を理解する。高齢者の健康づくり施策や具体的な介護予防プログラムについて学ぶ。 【準備学習の内容】演習ノート第9章をまとめてくる。				A	
	第10回	【テーマ】障がい者のスポーツ 【計画内容】障がい者とスポーツについて歴史と現状を学ぶ。障がい者スポーツの定義とノーマリゼーションについて理解する。リハビリテーションスポーツの意義や、大会運営、選手育成、指導者養成のシステムにも触れる。 【準備学習の内容】演習ノート第10章をまとめてくる。				A	
	第11回	【テーマ】生涯スポーツとニュースポーツ 【計画内容】競技スポーツの近代的価値観に対抗するニュースポーツの特性と歴史について学ぶ。北海道における事例を取り上げ、ニュースポーツの普及と課題を考察する。 【準備学習の内容】演習ノート第11章をまとめてくる。				A、D	
	第12回	【テーマ】スポーツクラブの現状と課題 【計画内容】スポーツクラブを中心としたコミュニティ・スポーツの振興と施策を学び、日本の地域スポーツクラブにおける現状と課題を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第12章をまとめてくる。				A	
	第13回	【テーマ】スポーツクラブの運営 【計画内容】ヨーロッパ諸国を中心としたスポーツクラブの現状と日本における具体的事例を学ぶ。スポーツクラブの経営と、クラブマネジャーの役割を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第13章をまとめてくる。				A	
	第14回	【テーマ】女性スポーツの現状と課題 【計画内容】女性スポーツについて歴史と現状を学ぶ。女性スポーツの促進や指導上の課題を理解する。 【準備学習の内容】演習ノート第14章をまとめてくる。				A	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各回の内容を振り返り、生涯スポーツ振興において自らの果たす役割について考察する。 【準備学習の内容】演習ノート第15章をまとめてくる。				A、L	
テキスト	川西正志・野川春夫、2012年、改訂3版 『生涯スポーツ実践論 生涯スポーツを学ぶ人たちに』、市村出版、9784902109290						
参考書	森谷黎監修、2006年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109077 日下裕弘・加納弘二、2010年、『生涯スポーツの理論と実際』、大修館書店、4469266981						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		20%		40%	
補足							
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。						

科目名	生涯学習論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	谷川 松芳							
授業の目的	ねらい	本講では、生涯学習の基本的なことについて学習する。人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会の実現を目指すためのあり方を学ぶ。さらに、生涯学習と生涯教育の関連構造、生涯学習と社会教育、生涯学習と自己形成の関わりなどについて学ぶ。あわせて、国内外の生涯学習の歴史的背景などについて学習する。						
	到達目標	(1)生涯学習の基礎基本を理解する。 (2)生涯学習支援者としての知識や技能を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】生涯学習の意義 【計画内容】ガイダンス・生涯学習の意義を学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習振興法及び教育基本法を熟読しておくこと。	A、G					
	第2回	【テーマ】生涯学習の目的 【計画内容】ユネスコ成人教育国際委員会のポール・ラングランにより生涯教育の提言を学ぶ。 【準備学習の内容】ユネスコについて調べておくこと。	A、G					
	第3回	【テーマ】生涯学習と生涯教育の関連構造 【計画内容】生涯学習と生涯教育の関連構造について学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習振興法及び教育基本法を熟読しておくこと。	A、G					
	第4回	【テーマ】生涯学習と社会教育の関連構造 【計画内容】生涯学習と社会教育の関連構造について学ぶ。 【準備学習の内容】社会教育法を熟読しておくこと。	A、G					
	第5回	【テーマ】社会教育の専門的職員 【計画内容】社会教育の専門的職員について学ぶ。 【準備学習の内容】社会教育法及び生涯学習審議会における各種答申を熟読しておくこと。	A、G					
	第6回	【テーマ】日本における生涯学習の歴史 【計画内容】日本の生涯学習の歴史(各種審議会答申)から学ぶ。 【準備学習の内容】生涯学習審議会答申を熟読しておくこと。	A、G					
	第7回	【テーマ】日本における生涯学習の推進方策 【計画内容】日本の生涯学習推進状況から学ぶ。 【準備学習の内容】国内の生涯学習推進状況を事前に調べておくこと。	A、G					
	第8回	【テーマ】北海道行政における生涯学習推進体制 【計画内容】北海道の生涯学習推進体制から学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】北海道生涯学習推進本部設置規則を調べておくこと。	A、G					
	第9回	【テーマ】市町村の自治体行政における生涯学習推進体制 【計画内容】市町村における生涯学習推進計画及び生涯学習推進体制の事例から学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】市町村における教育計画について調べておくこと。	A、G					
	第10回	【テーマ】諸外国の生涯学習推進体制 【計画内容】諸外国の生涯学習体制から学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】韓国の生涯学習について調べておくこと。	A、G					
	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設 【計画内容】生涯学習を推進する関連施設の現状と役割から学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】学習関連施設等を事前に調べておくこと。	A、G					
	第12回	【テーマ】生涯学習とリカレント教育の関連構造 【計画内容】生涯学習とリカレント教育の意義と役割を学ぶ。 学び直しができるシステムを学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】職業教育の意義について調べておくこと。	A、G					
	第13回	【テーマ】生涯学習による自己形成 【計画内容】生涯学習による自己形成のあり方を学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】学習の目的について、自分自身の考え方をまとめておくこと。	A、G					
	第14回	【テーマ】生涯学習によるまちづくり活動 【計画内容】生涯学習によるまちづくり活動のあり方を学ぶ。 人としての地域貢献のあり方を学ぶ。(阿部豊) 【準備学習の内容】まちづくり活動の目的を考えておくこと。	A、G					
	第15回	【テーマ】生涯学習論のまとめ 【計画内容】生涯学習は、生涯学習社会の実現をめざすためにあることを学ぶ。 生涯学習論をふり返り、小論文を作成する。 【準備学習の内容】第14回までの授業をまとめておくこと。	L					
テキスト	プリントを使用する							
参考書	講義時に資料を配付する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補足				毎時レポート				
質問への対応	講義の前後で行う。							
資格	[ス] [健]社会教育主事_必修							
その他	地方公務員として市町村職員及び教育委員会の社会教育主事を目指す学生を求む。							

科目名	栄養と健康		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	黒田 裕太						
授業の目的	ねらい	戦後の生活水準の向上は、栄養摂取過多や偏りをもたらし、生活習慣病の大きな原因となっている。本講義では、栄養素の役割、摂取エネルギーおよび栄養素の代謝と生理学的意義を理解し、理想的な食生活を実践できることを目標とする。					
	到達目標	(1)各栄養素の役割を理解する。 (2)個人の栄養状態を評価し食生活の改善策をたてることができる。 (3)食習慣や栄養摂取の重要性を意識させる。 (4)講義で得た知識を利用し、理想的な食習慣および生活習慣を構築することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 本講義の内容を紹介し、15回の授業展開や参考資料等の説明をします。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと(シラバス持参)。				A	
	第2回	【テーマ】 日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病との関連性 【計画内容】 健康な生活を実現する上で、「食と運動」の組み合わせを考慮することがとても重要である。本講義では日本人の食生活および生活習慣の変化と疾病の関連性を理解してもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む(厚生労働省のホームページを参照)。				A	
	第3回	【テーマ】 食物摂取と消化吸収 【計画内容】 栄養素別の消化・吸収について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第4回	【テーマ】 栄養素とその機能①糖質 【計画内容】 糖質の栄養学的特徴、日常および運動時におけるエネルギー源としての重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第5回	【テーマ】 栄養素とその機能②脂質 【計画内容】 脂質の栄養学的特徴、摂取の現状の問題点について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第6回	【テーマ】 栄養素とその機能③たんぱく質 【計画内容】 たんぱく質の栄養学的特徴、体内代謝、栄養価評価法について学ぶ。摂取すべきたんぱく質の量および付随する栄養素との関連について理解する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第7回	【テーマ】 栄養素とその機能④ビタミン 【計画内容】 ビタミンの栄養学的機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第8回	【テーマ】 栄養素とその機能⑤ミネラル 【計画内容】 ミネラルの栄養学的機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第9回	【テーマ】 水分の役割と水分補給 【計画内容】 水の機能、1日の水分出納と脱水症状について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第10回	【テーマ】 エネルギー代謝 【計画内容】 運動強度、継続時間による三大栄養素のエネルギー源としての利用率を知る。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第11回	【テーマ】 日本人の食事摂取基準の理解 【計画内容】 食事摂取基準の考え方と、各栄養素等の食事摂取基準について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第12回	【テーマ】 スポーツ栄養学 【計画内容】 2年次に実施されるスポーツ栄養学の基礎的な紹介をする。スポーツ栄養学は本授業の基礎知識があって理解できる内容となっている。そのため、本授業での知識がどのように生かされるのか理解してもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第13回	【テーマ】 体重の増減のしくみ 【計画内容】 運動および食事エネルギー出納のコントロールによる適切な減量計画の立て方に取り組む。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A、B	
	第14回	【テーマ】 減量計画と事例紹介 【計画内容】 第14回の授業を踏まえ、たうえで、「減量」とは何かを考える。また、その事例報告から食生活を考察する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A、B	
	第15回	【テーマ】 栄養と健康のまとめ 【計画内容】 本講義の総まとめを実施する。 【準備学習の内容】 これまでの講義プリントを復習し、講義内容を整理しておくこと。				A、L	
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	90%				10%	
質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)または講義後を活用してください。						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他	内容の難易度が上がるため「食生活と健康」を受講していることが望ましい。 また、2年次のスポーツ栄養学を受講希望している学生は、同様の理由で本講義を受講することが望ましい。						

科目名	健康学			授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田 史郎						
授業の目的	ねらい	本講義では、現代社会に生きる我々がどのように健康づくりを実践していけばよいかについての基礎知識を身につけることを目的とする。講義内容は、栄養・運動・休養の3要素を中心に、心の問題や環境問題、性別や年齢別の健康問題など多岐にわたる。また具体的な取り組み事例や健康づくり行動継続のための心理的な手法についても学ぶ。講義では、それぞれのテーマにおける科学的な根拠を紹介し、これらに基づいた健康づくりを学生自身が考えるという流れで進める。					
	到達目標	(1)健康づくりが様々な側面からなされていることを理解し、総合的に考える力を身につける。 (2)健康づくりに関する正しい知識を選択する力を身につける。 (3)行動変容理論に基づき、健康づくり行動を継続するための工夫ができるようになる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・健康の考え方 【計画内容】 講義の進め方と健康の考え方について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおく。	A、G				
	第2回	【テーマ】 わが国の健康づくり施策 【計画内容】 第1次健康づくり対策から健康日本21(第2次)にかけて、わが国の健康づくり施策の流れとその背景について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第3回	【テーマ】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイド 【計画内容】 健康づくりのための身体活動基準2013とアクティブガイドについて学ぶ 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第4回	【テーマ】 健康運動指導者の社会的役割について 【計画内容】 健康運動指導士や健康運動実践指導者の役割とその意義について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第5回	【テーマ】 健康と運動の関係について 【計画内容】 運動が健康にどのように影響しているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第6回	【テーマ】 健康と栄養の関係について 【計画内容】 栄養素の役割や食生活と健康づくりのかかわりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第7回	【テーマ】 健康と休養の関係について 【計画内容】 健康づくりにおいて、休養がどのような役割を果たしているかについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第8回	【テーマ】 睡眠の役割について 【計画内容】 なぜ睡眠が必要かについて学ぶとともに睡眠の構造について理解する。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、B、G				
	第9回	【テーマ】 睡眠の評価方法について 【計画内容】 質問紙などを使用して、睡眠を評価する方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第10回	【テーマ】 睡眠をとりまく問題と対策について 【計画内容】 わが国が抱える睡眠問題とその対策について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第11回	【テーマ】 健康日本21(第二次)における社会環境の整備 【計画内容】 社会環境を整える重要性和健康日本21(第二次)における位置づけについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第12回	【テーマ】 ストレスの考え方と評価法 【計画内容】 ストレスの考え方と評価法について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第13回	【テーマ】 ストレスマネジメントとカウンセリング 【計画内容】 ストレスマネジメントとカウンセリングについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第14回	【テーマ】 運動の健康行動(禁煙など)への影響 【計画内容】 運動の健康行動(禁煙など)への影響について学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
	第15回	【テーマ】 行動変容理論について 【計画内容】 健康づくりの行動に至らない理由をふまえ、行動変容理論に基づいた工夫や仕掛けについて学ぶ。 【準備学習の内容】 講義テーマに関する文献を読んでおく。	A、G				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		50%			
補足	第16回に実施						
質問への対応	研究室での対応のほか、メールでも対応します。 E-Mail:os@hokusho-u.ac.jp						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修 [健]介護福祉士_選必、健康運動実践指導者_必修						
その他							

科目名	介護予防論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田 史郎、小坂井 留美、吉田 修大							
授業の目的	ねらい	今後の超高齢社会に対応していくためには、高齢者がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍できるような社会への転換を図っていくことが求められている。本講義では、住民主体の介護予防事業を支援できるように、介護予防を推進していくための知識や技術を習得することを目的とする。						
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の重要性について理解する。 (2)介護予防リーダーについて理解し、介護予防に関する基礎的な知識を習得する。 (3)住民主体の介護予防実践例をもとに、効果的に進めるためのポイントについて理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・介護予防リーダーとは？ 【計画内容】講義の展開予定について説明する。 住民主体の介護予防が求められる背景、介護予防リーダーについて理解する。(小田史郎・谷川松芳) 【準備学習の内容】シラバスを読んできてください。						A、G
	第2回	【テーマ】介護予防計画についての報告会 【計画内容】2年生が介護予防実践演習で作成した介護予防計画についての報告会に参加し、学びについて理解する。(小田史郎) 【準備学習の内容】報告会の発表予稿集を読んできてください。						B
	第3回	【テーマ】介護予防と老年学(1) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、G、K
	第4回	【テーマ】介護予防と老年学(2) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、G、K
	第5回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(1) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として筋の名称や働きを学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、G、K
	第6回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(2) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として姿勢の評価方法を学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、H
	第7回	【テーマ】老年症候群の早期発見(1) 【計画内容】介護予防のターゲットである老年症候群について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、G、K
	第8回	【テーマ】老年症候群の早期発見(2) 【計画内容】老年症候群の早期発見のためのスクリーニングツールについて学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						B、G、K
	第9回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(1) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						B、G、H
	第10回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(2) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						B、G、H
	第11回	【テーマ】転倒予防トレーニング(1) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、G、H
	第12回	【テーマ】転倒予防トレーニング(2) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						B、G、H
	第13回	【テーマ】口腔機能の向上(1) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(外部講師) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、B、G、H
	第14回	【テーマ】口腔機能の向上(2) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(外部講師) 【準備学習の内容】事前に配付するプリントを読んできてください。						A、B、G、H
	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】これまで学んだことをまとめる。(小田史郎) 【準備学習の内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習する。						B、G、H
テキスト	講義内で提示します							
参考書	講義内で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
補足								
質問への対応	講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。							
資格								
その他								

科目名	スポーツ心理学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	吉田 聡美						
授業の目的	ねらい	スポーツ競技において良い成績をあげるためには、技術面・体面に加え、心理面も重要な要素です。この講義では、自分自身の心の動きについての基礎知識を学び、スポーツ活動や運動パフォーマンスを促進するために必要な心理的スキルを学習します。また、スポーツ場面特有の心理的現象やその対処法についての認識を深め、以下のことを到達目標とします。					
	到達目標	(1)スポーツ活動や運動のパフォーマンスにとってメンタルマネジメントが重要であることを理解する。 (2)心理的スキルについての内容を理解でき、その方法を説明することができる。 (3)競技力向上及び実力を発揮するための適切な指導をするために、自分自身を客観的に把握し理解することができる。					
授業の計画	第1回	[テーマ] 講義のガイダンス、スポーツの心理①スポーツ心理学の効果 [計画内容] 講義の実施方法、評価方法などについて紹介し、15回の講義展開を説明します。スポーツが心理面に与える影響、特にスポーツ活動の心理的効果について学びます。 [準備学習の内容] シラバスの内容を熟読及び指定した教科書、ワークブックの第1章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第2回	[テーマ] スポーツの心理②自己分析 [計画内容] スポーツ活動を行う上で心の要素はどのように関与するか、特に競技スポーツにおいては実力発揮や競技力向上をするための心理的側面及び心理的スキルについて学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第2章を読んでおくこと。	A、G				
	第3回	[テーマ] スポーツにおける動機付け① [計画内容] 動機付けが果たす役割、動機づけ理論について学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第3章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第4回	[テーマ] スポーツにおける動機付け② [計画内容] 動機付けを高める方法、目標設定の効果について学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第4章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第5回	[テーマ] 覚醒水準とパフォーマンスの関係 [計画内容] スポーツ競技場面での適切な覚醒水準、リラックスとはどのような事なのかを学び、さらに実際に体験します。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第5章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第6回	[テーマ] 注意集中力とは [計画内容] 集中力の種類、高め方について学びます。また、実際に体験し、どのようにスポーツ場面で生かすか検討します。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第6章前半を読んでおくこと。	A、H、K				
	第7回	[テーマ] 集中力と注意 [計画内容] 集中力が乱れる要因について学び、集中力が途切れる場面や症状に応じた対処方法を学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第6章の後半を読んでおくこと。	A、K、L				
	第8回	[テーマ] イメージトレーニングとは [計画内容] イメージトレーニングの目的、種類、効果、高め方、注意点等について学び、また、各競技に合わせたトレーニング方法を検討します。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第7章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第9回	[テーマ] 思考のコントロール [計画内容] 試合前後の思考や積極的な思考をする目的や効果について学び、自己の思考を分析することを通して、競技能力や実力を発揮することができることを学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第8章、9章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第10回	[テーマ] コーチングの心理①効果的な指導方法 [計画内容] リーダーシップやコーチングについて学び、指導する上で必要な哲学やコーチングの方法について学ぶことを通して、勝利のみではなく人間的な成長力を高める方法を考えます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第11、12章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第11回	[テーマ] コーチングの心理②スポーツスキルの習得 [計画内容] 技能習熟の過程において一般的に見られる法則性を理解した上で、練習条件や内容、個人差に応じた指導法のポイントを学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書第13章 ワークブック12章を読んでおくこと	A、K、L				
	第12回	[テーマ] コーチングの心理③個性を考慮した指導 [計画内容] 選手の個別指導と心理的問題コミュニケーションのポイントをについて示し、心理的問題解決のための相談の基本姿勢を学びます。 [準備学習の内容] 指定したワークブック第14章を読んでおくこと	A、H、K				
	第13回	[テーマ] チームワークとチームビルディング [計画内容] チーム形成のプロセスやチームワークを高める要素について学び、役割を遂行することの大切や信頼関係を高めることの重要性について学びます。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブックの第10章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第14回	[テーマ] ストレスと心の健康 [計画内容] ストレスの概要を学び、運動を持続するためには、どのようなことが重要か行動変容理論を踏まえて理解を深める。 [準備学習の内容] 指定した教科書、ワークブック第15章を読んでおくこと。	A、K、L				
	第15回	[テーマ] メンタルトレーニングの実際とこれまでの振り返り [計画内容] これまでの学習を振り返りと考えの共有ならびにまとめを行います [準備学習の内容] 毎回配付したプリントの復習とテキストやワークブック内容の理解を深めておくこと。	A、L				
テキスト	養内豊・竹田唯史・吉田聡美、2016年、『基礎から学ぶスポーツ心理学』改訂版、中西出版、9784891153182 吉田聡美、2016年、『資格に役立つスポーツ心理学ワークブック』改訂版、中西出版 プリントを使用します						
参考書	日本スポーツ心理学会、2016年、『スポーツメンタルトレーニング教本』、大修館書店 文部科学省、『中学校学習指導要領保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領保健体育編』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		25%		25%	
補足				毎回のプリント		積極的発言	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:ssyyy@juno.ocn.ne.jp						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、 公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修、レク・コーディネーター_必修 [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他	シラバスの順番は前後することがあります。講義で説明します。休講の場合は、補講日で実施します。						

科目名	スポーツ運動学			授業形態	講義	単位数	2	
教員名	廣田 修平							
授業の目的	ねらい	競技スポーツ現場や学校体育の指導において、学習者の“動き”を把握し、改善していくことは指導者にとって重要な役目である。運動を覚える、また覚えさせるという活動は単純に知識の獲得だけで存在するものではなく、動き方の知として実際の運動を通して成立していくものである。この講義では、スポーツにおける運動学習の基礎理論としての学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を、人間学的・現象学的立場から概説し、運動方法論についても認識を深める。そしてスポーツ指導者、保健体育教員としての基本的知識を身につけることがねらいである。						
	到達目標	(1)学習位相、運動質、運動構造、運動技術、運動観察の概念を理解し、実際の運動学習の事例に結び付けて問題点を抽出できるようになる。 (2)運動学習で生じる様々な問題を解決するための視点について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】スポーツ運動学の概要とねらいについて理解する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】運動学習と学習位相① 【計画内容】運動学習の概念と学習位相の概要を理解する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。						A、G
	第3回	【テーマ】運動学習と学習位相② 【計画内容】事例に基づき、運動の習得に関する基本的理解と、運動の粗協調について理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第4回	【テーマ】運動学習と学習位相③ 【計画内容】事例に基づき、運動の精協調、運動の安定化について理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第5回	【テーマ】運動質論① 【計画内容】スポーツ運動系における動きの質について理解する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。						A、G
	第6回	【テーマ】運動質論② 【計画内容】運動の局面構造と運動リズムの概念を理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第7回	【テーマ】運動質論③ 【計画内容】マイネルによる運動質カテゴリーの概要を理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第8回	【テーマ】運動質論④ 【計画内容】運動の質的評価の視点を実際の事例に基づいて考える。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第9回	【テーマ】運動技術論① 【計画内容】スポーツ運動系における運動技術の概念を理解する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。						A、G
	第10回	【テーマ】運動技術論② 【計画内容】運動技術の特性を実際の事例に基づいて検討する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第11回	【テーマ】運動技術論③ 【計画内容】事例に基づき、運動技術の指導法とその問題点について検討する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第12回	【テーマ】運動観察論① 【計画内容】運動の他者観察の概念を理解する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。						A、G
	第13回	【テーマ】運動観察論② 【計画内容】運動共感能力の概念と、実際の運動指導におけるその必要性を理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G、J
	第14回	【テーマ】運動観察論③ 【計画内容】運動の自己観察の概念と、運動学習におけるその重要性を理解する。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。						A、G
	第15回	【テーマ】運動方法論とまとめ 【計画内容】運動学習の基礎理論を踏まえ、運動の指導方法を学習・検討する。また、今後の運動学が目指す方向性と課題を理解する。 【準備学習の内容】前回までの学習記録をまとめておく。						A、G、L
テキスト	プリントを配付します							
参考書	金子明友・朝岡正雄他、1990年、『運動学講義』、大修館書店 金子明友、2005年、『身体知の形成』、明和出版 金子明友他、1996年、『教師のための運動学』、大修館書店							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足	60%		20%		20%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修							
その他	16週目に最終評価のための試験を行います。							

科目名	生理学	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	柴田 啓介						
授業の目的	ねらい	生理学は、生体の器官や細胞などの機能を研究する学問である。1年次後学期に「運動生理学」を学ぶ足掛かりとなる知識を得ることを目指す。主に運動やトレーニングにつながる部分について学習する。					
	到達目標	(1)筋収縮の仕組みやエネルギー供給機構について説明できる。 (2)神経の種類や役割について説明できる。 (3)呼吸・循環の仕組みや働きについて説明できる。 (4)内分泌系の種類や役割について説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義の内容や進め方について説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを持参してください。			A		
	第2回	【テーマ】 栄養とエネルギー 【計画内容】 栄養素およびそれらのエネルギーとしての利用について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第3回	【テーマ】 消化吸収と代謝 【計画内容】 摂取した栄養の吸収と代謝について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第4回	【テーマ】 筋収縮のエネルギー供給機構 【計画内容】 筋収縮に関わる3つのエネルギー供給機構について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第5回	【テーマ】 筋の構造と種類 【計画内容】 人体の筋の構造や種類について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第6回	【テーマ】 筋収縮のメカニズムと筋力発揮 【計画内容】 筋が収縮する仕組みと筋力発揮様式について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第7回	【テーマ】 神経組織 【計画内容】 神経系の構造や筋との関わりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第8回	【テーマ】 感覚 【計画内容】 感覚の種類と仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第9回	【テーマ】 呼吸 【計画内容】 呼吸に関わる器官の構造と呼吸の仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第10回	【テーマ】 血液と循環 【計画内容】 血液の組成や循環の仕組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第11回	【テーマ】 内分泌系 【計画内容】 ホルモンの種類と作用について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第12回	【テーマ】 骨 【計画内容】 骨の構造や組成について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第13回	【テーマ】 体温 【計画内容】 体温の調節機構について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第14回	【テーマ】 運動による身体機能の適応 【計画内容】 運動に伴う長期的な適応について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回の講義の復習をしておく。			A		
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 講義のまとめとして内容の確認を行う。 【準備学習の内容】 前回までの講義の復習をしておく。			A		
テキスト	テキストは使用しない						
参考書	中島雅美、2013年、『運動・からだ図解 生理学の基本』、マイナビ、9784839947736 富樫健二、2013年、『スポーツ生理学』、科学同人、9784759817089						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
補足							
質問への対応	講義前後に口頭で対応します。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他							

科目名	運動生理学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	井出 幸二郎						
授業の目的	ねらい	酸素運搬系(呼吸・循環系を含む)、エネルギー代謝系、健康運動と血液生化学、加齢、生活習慣病と運動、メタボリックシンドロームと運動、などの諸項目を現代社会で進む運動不足の問題に対比させつつ運動の効用の観点から知識化できるように講ずる。					
	到達目標	(1)神経中枢(脳)で運動・スポーツがどのように計画され司令されるかを説明できる。 (2)骨格筋の収縮メカニズムを説明できる。 (3)骨格筋の収縮のためにエネルギーがどのように賄われるかを説明できる。 (4)骨格筋の収縮に必要な酸素を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。 (5)骨格筋に代謝基質を呼吸・循環・内分泌系がどのように連携し、供給するかを説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 脳・神経系と運動 【計画内容】 脳・神経系による運動の調節について学びます。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおいて下さい。講義に集中できる準備が望まれます。	A				
	第2回	【テーマ】 骨格筋収縮 【計画内容】 格筋収縮様式(短縮性収縮、等張性収縮、伸張性収縮)、骨格筋の種類(遅筋、速筋)、骨格筋の収縮メカニズムについて、学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第3回	【テーマ】 運動とエネルギー 【計画内容】 骨格筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第4回	【テーマ】 運動と呼吸1 【計画内容】 骨格筋の収縮に必要な酸素をどのように取り込み、代謝産物である二酸化炭素をどのように排出するかについて学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第5回	【テーマ】 運動と呼吸2 【計画内容】 骨格筋の収縮に必要な酸素をどのように取り込み、代謝産物である二酸化炭素をどのように排出するかについてや、肺疾患や心疾患の影響について、学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第6回	【テーマ】 運動と循環1 【計画内容】 体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するかを学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第7回	【テーマ】 運動と循環2 【計画内容】 体内に取り込んだ酸素をどのように骨格筋へ供給するか、身体的トレーニングや心疾患の影響についてを学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第8回	【テーマ】 運動と内分泌1 【計画内容】 骨格筋の収縮に必要なエネルギー基質をどのように供給するか、内分泌系の役割についてを学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第9回	【テーマ】 運動と内分泌2 【計画内容】 運動に伴う体液量の変化に対する内分泌系の役割についてを学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第10回	【テーマ】 運動と疲労 【計画内容】 運動に伴う骨格筋及び中枢の疲労について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第11回	【テーマ】 運動と環境 【計画内容】 身体的パフォーマンスに対する高所環境、暑熱環境、寒冷環境の影響について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第12回	【テーマ】 運動と生活習慣病 【計画内容】 生活習慣病に対して身体運動がどのように有効にはたらくかを学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第13回	【テーマ】 加齢による身体機能の低下と健康 【計画内容】 加齢による身体的な変化とそれに対する身体運動の可能性について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第14回	【テーマ】 運動と免疫能 【計画内容】 運動が免疫能に与える影響について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
	第15回	【テーマ】 トレーニングと適応 【計画内容】 ストレングストレーニングと骨格筋のトレーニング効果、有酸素トレーニングと心臓循環器系のトレーニング効果について学びます。 【準備学習の内容】 配付資料を読んで考えを持っておきます。	A、L				
テキスト	上杉尹宏ほか、2016年、『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版						
参考書	山地啓司、2012年、『スポーツ・運動生理学概説』、9784901933247						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
補足							
質問への対応	学内メール、講義にて口頭・文書などにて、または講義でアポイントを取ってください。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修、レク・コーディネーター_必修						
その他							

スポーツ教育学科
学 科 専 門 科 目

科目名	スポーツ教育学概論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷 稔、阿部 達彦、上田 知行、菊地 はるひ、小坂井 留美、竹田 唯史、吉田 真							
授業の目的	ねらい	生涯スポーツ社会における、スポーツ教育の意義・役割・対象・目的・内容などの理解を深め、それらに携わる人材となるべく、関係資格取得について理解する。						
	到達目標	(1)スポーツ教育について理解する。 (2)特別支援教育、障がい者スポーツについて理解する。 (3)健康運動指導およびアスレティックトレーナーについて理解する。 (4)競技スポーツについて理解する。 (5)各種資格取得について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義の概要について説明を行う。(永谷稔) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を精読すること。						A、K
	第2回	【テーマ】 生涯スポーツとは 【計画内容】 生涯スポーツの意義・役割・内容について理解する。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 生涯スポーツについて調べてくること。						A、K
	第3回	【テーマ】 生涯スポーツ振興について 【計画内容】 スポーツ立国戦略、スポーツ基本法、スポーツ基本計画、総合型地域スポーツクラブについて理解する。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 スポーツ立国戦略、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について調べてくること。						A、K
	第4回	【テーマ】 スポーツ教育について 【計画内容】 スポーツ教育の内容・概要について理解する。(竹田唯史) 【準備学習の内容】 スポーツ教育の意義・役割・対象・目的について調べてくること。						A、K
	第5回	【テーマ】 障がい者スポーツについて 【計画内容】 障がい者スポーツの内容・概要について理解する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 障がい者スポーツについて調べてくること。						A、K
	第6回	【テーマ】 健康運動指導について 【計画内容】 健康運動指導の内容・概要について理解する。(上田知行) 【準備学習の内容】 健康運動指導の内容について調べてくること。						A、K
	第7回	【テーマ】 アスレティックトレーナーについて 【計画内容】 アスレティックトレーナーの内容・概要について理解する。(吉田真) 【準備学習の内容】 アスレティックトレーナーの仕事内容について調べてくること。						A、K
	第8回	【テーマ】 競技スポーツについて① 【計画内容】 競技スポーツにおける「選手」に求められる資質について理解する。(菊地はるひ) 【準備学習の内容】 選手に求められる資質について考えてくること。						A、K
	第9回	【テーマ】 競技スポーツについて② 【計画内容】 競技スポーツにおける「指導者」に求められる資質について理解する。(永谷稔) 【準備学習の内容】 指導者に求められる資質について考えてくること。						A、K
	第10回	【テーマ】 保健体育教諭免許について 【計画内容】 保健体育教諭の役割および免許取得について理解する。(竹田唯史) 【準備学習の内容】 保健体育教諭免許取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
	第11回	【テーマ】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格について 【計画内容】 特別支援学校教諭の免許取得および障害者スポーツ指導員資格取得について理解する。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 特別支援学校教諭免許および障害者スポーツ指導員資格取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
	第12回	【テーマ】 健康運動指導士資格について 【計画内容】 健康運動指導士の資格取得について理解する。(上田知行) 【準備学習の内容】 健康運動指導士の資格取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
	第13回	【テーマ】 日本体育協会公認スポーツ指導者について 【計画内容】 日本体育協会公認スポーツ指導者の役割および資格取得について理解する。(永谷稔) 【準備学習の内容】 日本体育協会公認スポーツ指導者資格取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
	第14回	【テーマ】 アスレティックトレーナー資格について 【計画内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について理解する。(吉田真) 【準備学習の内容】 アスレティックトレーナーの資格取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
	第15回	【テーマ】 そのほかスポーツ指導資格について 【計画内容】 エアロビク指導員・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネージャー・JATIほか資格取得について理解する。(菊地はるひ) 【準備学習の内容】 エアロビク指導員・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネージャー・JATIの資格取得について学生便覧等で確認してくること。						A、K
テキスト	適宜プリントを用意します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補足								
質問への対応	各担当教員のオフィスアワー							
資格	[ス] JPSU スポーツトレーナー資格_必修、レク・コーディネーター_必修							
その他	適宜、課題(ミニレポート)を課します。 スポーツ教育を学ぶ学生として、また今後指導する立場になる学生として、積極的な受講姿勢であることを期待しています。							

科目名	食生活と健康		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	黒田 裕太						
授業の目的	ねらい	受講者自身の食行動や食習慣に興味・関心を持ち、日常の食生活を営む上で必要な基礎知識を学ぶ。日本の食文化や日本人が培ってきた食文化は世界一の長寿国をもたらした。そこからさまざまな知見を学び、現在の食生活の現状を直視し、健康的な食生活・食事のための実践力を養う。					
	到達目標	(1)日常の基本的な食生活(朝・昼・夕食)の必要性を理解する。 (2)大学生活において健康な食生活を実践できる知識を習得する。 (3)食行動および食習慣、食材に興味関心を持つ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義ガイダンス 【計画内容】 本講義の内容を紹介し、15回の授業展開や参考資料等の説明をする。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと(シラバス持参)。				A	
	第2回	【テーマ】 食行動の意味 【計画内容】 食行動を改めて考え、その意味と新しい知見に触れる。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A、H	
	第3回	【テーマ】 食生活の基本 -1日3食の理由- 【計画内容】 朝食欠食における弊害や、理想的な食事内容に関して学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第4回	【テーマ】 現代の食生活の現状 【計画内容】 最新の国民健康・栄養調査の結果から、食生活の現状と課題点を探り、自らの食生活を顧みる機会とする。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第5回	【テーマ】 食生活と水分 【計画内容】 水分の役割について学ぶ。また、ペットボトルを始め身近にある飲み物の食品表示(カロリーゼロ、カロリーオフ)の正しい理解について学ぶ。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第6回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -食事バランスガイド- 【計画内容】 偏りのない食生活のために、食事バランスガイドができた背景と、主食・主菜・副菜・乳製品・果物・嗜好品の概要を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第7回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -日本人の食事摂取基準- 【計画内容】 偏りのない食生活のために、日本人の食事摂取基準ができた背景と基準値の把握および活用方法を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第8回	【テーマ】 食生活の基準と評価 -食品成分表- 【計画内容】 偏りのない食生活のために食品成分表に触れ、食品に興味を持ってもらう。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第9回	【テーマ】 身体のリズムと栄養 【計画内容】 食事から得られた栄養素を効率よく摂取するには、身体のリズムを考慮する必要がある。体内時計と食事の関係を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第10回	【テーマ】 栄養素摂取の評価方法① 【計画内容】 食事調査方法や特性を把握し、受講者自身の食事摂取を評価する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A、B	
	第11回	【テーマ】 栄養素摂取の評価方法② 【計画内容】 食事調査方法や特性を把握し、調査実施者と調査対象者に別れ、食事調査を実施する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A、B、N	
	第12回	【テーマ】 日本食の特徴と機能性 【計画内容】 世界無形文化遺産になった「日本食」の特徴と、機能性を学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業で使用するプリントを予習課題として取り組む。				A	
	第13回	【テーマ】 日本の食文化の発展と現在① 【計画内容】 日本各地には様々な食文化が根付いている。全国レベルでの食文化事情を調査し、グループに別れ共同学習を実施する。発表方法や、作業の進め方を指導する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。				A、B、H	
	第14回	【テーマ】 日本の食文化の発展と現在② 【計画内容】 日本各地には様々な食文化が根付いている。全国レベルでの食文化事情を調査し、グループに別れ共同学習を実施する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。				A、B、H	
	第15回	【テーマ】 食生活と健康のまとめ 【計画内容】 本講義のまとめを実施し、13、14回目の授業の成果を発表する。 【準備学習の内容】 グループで力を合わせ、しっかりと課題を作成し発表準備をすること。				A、B、H	
テキスト	講義時に説明する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%	10%	10%	
補足							
質問への対応	オフィスアワー(4月中に発表)または講義後を活用してください。						
資格	[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事_選必						
その他	「栄養と健康」および「スポーツ栄養学」を受講希望している学生は本講義を受講することが望ましい。						

科目名	基礎解剖学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	高田 真吾							
授業の目的	ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。						
	到達目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第9回	【テーマ】神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸・ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【準備学習の内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。						A
テキスト	竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	60%		30%		10%		
質問への対応	講義終了時に具体的な説明をします。							
資格	[ス] [健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修							
その他	健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていって欲しい。							

科目名	機能解剖学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	吉田 真						
授業の目的	ねらい	本講義は解剖学における人体の基本的構造の知識を基盤に、人体の運動発現がどのような仕組みで行われるのかについて筋骨格系を中心に理解を深めることを目的とする。筋骨格を構成する骨の名称、筋の名称と付着、支配神経、関節および靭帯の基本構造と機能について解説し、各種関節の基本的な関節運動について学ぶ。最後に、人体の基本的な動作である歩行動作および走動作の基本について運動学的側面から解説する。					
	到達目標	(1)各部位の基礎解剖と運動について理解できる。 (2)各部位の運動時に関与する骨、筋、関節、靭帯、神経支配を同定できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・機能解剖学概論 【計画内容】 講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、機能解剖学の概論について解説します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。また、テキスト全体を通読すること。	A				
	第2回	【テーマ】 機能解剖学概論 【計画内容】 体表の区分と運動の表し方について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「体表の区分」「運動の表し方」を読んでおくこと。	A、K				
	第3回	【テーマ】 運動器の構造と機能 【計画内容】 運動器の構造と機能について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「運動機能構造と機能」を読んでおくこと。	A、K				
	第4回	【テーマ】 体幹の基礎解剖と運動 【計画内容】 脊柱の運動、頸椎の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「脊柱の運動」「頸椎の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第5回	【テーマ】 体幹の基礎解剖と運動 【計画内容】 胸椎と胸郭の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「胸椎と胸郭の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第6回	【テーマ】 体幹の基礎解剖と運動 【計画内容】 腰椎・仙椎・骨盤の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「腰椎・仙椎・骨盤の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第7回	【テーマ】 テキスト「上肢帯の運動」を読んでおくこと。 【計画内容】 上肢の基礎解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】 上肢帯の運動について学びます。	A、K				
	第8回	【テーマ】 上肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 肩関節の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「肩関節の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第9回	【テーマ】 上肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 肘関節の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「肘関節の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第10回	【テーマ】 上肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 手関節・手の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「手関節・手の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第11回	【テーマ】 下肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 股関節の機能解剖と運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「股関節の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第12回	【テーマ】 下肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 膝関節の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「膝関節の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第13回	【テーマ】 下肢の基礎解剖と運動 【計画内容】 足関節・足部の運動について学びます。 【準備学習の内容】 テキスト「足関節・足部の運動」を読んでおくこと。	A、K				
	第14回	【テーマ】 歩行動作・走動作 【計画内容】 歩行動作、走動作について学びます。 【準備学習の内容】 参考図書を利用して歩行動作、走動作に関して読んでおくこと。	A、K				
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 これまでの講義内容を振り返り、本講義の到達度を確認します。 【準備学習の内容】 第1回～第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。	L				
テキスト	日本体育協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2010年、公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 運動器の解剖と機能、文光堂						
参考書	ドナルド・A. ニューマン (著) 嶋田智明 (監訳)、2012年、『筋骨格系のキネシオロジー』、医歯薬出版株式会社、9784263213957 日本体育協会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会、2011年、『運動器の解剖とスポーツ外傷・障害の基礎知識』(公認アスレティックトレーナー専門科目テキストワークブック)、文光堂、9784830651700 坂井建雄・松村譲児監訳、2016年、『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版』、医学書院、9784260025348						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%				40%	
補足	足						
質問への対応	オフィスアワーの時間帯に953研究室にて対応します。						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修						
その他	「基礎解剖学」を履修済みであることが望ましい。						

科目名	トレーニング論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤 一騎							
授業の目的	ねらい	体力の概念を理解し、そのトレーニング理論と方法を学ぶ。各種目の競技特性や、そのパフォーマンス向上に関連する体力項目を知り、トレーニングを構築ができることをめざす。また、高齢者やジュニアの体力特性に留意してトレーニングの作成ができるような知識を得る。						
	到達目標	(1)体力の構成要素を列挙できる。 (2)スポーツごとの必要な体力要素を挙げることができる。 (3)体力要素のトレーニング方法について説明できる。 (4)目的別のトレーニング計画を立てることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の内容と進め方を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 体力の概念 【計画内容】 猪飼らによる体力の分類について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第3回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法① 【計画内容】 筋力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第4回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法② 【計画内容】 パワー関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第5回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法③ 【計画内容】 全身持久力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第6回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法④ 【計画内容】 局所における持久力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第7回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法⑤ 【計画内容】 敏捷性関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第8回	【テーマ】 競技に向けたトレーニング方法① 【計画内容】 種々のトレーニング方法を組み合わせて、競技スポーツ向けのトレーニングの立て方を紹介する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第9回	【テーマ】 競技に向けたトレーニング方法② 【計画内容】 競技スポーツ向けのトレーニング計画の立て方を、ピリオダイゼーション理論を基に説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A
	第10回	【テーマ】 トレーニング計画の作成① 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A、G
	第11回	【テーマ】 トレーニング計画の作成② 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A、G
	第12回	【テーマ】 トレーニング計画の作成③ 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A、G
	第13回	【テーマ】 トレーニング計画の作成④ 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。						A、G
	第14回	【テーマ】 トレーニング計画の評価 【計画内容】 作製したトレーニング計画について、理論的に説明されているか評価を行う。 【準備学習の内容】 発表資料の作成。						A、G、I
	第15回	【テーマ】 発表での質疑を含めた確認 【計画内容】 授業全体の振り返りを行う。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておく。						A、L
テキスト	講義時に説明する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	70%		20%		10%		
補足								
質問への対応	個別に回答する							
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修							
その他	運動生理学、機能解剖学の知識が必要となるため、これらの授業もしっかり学習しておくこと。							

科目名	トレーニング演習	授業形態	演習	単位数	2		
教員名	井出 幸二郎、上田 知行、近藤 雄一郎、重成 敏史、高田 真吾、山本 敏美						
授業の目的	ねらい	<p>「トレーニング論」で身につけた基礎知識を活用して、安全で効果的なトレーニングを実践する。さまざまなトレーニング方法を学習し、指導技術の向上をはかるため、5種類のトレーニング方法をグループごとに展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マシントレーニング: 機能解剖に沿った機器の使用方法を習得し正しいフォームを身につける。 2. フリーウェイトトレーニング: 重力にそったウェイトの拳上方法を習得し、安全な補助の方法を身につける。 3. 自重負荷トレーニング: 自体重を利用した基本トレーニングを習得し、指導の方法を身につける。 4. 器具を利用したトレーニング: 器具を利用したトレーニングを習得し、有酸素性・無酸素性能力やスピード・パワートレーニングの方法を身につける。 5. 介護予防のためのトレーニング: 介護予防に有効なトレーニングの方法と指導方法を身につける。 					
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)筋力トレーニングの動作技術を身につけること。 (2)トレーニング機器を安全に使用できるようになること。 (3)トレーニングプログラムを作成できるようになること。 (4)トレーニングを他人に指導できるようになること。 					
授業の計画	第1回	<p>【テーマ】 授業のオリエンテーション、体力・形態測定、グループ分け(以下グループにより順番は異なります)</p> <p>【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明するとともに、筋力、体脂肪の測定、グループ分けを行います。(全教員)</p> <p>【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。</p>			A		
	第2回	<p>【テーマ】 マシントレーニング(1)</p> <p>【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美)</p> <p>【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第3回	<p>【テーマ】 マシントレーニング(2)</p> <p>【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美)</p> <p>【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第4回	<p>【テーマ】 マシントレーニング(3)</p> <p>【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美)</p> <p>【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第5回	<p>【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(1)</p> <p>【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾)</p> <p>【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第6回	<p>【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(2)</p> <p>【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾)</p> <p>【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第7回	<p>【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(3)</p> <p>【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾)</p> <p>【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第8回	<p>【テーマ】 静的レジスタンストレーニング</p> <p>【計画内容】 自分の体重を利用した静的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史)</p> <p>【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第9回	<p>【テーマ】 動的レジスタンストレーニング</p> <p>【計画内容】 自分の体重を利用した動的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史)</p> <p>【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第10回	<p>【テーマ】 自重負荷トレーニング</p> <p>【計画内容】 自分の体重を利用した静的および動的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史)</p> <p>【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第11回	<p>【テーマ】 器具を用いたトレーニング(1)</p> <p>【計画内容】 スピード及びパワートレーニング、ウォームアップ、クールダウンの方法について学びます。(井出幸二郎)</p> <p>【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第12回	<p>【テーマ】 器具を用いたトレーニング(2)</p> <p>【計画内容】 アジリティ及びクイックネストレーニングの方法について学びます。(井出幸二郎)</p> <p>【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第13回	<p>【テーマ】 介護予防と運動(1)</p> <p>【計画内容】 介護予防に有効なトレーニングの方法について学びます。(上田知行)</p> <p>【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。</p>			A、B、L		
	第14回	<p>【テーマ】 介護予防と運動(2)</p> <p>【計画内容】 介護予防に有効なトレーニングの方法について学びます。(上田知行)</p> <p>【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。</p>			A、B、L		
	第15回	<p>【テーマ】 体力・形態測定、授業の振り返り</p> <p>【計画内容】 筋力測定、体脂肪の測定と振り返りを行います。(全教員)</p> <p>【準備学習の内容】 これまでの授業の内容を整理しておくこと。</p>			A、B、L		
テキスト	プリントを使用します						
参考書	健康運動指導士テキスト 健康運動実践指導者テキスト						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		20%	30%		
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修 [健]健康運動実践指導者_必修						
その他	本講義を履修する学生は、「トレーニング論」も履修すること。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	コーチ学	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	大西 昌美						
授業の目的	ねらい	スポーツ実施者の目的と個人的諸条件を考慮し、技術学だけでなく人間学的な側面をしっかりと理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法を理解する。また、競技に応じた指導計画の方法とIT機器の活用について学ぶ。					
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 職業の性質 【計画内容】 体育教師・コーチという仕事の性質について考える。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第3回	【テーマ】 優れたコーチの資質 【計画内容】 コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第4回	【テーマ】 コーチの役割について 【計画内容】 コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方、安全管理など)を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F				
	第5回	【テーマ】 指導上の倫理 【計画内容】 体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、H、K				
	第6回	【テーマ】 スキル指導の準備 【計画内容】 スキル習得のための事前準備について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第7回	【テーマ】 スキルの学習過程 【計画内容】 スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第8回	【テーマ】 競技スポーツとIT・スキルの示範テクニック 【計画内容】 簡潔、明瞭な説明の方法について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第9回	【テーマ】 トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】 指導者として成功するための着眼点について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第10回	【テーマ】 元 UCLA バスケットボールコーチの指導方法を学ぶ 【計画内容】 元 UCLA バスケットボールコーチ、Jhon Wooden 氏の指導理念・指導方法を理解する。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第11回	【テーマ】 競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】 元 NBA プレーヤー、Muggsy Bogues の DVD を観ながら、効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第12回	【テーマ】 競技力向上のための情報とその活用 【計画内容】 個人の情報分析及びチームの分析方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第13回	【テーマ】 競技スポーツとIT・スキルの分析及び欠点の矯正 【計画内容】 効果的なスキル分析の方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第14回	【テーマ】 イメージの利用 【計画内容】 パフォーマンス向上のためにイメージ(ビデオ・DVD)を利用する方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第15回	【テーマ】 コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】 前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。 【準備学習の内容】 前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。	A、H、K				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	Ralph J Sabock, 1988年、『THE COACH』、日本文化出版、4931033814 R.W. クリスチナ・D.M. コーコス、1991年、『スポーツ技術の指導』、大修館書店、4469161675 Jhon Wooden, 2004年、『育てる技術』、ディスカバー・トゥエンティワン						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		20%		10%	
	補足			レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[ス] JATI 認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [健] 公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他							

科目名	生涯スポーツ(水泳・水中運動)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	花井 篤子、高屋敷 亨子、中村 恵、畠山 綾子						
授業の目的	ねらい	水中運動は、水の特性である水温・浮力・水圧・抵抗など陸上環境と違う環境の中で運動を行うため、年齢を問わず健康づくりに有益な効果をもたらす運動として多くの人に親しまれている。特に水泳においては技能の獲得が必要なことから、基本泳法のスキルを身につけることを第1の目的とする。また教育者・指導者育成という観点から、水泳及び水中運動の指導力を身につけることを第2の目的とする。スキルを高めるための指導プログラムはもちろんのこと、水泳及び水中運動を安全かつ効果的に行うための水の特性や運動時の体の変化等についても学ぶ。					
	到達目標	(1)水の特性と水泳・水中運動がもたらす生理的特性を理解できる。 (2)水泳の基本的スキルを身につける。 (3)水泳・水中運動の指導方法について学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。			A		
	第2回	【テーマ】 講義：水の特性と効果、水中安全管理 【計画内容】 水の特性と水泳・水中運動が身体にもたらす影響や水中安全管理について学び、テーマについてふり返り小レポートを作成する。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。			A、G、L		
	第3回	【テーマ】 水中運動①泳力ごとに3グループ分け 【計画内容】 健康づくりのための水中運動と、水泳の技術度に応じて「初級」(小林猛夫)、「中級」(中村恵)、「上級」(高屋敷亨子)の3グループにわかれ、各クラス別に目標を設定します。初級は50m クロール、中級は50m クロール・25m 背泳・25m 平泳ぎ、上級は100m 個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 実技に臨む準備を行うこと。			E、G、L		
	第4回	【テーマ】 水中運動②基礎練習(1) 【計画内容】 健康づくりのための水中運動と、初級は水慣れ、中級は基本姿勢、上級はバタフライドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 初級・中級・上級のクラス到達目標を確認しておくこと。			E、G、L		
	第5回	【テーマ】 水中運動③基礎練習(2) 【計画内容】 健康づくりのための水中運動と、初級は呼吸練習、中級は基本動作、上級は背泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第6回	【テーマ】 泳法と技術① 【計画内容】 初級はクロール(キック動作)、中級は平泳ぎ(キック)ドリル、上級は平泳ぎドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第7回	【テーマ】 泳法と技術② 【計画内容】 初級はクロール(プル動作)、中級は平泳ぎ(プル)ドリル、上級はクロールドリルを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第8回	【テーマ】 泳法と技術③ 【計画内容】 初級はクロール(呼吸動作)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第9回	【テーマ】 泳力と指導方法① 【計画内容】 初級はクロール(キックとプルのコンビネーション)、中級は背泳ぎドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第10回	【テーマ】 泳力と指導方法② 【計画内容】 初級はクロール(プルと呼吸のコンビネーション)、中級はクロールドリル、上級は50m 泳力練習を学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第11回	【テーマ】 泳力と指導方法③ 【計画内容】 初級はクロール(トータルコンビネーション)、中級はクロールドリル・ターン、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第12回	【テーマ】 総合練習① 【計画内容】 初級は背泳ぎドリル、中級は背泳ぎ・クロール・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第13回	【テーマ】 総合練習② 【計画内容】 初級はターン・総合練習、中級は背泳ぎ・平泳ぎ・総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第14回	【テーマ】 総合練習③ 【計画内容】 初級は背泳ぎドリル・ターン・総合練習、中級は総合練習、上級は個人メドレーを学び、授業のふり返りとレポートを作成する。 【準備学習の内容】 前回までに行った技法について理解を深め確実に習得しておくこと。			E、G、L		
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの技術の総まとめを行い、各自の泳力を確認する。 【準備学習の内容】 総まとめに臨む準備を行っておくこと。			E、G、L		
テキスト	文部科学省、『中学校学習指導要領解説保健体育編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説保健体育編』						
参考書	2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版、9784902109405C1037						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%	30%		20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_選必						
その他	生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)を履修する者は必ず履修して下さい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。 各授業後に作成した授業のふり返りのレポートはまとめて第14回授業後に提出して下さい。						

科目名	生涯スポーツ(陸上競技)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	大宮 真一、品田 吉博、松橋 昌巳						
授業の目的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走り幅跳び・走り高跳び・三段跳びなど)、投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げなど)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。また走競技種目では、健康づくりのためのジョギングを指導するために必要な項目についても学ぶ。					
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 ウォーキングとジョギングにおける概要と基本的技術 【計画内容】 歩行、走行の基本的技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第3回	【テーマ】 短距離走における技術向上の指導方法 【計画内容】 短距離走におけるスタートダッシュの技術、ピッチ・ストライドを向上させるトレーニング法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第4回	【テーマ】 短距離走におけるまとめと技能評価 【計画内容】 50m走タイムを測定し、全力疾走能力を評価します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第5回	【テーマ】 ハードル競争における概要と基本的技術 【計画内容】 ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第6回	【テーマ】 ハードル競争における技術向上の指導方法 【計画内容】 ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第7回	【テーマ】 ハードル競争におけるまとめと技能評価 【計画内容】 50mハードル走のタイムを測定し、技能を評価します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第8回	【テーマ】 走り幅跳びにおける概要と基本的技術 【計画内容】 走り幅跳びで遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第9回	【テーマ】 走り幅跳びの技術向上の指導方法 【計画内容】 走り幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第10回	【テーマ】 走り幅跳びにおけるまとめと技能評価 【計画内容】 走り幅跳びの跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第11回	【テーマ】 砲丸投げにおける概要と基本的技術 【計画内容】 投擲種目を行い際の安全に実施するための留意点について学び、砲丸投げの投法および遠くに跳ぶことの原理について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第12回	【テーマ】 砲丸投げにおける技術向上の指導方法 【計画内容】 砲丸投げにおける遠くへ飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第13回	【テーマ】 砲丸投げにおけるまとめと技能評価 【計画内容】 砲丸投げの投擲距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第14回	【テーマ】 リレー競争における概要と基本的技術 【計画内容】 リレー競走のルールおよびバトンパスの方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第15回	【テーマ】 リレー競争における技術向上の方法と技能評価 【計画内容】 リレー競走でタイムが短縮する技術およびトレーニング方法について学び、最後にチーム対抗のリレー競争を実施します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
テキスト	必要に応じてプリントを配付します						
参考書	日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 『健康運動実践指導者テキスト』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		20%	40%
	補足			各單元ごとのレポート		平時	技能到達度
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	競技種目の順序・内容は変更することもあります。 「生涯スポーツ指導演習(陸上競技)」を履修する者は必ず履修してください。						

科目名	生涯スポーツ(器械運動)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	廣田 修平、川端 茂夫						
授業の目的	ねらい	器械運動の基礎技能の習得をねらいとして、「マット運動」と「鉄棒運動」「とび箱運動」を中心に基本的な技術の獲得と技能の向上を目指している。また、器械運動の技の指導法や補助法について学習することも本授業のねらいである。					
	到達目標	(1)マット運動・鉄棒運動・とび箱運動の基本技を習得する。 (2)基本技の学習方法を理解する。 (3)技の評価の視点を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業全体の説明と授業のねらいを理解する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。				A、E	
	第2回	【テーマ】マット運動 接転技群「前転」の学習 【計画内容】マット運動の前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第3回	【テーマ】マット運動 接転技群「伸膝前転」の学習 【計画内容】マット運動の伸膝前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第4回	【テーマ】マット運動 接転技群「後転」の学習 【計画内容】マット運動の後転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第5回	【テーマ】マット運動 接転技群「後転倒立」の学習 【計画内容】マット運動の後転倒立に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第6回	【テーマ】マット運動 翻転技群「首はねおき」の学習 【計画内容】マット運動の首はねおきに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第7回	【テーマ】マット運動 翻転技群「前方倒立回転とび」の学習 【計画内容】マット運動の前方倒立回転とびに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。また、マット運動の基本技術をとび箱運動に応用する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第8回	【テーマ】マット運動 マット運動の技術確認 【計画内容】これまでに行ったマット運動の技術確認を実施し、その反省を行う。 【準備学習の内容】前回までの学習記録をまとめておく。				E、K、L	
	第9回	【テーマ】鉄棒運動 後方支持回転技群「後方支持回転」の学習 【計画内容】鉄棒運動の後方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第10回	【テーマ】鉄棒運動 前方支持回転技群「前方支持回転」の学習 【計画内容】鉄棒運動の前方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第11回	【テーマ】鉄棒運動 懸垂振動技の学習① 【計画内容】鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第12回	【テーマ】鉄棒運動 懸垂振動技の学習② 【計画内容】鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第13回	【テーマ】鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習① 【計画内容】鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第14回	【テーマ】鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習② 【計画内容】鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第15回	【テーマ】鉄棒運動 鉄棒運動の技術確認 【計画内容】これまでに行った鉄棒運動の技術確認の実施と全体の学習内容の復習を行う。 【準備学習の内容】前回までの学習記録をまとめておく。				E、K、L	
テキスト	プリントを配付します						
参考書	金子明友、1982年、『マット運動』、大修館書店 金子明友、1984年、『鉄棒運動』、大修館書店						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		70%			30%	
質問への対応	初回授業時に説明します。						
資格	[ス] JPSU スポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。教職必修である2年次開講の「生涯スポーツ指導演習(器械運動)」を履修する者は、必ず履修してください。受講者が40名を超える場合は履修者を制限します。						

科目名	生涯スポーツ(エアロビック)			授業形態	実技	単位数	1
教員名	菊地 はるひ						
授業の目的	ねらい	エアロビックは、健康体づくりを目的とした有酸素運動であるだけでなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。					
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】 エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。				E、K	
	第2回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】 エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第3回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】 エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第4回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】 ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第5回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】 下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第6回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】 上肢・下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第7回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】 上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第8回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】 方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第9回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】 音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第10回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】 多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第11回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】 多様な動きで作られたルーティンを実践する技術を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、K	
	第12回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】 複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、H、K	
	第13回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを創作する。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、H、K	
	第14回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。				E、H、K	
	第15回	【テーマ】 まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】 実技課題の確認と発表を行う。 【準備学習の内容】 前回までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。				E、F、K	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	1995年、『エアロビック指導員教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		60%	20%		20%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[ス]健康運動実践指導者_必修、JPSUスポーツトレーナー資格_選必、エアロビック指導員_必修 [健]健康運動実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修						
その他	「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	生涯スポーツ(バドミントン)			授業形態	実技	単位数	1
教員名	竹内 雅明、北村 優明						
授業の目的	ねらい	軽スポーツの領域の特徴を生かした内容を盛り込み、その種目の楽しさと効用について理解ならびに初級程度の技術から中級程度の技術を体系的に習得し、その指導法に関する知識を身につける。また、基本的な審判法、競技運営規則を理解した上、大会の企画・運営方法・授業展開についても学びます。					
	到達目標	(1)基礎知識を理解し、練習により基礎技能を習得する。 (2)学習上のマナーを理解し、指導者としての安全管理を身につける。 (3)審判法、競技規則が理解できる。 (4)大会の企画・運営方法が理解できる。 (5)指導者としての視点に立ち、授業における進め方の理解と流れ等、指導法を習得する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 15回の授業内容と、ねらい、到達目標について説明し、バドミントンの特性及び指導者としての心構えについて学びます。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 競技の特性と歴史を学びます 【計画内容】 課題整理・実践ノートの作成と活用及び競技の特性と歴史を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				A	
	第3回	【テーマ】 競技場の設置方法及び初級技術の指導(1) 【計画内容】 競技場に関する規則を理解し、用具の企画、用具の準備、競技場の作り方、ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				A、E、H	
	第4回	【テーマ】 初級技術の指導(2) 【計画内容】 ラケットワーク、フットワーク、ストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E	
	第5回	【テーマ】 初級技術の指導(3) 【計画内容】 トリプルス導入による実戦に近いストロークを学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H	
	第6回	【テーマ】 中級技術の指導法(1) 【計画内容】 トリプルス導入による各種ストロークの反復練習による技術の上達過程を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H	
	第7回	【テーマ】 中級技術の指導法(2) 【計画内容】 サービス(ショート・ロング)及びネットを挟んでの前後・左右の打ち分け方を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H	
	第8回	【テーマ】 指導法(1) 【計画内容】 競技運営と規則、審判法、スコアシートの記入法等について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				A、E、H	
	第9回	【テーマ】 指導法(2) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入による活用法)を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H、N	
	第10回	【テーマ】 指導法(3) 【計画内容】 中学校における授業展開法(トリプルス導入によるタイマーの活用法)を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H、N	
	第11回	【テーマ】 指導法(4) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H、N	
	第12回	【テーマ】 指導法(5) 【計画内容】 高等学校におけるバドミントン教材のゲーム運営の工夫等、授業展開について学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H、N	
	第13回	【テーマ】 ゲーム運営法(1) 【計画内容】 国内外で開催されている大会を基準とした大会運営法を学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習・復習課題に取り組むこと。				E、H、N	
	第14回	【テーマ】 ゲーム運営法(2) 【計画内容】 ローカル大会など状況に応じた大会運営法を学びます。 【準備学習の内容】 理解・習得の進んでいない課題を整理しておくこと。				E、H、N	
	第15回	【テーマ】 技術確認とまとめ 【計画内容】 これまで学んできた技術について確認し、学習ノートを完成させ、今後の課題について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリント(特に技術・ルール等について)を熟読し理解しておくこと。				E、L	
テキスト	(財)日本バドミントン協会、2010年、『BADMINTON・競技規則(諸規定集)』、(財)日本バドミントン協会(財)日本バドミントン協会、2008年、『見てうまくなるバドミントン教本』、(財)日本バドミントン協会 その他講義時に説明する						
参考書	矢部京之助ほか、2004年、『アダプテッド・スポーツの科学』、市村出版、4902109018 小島一夫、2009年、『バドミントン世界 TOP20のワザとシカケ』、講談社、9784062950077 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説保健体育編』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%	20%		30%	
	補足		最終	平時		平時	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択、JPSU スポーツトレーナー資格_選必						
その他	北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	生涯スポーツ(バレーボール)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	永谷 稔、工藤 憲						
授業の目的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。					
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。	A、E				
	第2回	【テーマ】 ボール慣れの練習 【計画内容】 バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第3回	【テーマ】 オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】 基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第4回	【テーマ】 パスとトスの練習方法 【計画内容】 パスとトスの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第5回	【テーマ】 スパイクの種類、動き 【計画内容】 基本的なスパイクの種類およびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第6回	【テーマ】 スパイクの練習方法 【計画内容】 スパイクの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第7回	【テーマ】 レシーブの構え、動き 【計画内容】 基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第8回	【テーマ】 レシーブの練習方法 【計画内容】 レシーブの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第9回	【テーマ】 ブロックの構え、動き 【計画内容】 ブロックの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第10回	【テーマ】 ブロックの練習方法 【計画内容】 ブロックの練習方法とその実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第11回	【テーマ】 サービスの種類、練習 【計画内容】 サービスの種類およびその練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第12回	【テーマ】 守備のフォーメーション 【計画内容】 守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第13回	【テーマ】 攻撃のフォーメーション 【計画内容】 攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第14回	【テーマ】 ルールと審判法 【計画内容】 ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【準備学習の内容】 本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。	A、E				
テキスト	必要に応じて資料やプリントを配付します						
参考書	日本バレーボール協会、2018年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	25%	50%			25%	
質問への対応	初回授業時に具体的に説明する						
資格	[ス] JPSU スポーツトレーナー資格_選必						
その他	上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。						

科目名	生涯スポーツ(バスケットボール)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	畝中 智志、横山 茜理						
授業の目的	ねらい	授業の目的は、1)パス・ドリブル・シュートなどの基礎技術を習得すること、2)バスケットボールのルールや審判法について理解を深めること、3)試合を楽しみ生涯スポーツにつなげることである。					
	到達目標	(1)24秒間のゴール下のシュートで一定の基準数を越える。 (2)サークルを使ったドリブルシュートを左右連続して決める。 (3)バスケットボールのルールと審判法を理解する。 (4)チームで戦略を考え、協力して試合に臨むことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンスとボールハンドリング 【計画内容】 バスケットボールに慣れるためにボールハンドリングを行う。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。			A、E		
	第2回	【テーマ】 ドリブル技術の習得 【計画内容】 ドリブルの技術習得に関する様々な練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第3回	【テーマ】 シュート技術の習得① 【計画内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートの技術習得。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第4回	【テーマ】 シュート技術の習得② 【計画内容】 前回のシュート技術の復習とセットシュートの練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第5回	【テーマ】 動きのなかでのパス技術の習得 【計画内容】 様々なパス技術に関する練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第6回	【テーマ】 1対1の攻防とリバウンド技術の習得 【計画内容】 様々な状況における1対1の練習とリバウンド練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第7回	【テーマ】 速攻とアウトナンバー(攻撃側の数的有利な状況)の攻め方 【計画内容】 速攻と2対1や3対2の練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第8回	【テーマ】 これまでの授業内容の復習と確認 【計画内容】 ゴール下シュートとドリブルレイアップシュートの技能達成度について確認する。 【準備学習の内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートについて復習する。			A、E		
	第9回	【テーマ】 チームオフENSEの学習 【計画内容】 3on3の攻防を通して、チームオフENSEの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第10回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合① 【計画内容】 バスケットボールのルールを確認してから試合を行う。 【準備学習の内容】 バスケットボールのルールについて予習する。			A、E		
	第11回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合② 【計画内容】 マンツーマン・ディフェンスの基本を学習する。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第12回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合③ 【計画内容】 審判法の学習。 【準備学習の内容】 審判法について予習する。			A、E		
	第13回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合④ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第14回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑤ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第15回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑥ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの学習の振り返りを復習する。			A、E		
テキスト	適宜資料を配付します						
参考書	文部科学省、2015年、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房 日本バスケットボール協会、2013年、『2013年～バスケットボール競技規則』、セキ出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足		50%			50%	
質問への対応	授業時間の前後に質問に対応します						
資格	[ス] JPSU スポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	初回から実技を行う予定であり、指定ジャージと室内シューズを準備してください。北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	冬季スポーツボランティア実習				授業形態	実習	単位数	2
教員名	渡部 峻、竹田 唯史							
授業の目的	ねらい	本講義では、冬季スポーツイベントのボランティアを実施することにより、事業の企画運営について学ぶとともに、参加者への対応などを身に付け、実践力の育成を図る。						
	到達目標	(1)冬季スポーツイベントの運営能力を身に付ける。 (2)参加者への対応方法について学ぶ。 (3)地域貢献、ボランティアの概念を理解する。						
授業の計画	【計画内容】							
		<p>第1回:ガイダンス1 授業概要の説明</p> <p>第2回:ガイダンス2 冬季スポーツイベントの理解</p> <p>第3回:ガイダンス3 冬季スポーツイベントにおけるボランティア方法の理解</p> <p>第4回～第8回:事前ボランティア 冬季スポーツイベントに参加し冬季スポーツイベントのボランティア方法を学ぶ(5時間×2回)。</p> <p>第9回～第28回:冬季スポーツ競技会におけるボランティア 冬季スポーツイベントにおいてボランティアを実施する。(40時間)</p> <p>第29回第30回:報告会 実施したボランティア活動について報告し、学習者で共有する。</p> <p>【レポート課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 履修者全員の必修とする。 レポートは報告書として編集作成し、関係者に配付する。 <p>【準備学習の内容】</p> <p>ボランティアの必要性、心構えなどについて考えてくる。</p>						A A A、H D D F、H、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	随時各教員から指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	50%					50% レポート	
質問への対応	メール:竹田 E-Mail:take@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	小学校でのスキー指導ボランティアや、冬季スポーツ競技の運営ボランティアなどを実施します。前期にオリエンテーションを実施するので、掲示に注意して参加すること							

科目名	特別支援教育総論				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	瀧澤 聡、阿部 達彦、佐藤 至英、石塚 誠之、伊藤 政勝、細谷 一博								
授業の目的	ねらい	はじめに、特殊教育から特別支援教育へ大きく変化した教育の流れについて学ぶ。特別支援教育はこれまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的に遅れない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。本講義では、「障害」のとらえ方や様々な障害種に対応した特別支援教育の在り方と諸課題について学ぶ。							
	到達目標	(1)「障害」、「差別」について理解する。 (2)各障害における特別支援教育の内容と諸課題について理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 特別支援教育の諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明する。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A		
	第2回	【テーマ】 障害者差別と特別支援教育の歴史 【計画内容】 「障害」者差別を克服するための一翼を担う特別支援教育の歴史について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第3回	【テーマ】 特別支援教育の場 【計画内容】 特別支援学校や特別支援学級、通級指導における指導・支援の在り方や、通常の学級における発達障害のある児童生徒の指導、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方について学ぶ。(細谷一博) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第4回	【テーマ】 特別支援学級の教育 【計画内容】 小中学校に併設される特別支援学級の種類や機能、教育の在り方について学校現場における実際の取り組みから学ぶ。(細谷一博) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第5回	【テーマ】 知的障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 重度・重複化・多様化している知的障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(細谷一博) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第6回	【テーマ】 肢体不自由の特別支援学校の教育 【計画内容】 重度・重複化・複雑化している肢体不自由の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第7回	【テーマ】 病弱の特別支援学校の教育 【計画内容】 入院期間の短期化、入退院の繰り返しなど、学習の空白に対応する病弱の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第8回	【テーマ】 視覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 全盲、弱視に対する点字や白杖の指導の在り方など視覚障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(伊藤政勝) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第9回	【テーマ】 聴覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】 口話法、手話法(日本語対応手話、日本手話)など多様なコミュニケーションの指導の在り方について学ぶ。(佐藤至英) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第10回	【テーマ】 重度・重複障害児の教育 【計画内容】 特別支援学校に在籍している児童生徒の障害の重度・重複化・多様化の現状と指導上の諸課題について学ぶ。(阿部達彦) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第11回	【テーマ】 発達障害の理解と通常の学級における特別支援教育の在り方 【計画内容】 通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の支援の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第12回	【テーマ】 学習障害児への指導・支援 【計画内容】 学習障害児の認知特性に応じた指導法・支援の在り方について事例をもとに学ぶ。(石塚誠之) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第13回	【テーマ】 親の支援の在り方と寄宿舎教育 【計画内容】 親の不安、疑問、ストレス、育児不安など様々な諸課題をかかえた親の支援の在り方について学ぶ。あわせて寄宿舎教育の役割について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第14回	【テーマ】 共生社会、ボランティア活動の在り方 【計画内容】 障害の有無やその他の個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成、ボランティア活動の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。					A、L		
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 様々な期待と課題のある特別支援教育の在り方について振り返りをし、再確認する。(瀧澤聡) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。					A、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	文部科学省、2009年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版株式会社								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分補足	80%		10%		10%			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します								
資格	[ス] [教]特支1種_必修								
その他									

科目名	アスレティックトレーナー概論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	吉田 真							
授業の目的	ねらい	本科目では、日本におけるアスレティックトレーナーの歴史について諸外国におけるアスレティックトレーナーに相当する制度と比較しながら、本邦におけるアスレティックトレーナーの社会的位置づけやスポーツ現場におけるチームスタッフ内での位置づけを解説する。さらにアスレティックトレーナーとして活動する上での役割、医科学スタッフの役割や連携・協力の重要性、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理、そして倫理について理解することを目的とする。						
	到達目標	(1)アスレティックトレーナーの役割を理解できる。 (2)アスレティックトレーナー養成の歴史的背景や世界の状況を理解できる。 (3)アスレティックトレーナーの具体的な業務を理解できる。 (4)他の専門スタッフとの連携協力の意義と体制について理解できる。 (5)組織の運営及び管理能力を養うことを理解し、社会的な秩序や倫理規定を理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。また、アスレティックトレーナーという専門職の社会的位置づけについて概要を学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】アスレティックトレーナーとは 【計画内容】アスレティックトレーナー制度の歴史、日本・諸外国におけるアスレティックトレーナー制度について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーとは」を読んでおくこと。						A、G
	第3回	【テーマ】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務 【計画内容】アスレティックトレーナーの任務・役割・業務について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの任務と役割」「アスレティックトレーナーの業務」を読んでおくこと。						A、G
	第4回	【テーマ】アスレティックトレーナーの活動 【計画内容】アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第5回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動1 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第6回	【テーマ】競技別アスレティックトレーナーの活動2 【計画内容】競技別アスレティックトレーナーの活動について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの活動」を読んでおくこと。						A、G
	第7回	【テーマ】グループディスカッション1 【計画内容】アスレティックトレーナーの役割についてグループディスカッションを行います。 【準備学習の内容】第2回～第6回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。						G、H
	第8回	【テーマ】医科学スタッフの構成と役割 【計画内容】医科学スタッフの構成と役割について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「医科学スタッフの構成と役割」を読んでおくこと。						A、G
	第9回	【テーマ】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力 【計画内容】スポーツドクターおよびコーチとの連携・協力について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「スポーツドクターとの連携・協力」「コーチとの連携・協力」を読んでおくこと。						A、G
	第10回	【テーマ】アスレティックトレーナーの組織と運営 【計画内容】アスレティックトレーナーの組織と運営について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーの組織と運営」を読んでおくこと。						A、G
	第11回	【テーマ】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理 【計画内容】競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「競技者におけるコンディショニングに関するデータの管理」を読んでおくこと。						A、G
	第12回	【テーマ】アスレティックトレーナーと倫理 【計画内容】アスレティックトレーナーと倫理について学びます。 【準備学習の内容】テキスト「アスレティックトレーナーと倫理」を読んでおくこと。						A、G
	第13回	【テーマ】グループディスカッション2 【計画内容】医科学スタッフとの連携・協力、組織の運営と管理についてグループディスカッションを行います。 【準備学習の内容】第8回～第12回までの講義内容を復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。						G、H
	第14回	【テーマ】アスレティックトレーナーの今後の展望 【計画内容】アスレティックトレーナーの学術レベル、技能レベル、社会的認知度の向上を図るために、今後どのような取組が必要となるかについて議論します。 【準備学習の内容】専門雑誌あるいは図書などから情報収集をすること。						A、G
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、本科目の到達度を確認します。 【準備学習の内容】第1回～第14回までの講義内容について復習し、理解を深めておくこと。						L
テキスト	日本体育協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2007年、『公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト1 アスレティックトレーナーの役割』、文光堂							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%		30%		40%		
補足								
質問への対応	オフィスアワーの時間帯に953研究室にて対応します							
資格	[ス]アスレティックトレーナー_必修							
その他								

教職に関する科目

科目名	教職概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	西村 貴之						
授業の目的	ねらい	本講義では、教師として必要な知識や技能を学ぶとともに、教師の仕事について理解を深め、教師としての資質・能力を身に付けることを目標にします。また、多様な教育課題に対して教師たちがどのように向きあっているかについて、教育実践を分析しながら、自分が教師であったらどうするか、自分の意見を表明し受講生みなさんと議論する活動的学習を重視した講義展開をしていきます。					
	到達目標	(1)教職の具体的な内容と意義を理解できる。 (2)教職の使命と責任を理解し、自らの適性について自覚を持てる。 (3)求められる教師像を理解し、目指す教師像と具体的な課題を説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義の全体像を説明します。また教職課程の履修をはじめるとあたっての聴講するにあたっての態度の留意点等を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 教育とは何かを考える 【計画内容】 教育とは何かという2つの定義をもとに、教師が含む教育について原理的に考えます。 【準備学習の内容】 教育とは何か事前に自分の考えを明確にしておく。	A、H				
	第3回	【テーマ】 学校現場の事例をもとに教育学的思考を実践する 【計画内容】 メタ認知的に学校で営まれている教育事象を理解するトレーニングを共同学習をもとに行います。 【準備学習の内容】 検討する事例について、教育学的思考をもとに分析しておくこと。	F、H				
	第4回	【テーマ】 教員養成と教育課程 【計画内容】 教師とはどのような専門職なのか。養成の内容(中学校保健体育の免許取得に必要な介護等体験を含む)の把握と教育課程とは何かについて理解します。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第5回	【テーマ】 教師の仕事と役割① 【計画内容】 学校における多様な職務を理解する解説をします。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第6回	【テーマ】 教師の仕事と役割② 【計画内容】 多職種連携という今日的な教師の新しい職務のあり方(チーム学校)について検討します。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第7回	【テーマ】 生徒指導とは何か 【計画内容】 生徒指導(体罰と懲戒を含む)、教育相談、進路指導やキャリア教育の特徴と方向性について学びます。教えるという営みを考えることで、期待される教師の基本的な姿勢について理解します。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第8回	【テーマ】 特別活動を軸とした学校づくり 【計画内容】 ドキュメンタリー映画をみて、特別活動の意義と学校づくりの事例を学びます。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	G、J				
	第9回	【テーマ】 学習指導要領とは何か① 【計画内容】 学習指導要領の変遷について解説をします。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第10回	【テーマ】 学習指導要領とは何か② 【計画内容】 次期学習指導要領ではどのような改訂が予定されているのか、答申をグループで読み解く。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	H				
	第11回	【テーマ】 教科指導① 【計画内容】 保健体育科教育について、学習指導要領ではどのように位置づけられているのか歴史の変遷も含め解説をします。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第12回	【テーマ】 教科指導② 【計画内容】 保健体育科教育を行ううえでベースとなる学習理論について解説をします。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第13回	【テーマ】 教育指導③ 【計画内容】 「対話的学びの実践」理論をベースにした保健体育科教育の事例研究を検討します。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	H				
	第14回	【テーマ】 教師の服務・研修・身分保障 【計画内容】 教師の専門性とは何か。実際に行われている研修や、服務規程や身分保障について解説をします。 【準備学習の内容】 学習課題に取り組むこと。	A				
	第15回	【テーマ】 教師に期待されていること - 求められる教師像と自らの教師像 - 【計画内容】 授業全体の振り返りを行います。 【準備学習の内容】 自らの教師像について、考えをまとめておくこと。	A、L				
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』						
参考書	適宜プリントを配付します 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』						
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足	90%				10%	受講態度は複数回グループワークの参加やレポート課題の提出によって判断します
質問への対応	初回講義時に説明します						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
その他	高校までの自分自身の被教育経験を相対化し、教師に資する主体的な授業参加を要求します。毎回授業で学んだ内容を自分の言葉でまとめなおすといった復習をしてください。教員養成の科目のため欠席が3回以上の場合には評価の対象とならない点を留意して履修すること。						

教職に関する科目

科目名	教育原理			授業形態	講義	単位数	2
教員名	堂徳 将人						
授業の目的	ねらい	これまでの教育の歴史や思想を概観し、教育の基本的概念・理念を学ぶとともに、教育・学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを学ぶ。					
	到達目標	(1)教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との関係を説明することができる。 (2)教育の歴史の基礎知識を身に付け、それらと多様な教育理念・教育との関わり及び教育・学校の変遷を説明することができる。 (3)教育に関する思想や理念、それらと今日の教育・学校との関わりについて理解することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 教育を学ぶ意義と学校の役割について 【計画内容】 胎児及び小児、少年の発達過程を理解し、教育を学ぶ意義、学校の果たすべき役割について考えをまとめる。 【準備学習の内容】 シラバスの内容、講義の流れ、テキストの目次、概要を把握しておく。					A
	第2回	【テーマ】 教育の基本概念と教育の必要性について 【計画内容】 子どもの成長の記録から教育の重要性・必要性を理解し、教育の基本概念を考える。また自己のライフストーリーをみつめ、そのなかでの教育の果たす意義・必要性を考える。 【準備学習の内容】 課題レポートを作成し、授業の準備を行う。					A
	第3回	【テーマ】 教育の目標、義務としての教育について 【計画内容】 教育の目標、教育の義務の必要性を教育思想を踏まえて考え、教育が必要となった理由及び教育に義務が生じた理由を、その過程・歴史を踏まえて学ぶ。 【準備学習の内容】 教育基本法の教育の目的・目標、学校教育法の中学校・高等学校の目標について調べる。					A
	第4回	【テーマ】 日本の教育の歴史について(1) 終戦まで 【計画内容】 明治5年までの教育、明治・大正・昭和初期の教育に関する政策・制度、教育内容の特徴を理解する。また教育勅語の内容と当時の教育のあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】 課題レポートにより、日本の教育の歴史の該当範囲についてまとめる。					A
	第5回	【テーマ】 日本の教育の歴史について(2) 戦後から現在まで 【計画内容】 戦後から高度成長期、現在に至るまでの教育政策・制度と教育内容の特徴を、教育を受ける権利と義務を視点として学ぶ。 【準備学習の内容】 課題レポートにより、日本の教育の歴史の該当範囲についてまとめる。					A
	第6回	【テーマ】 教育思想と子どもの権利について(1) 子どもの発見、産業革命と子どもの生活 【計画内容】 子どもの発見、産業革命と子どもの生活を概観したうえで、フレーベル等の教育思想について学ぶ。 【準備学習の内容】 課題レポートにより、該当の範囲を調査してまとめる。					A
	第7回	【テーマ】 教育思想と子どもの権利について(2) 新教育運動と子どもの権利 【計画内容】 新教育運動などの教育思想・思想家を概観し、人権思想の高まり(世界人権宣言他)を理解したうえで、子どもに関する権利条約の内容、基本的理念を学ぶ。 【準備学習の内容】 課題プリントにより、該当の範囲をまとめる。					A
	第8回	【テーマ】 教育を受ける権利について 【計画内容】 日本国憲法における教育に係る条文を確認し、教育を受ける権利、平等主義、個人の尊重他を理解する。また、権利と義務の関係、権利の意味を学ぶ。 【準備学習の内容】 日本国憲法の関係する条文を確認し、ノートに整理する。					A
	第9回	【テーマ】 教育基本法の理念と教育の目的・目標について 【計画内容】 法律主義の意味を理解したうえで、教育基本法の各条文から教育の理念、その目的・目標、教育の果たすべき役割を学ぶ。 【準備学習の内容】 教育基本法の2条1～5号について調査し、発表の準備を行う。					A
	第10回	【テーマ】 教育制度の成立と展開について 【計画内容】 ドイツ、アメリカ等の教育制度を理解し、日本の教育制度の変遷と教育行政(教育委員会)の仕組みを学ぶ。 【準備学習の内容】 課題プリントにより、該当の範囲をまとめる。					A
	第11回	【テーマ】 現代社会における教育の課題について(1) 教育課程と課題 【計画内容】 学校の教育課程の変遷を概観し、今日の教育の基盤である「生きる力」の内容を理解する。また今日の教育改革の動向や学校の新しい方向性を踏まえながら、そこに横たわる課題を考える。 【準備学習の内容】 現行学習指導要領と新学習指導要領の改訂の背景、内容などについて「生きる力」を軸にまとめる。					A
	第12回	【テーマ】 現代社会における教育の課題について(2) 今日的課題 【計画内容】 教育や学校が抱える今日的課題として、子どもの貧困、支援を要する子ども(特別支援教育の充実)、教員の多忙(チーム学校の必要性)の問題を取り上げ、その内容を理解し、解決の方策を考える。 【準備学習の内容】 課題プリントにより、教育や学校の課題についてまとめる。					A
	第13回	【テーマ】 子ども・家庭・地域・学校と相互関係について 【計画内容】 今日の地域や家庭が抱える課題を理解したうえで、地域・家庭と学校との相互関係について学ぶ。また学校が地域・家庭に理解されるための連携等の方策を考える。 【準備学習の内容】 課題プリントを通して、子ども・家庭・地域・学校の関係について調べる。					A
	第14回	【テーマ】 教師・子どもとの相互関係について 【計画内容】 教育実践における教師と児童生徒との係りから、教員育成指標を含めながら、教育の理念を考える。 【準備学習の内容】 事前に配布した教員育成指標の内容についてまとめる。					A
	第15回	【テーマ】 教育の理念と学校教育について 【計画内容】 教育は「子どもの未来をつくるため」に必要な不可欠であることを理解し、「教育とはなにか」について考える。またこの授業で学んだことを、振り返りまとめる。 【準備学習の内容】 課題プリントを作成し、発表の準備を行う。					A、L
テキスト	佐々木正治(編著)、2015年、『新中等教育原理』、福村出版、9784571101540 文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』						
参考書	小玉重雄(編著)、2016年、『教育の再定義』、岩波書店、9784000113915						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%			20%
	補足	記述式		授業中の課題プリント			授業の最後に提出する小レポート
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修						
その他							

科目名	教育心理学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川 広樹							
授業の目的	ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深め、多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。						
	到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】教育心理学とは何かを概観し、15回の授業展開、成績評価について説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。						A、L
	第2回	【テーマ】学習への行動論的アプローチ 【計画内容】古典的条件づけ、オペラント条件づけについて学び、ヒトの行動の学習形態に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、L
	第3回	【テーマ】学習への認知論的アプローチ 【計画内容】情報処理過程、記憶の構造について学び、簡単な認知実験を通じて、ヒトの認知過程に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、L
	第4回	【テーマ】個人差 【計画内容】パーソナリティ、知能について、心理テストや心理検査を通じて理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、K、L
	第5回	【テーマ】動機づけ 【計画内容】多様な動機づけ理論を学び、外発的動機づけと内発的動機づけの違い、帰属について理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、K、L
	第6回	【テーマ】学習過程 【計画内容】学習方略や適性処遇交互作用について学び、個々の学習スタイルに応じた教育方法について理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、K、L
	第7回	【テーマ】発達と教育 【計画内容】遺伝か環境かというテーマについて考え、多様な発達理論を比較することを通じて、発達に応じた教育の在り方に関する理解を深めます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、L
	第8回	【テーマ】乳幼児期の発達 【計画内容】運動・ことばの発達、愛着形成について理解を深め、発達を促す働きかけを学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、L
	第9回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】社会性、仲間関係の発達について、認知発達の観点から理解を深め、社会性を伸ばす教育実践を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、H、L
	第10回	【テーマ】青年期の発達 【計画内容】道徳性、アイデンティティの発達について理解を深め、高校生を対象とした心理的援助の実際を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、K、L
	第11回	【テーマ】教師と児童生徒 【計画内容】学級集団の構造、カウンセリング技術について学び、教師に求められるコミュニケーションを考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、L、N
	第12回	【テーマ】学校生活への不応 【計画内容】不登校、いじめなどの学校不応の実態について理解を深め、事例に基づいて支援の組み立て方を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、J、L
	第13回	【テーマ】発達障害の理解と支援 【計画内容】障害の定義やインクルーシブ教育の発想について理解を深め、合理的配慮の多様な実践例を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの該当する章を読んでおくこと。						A、H、L
	第14回	【テーマ】心理教育的援助サービスの実践 【計画内容】予防的支援としての集団心理教育プログラムを実際に体験し、その具体的方法と評価プロセスについて学びます。 【準備学習の内容】これまで配付した資料を復習しておくこと。						A、H、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学習した内容を振り返り、教育心理学の発想について総括します。 【準備学習の内容】これまで配付した資料を復習しておくこと。						A、L
テキスト	西村純一・井森澄江編、2010年、『教育心理学エッセンシャルズ(第2版)』、ナカニシヤ出版、9784779504518							
参考書	スライド資料を使用する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	70%		30%			毎回の講義終了後、コメントカードの提出を求めます	
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修							
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。							

教職に関する科目

健康福祉学科
学科専門科目

科目名	健康福祉学概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	小田 史郎、本間 美幸、吉田 修大						
授業の目的	ねらい	これからの長寿社会で求められる概念・事象を健康とスポーツ、社会福祉、介護福祉という三つの視野で学び、健康福祉学科で学ぶ意識を高める。健康福祉学科での学びを通して取得できる諸資格について、関連する法・制度を理解し資格の持つ特性と社会における現状を把握する。その上で、自らの将来像を明確にし、志望する進路に沿った学習計画を立てる力量を身に付けることを目指す。					
	到達目標	(1)相談援助、介護福祉、健康づくりで活躍する専門職の仕事の魅力について理解する。 (2)専門職として仕事をするために必要な知識や技能、資格について理解する。 (3)他領域とのつながりについて理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の展開予定および、健康福祉学科で養成する人材が活躍する3つの領域について説明をします。(小田史郎・本間美幸・吉田修大) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでください。	A、G				
	第2回	【テーマ】 当事者・実践者から学ぶ(1) 【計画内容】 何らかの支援を必要とする当事者をお招きして、日々のかかわりや生活の様子を講義していただき、その思いにふれます。(吉田修大) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、J				
	第3回	【テーマ】 社会福祉士の理解(1) 【計画内容】 社会福祉士の概要、活躍している場などを理解します。(吉田修大) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、K				
	第4回	【テーマ】 社会福祉士の理解(2) 【計画内容】 社会福祉士の支援を踏まえ、考え方や価値観を理解します。(吉田修大) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、K				
	第5回	【テーマ】 介護福祉士の理解(1) 【計画内容】 介護とは何か・介護福祉とは何かを学び、介護福祉の専門職である介護福祉士の役割を理解します。(本間美幸) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、K				
	第6回	【テーマ】 介護福祉士の理解(2) 【計画内容】 介護福祉士国家資格の誕生から今日的な課題までを概観し、求められる態度を理解します。(本間美幸) 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、G、K				
	第7回	【テーマ】 スポーツ系資格の理解 【計画内容】 健康運動実践指導者、レクリエーション・インストラクター、初級障がい者スポーツ指導員などのスポーツ系資格について理解し、運動指導者としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(小田史郎) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、K				
	第8回	【テーマ】 公務員と社会教育主事 【計画内容】 社会教育主事について理解し、公務員としての仕事の魅力ややりがいについて学びます。(小田史郎) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、J				
	第9回	【テーマ】 施設見学の準備 【計画内容】 施設見学の際の心構えや見学マナーについて学ぶ。(吉田修大) 【準備学習の内容】 見学に際してのマナー等について調べてきてください。	A、G、K				
	第10回	【テーマ】 現場を知る(1-1) 【計画内容】 施設見学にあたり事前学習を行います。(吉田修大) 【準備学習の内容】 施設の概要などを調べてきてください。	A、G、K				
	第11回	【テーマ】 現場を知る(1-2) 【計画内容】 福祉の現場を訪れて専門職の方に説明をしていただきながら、見学をします。(全教員) 【準備学習の内容】 事前学習の内容を復習してきてください。	M				
	第12回	【テーマ】 現場を知る(1-3) 【計画内容】 福祉の現場を訪れて専門職の方に説明をしていただきながら、見学をします。(全教員) 【準備学習の内容】 事前学習の内容を復習してきてください。	M				
	第13回	【テーマ】 現場を知る(1-4) 【計画内容】 見学した内容を振り返り、グループワークなどをとおして学びを深めます。(吉田修大) 【準備学習の内容】 見学したときの配付資料やメモを読み返して復習をしてください。	G、H、L				
	第14回	【テーマ】 当事者・実践者から学ぶ(2) 【計画内容】 社会福祉、介護福祉の現場で活躍している卒業生をお招きして、支援の実際にふれます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付した資料を読み、予習しておくこと。	A、G、J				
	第15回	【テーマ】 健康福祉学科で取得できる資格取得までの学習の流れの理解、学習のまとめ 【計画内容】 社会福祉士や介護福祉士などの資格取得に関する今後の流れについて理解し、併せて今後の学習計画や進路選択などの見通しをたてます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの講義で配付された資料を読み返して復習し、自分の進路について考えてきてください。	G、L				
テキスト	講義内で提示します						
参考書	講義内で提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		60%	10%
	補足			最終レポート			
質問への対応	講義全体にかかわることについては小田先生、個別の回の内容にかかわることはそれぞれの担当教員が対応します。						
資格							
その他							

科目名	健康運動実践論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田 史郎、新開谷 深						
授業の目的	ねらい	健康づくり運動の指導者に必要となる「運動生理学」「機能解剖学」「スポーツバイオメカニクス」の3分野についての基礎知識を身につけることを目的とする。					
	到達目標	(1)運動生理学の基本的な内容について理解する (2)機能解剖学の基本的な内容について理解する (3)スポーツバイオメカニクスについての基本的な内容について理解する					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス、運動が発現する仕組み 【計画内容】 運動が発現する仕組みについて学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおく。					A、G
	第2回	【テーマ】 骨格筋の構造と収縮 【計画内容】 骨格筋の構造と収縮のメカニズムについて学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第3回	【テーマ】 筋線維の収縮特性 【計画内容】 筋線維の収縮特性について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第4回	【テーマ】 運動時の呼吸器応答 【計画内容】 運動時の呼吸器応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第5回	【テーマ】 運動時の循環応答① 【計画内容】 運動時の循環応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第6回	【テーマ】 運動時の循環応答② 【計画内容】 運動時の循環応答について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第7回	【テーマ】 最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値 【計画内容】 最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第8回	【テーマ】 運動トレーニングの効果について 【計画内容】 運動トレーニングの効果について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第9回	【テーマ】 運動と免疫、体温調節 【計画内容】 運動と免疫、体温調節について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第10回	【テーマ】 年齢に応じた体力変化と体力を決める要因 【計画内容】 年齢に応じた体力変化と体力を決める要因について学ぶ。(小田史郎) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第11回	【テーマ】 身体運動に関係する骨、筋、関節 【計画内容】 身体運動に関係する骨、筋、関節について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第12回	【テーマ】 単関節運動と多関節運動 【計画内容】 単関節運動と多関節運動について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第13回	【テーマ】 筋と腱の弾性エネルギー 【計画内容】 筋と腱の弾性エネルギーについて学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第14回	【テーマ】 着地衝撃とその緩和法 【計画内容】 着地衝撃とその緩和法について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
	第15回	【テーマ】 基本的な動作の力学的特徴 【計画内容】 基本的な動作の力学的特徴について学ぶ。(新開谷深) 【準備学習の内容】 関連する部分についての教科書を読んでおく。					A、G
テキスト	健康・体力づくり事業財団、2013年、『健康運動実践指導者養成用テキスト』、南江堂						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		50%			
	補足	第16週に実施		毎回の小レポート提出			
質問への対応	研究室での対応のほか、メールでも対応します。 E-Mail: os@hokusho-u.ac.jp (小田史郎)						
資格	[健]健康運動実践指導者_必修						
その他							

科目名	コーチ学	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	大西 昌美						
授業の目的	ねらい	スポーツ実施者の目的と個人的諸条件を考慮し、技術学だけでなく人間学的な側面をしっかりと理解し、より良い指導方法の基礎を学習する。優れたコーチの資質、役割、技術指導方法、指導計画、評価方法を理解する。また、競技に応じた指導計画の方法とIT機器の活用について学ぶ。					
	到達目標	(1)体育・スポーツ指導に関する基礎理論を理解する。 (2)指導計画、指導過程及び指導技術方法を理解する。 (3)各競技の特性を考えた指導法を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 15回の講義内容を説明し、「コーチ学」という講義で何を学ぶかを明確にする。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 職業の性質 【計画内容】 体育教師・コーチという仕事の性質について考える。 【準備学習の内容】 前回の講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第3回	【テーマ】 優れたコーチの資質 【計画内容】 コーチとしての考え方、心構え、個性、プレーヤーとの望ましい関係について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第4回	【テーマ】 コーチの役割について 【計画内容】 コーチの役割を果たすために必要な事柄(指導計画のたて方、安全管理など)を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F				
	第5回	【テーマ】 指導上の倫理 【計画内容】 体育指導者、コーチとしてふさわしい倫理感とは何かを考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、H、K				
	第6回	【テーマ】 スキル指導の準備 【計画内容】 スキル習得のための事前準備について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第7回	【テーマ】 スキルの学習過程 【計画内容】 スポーツスキルを学習させる際の留意点について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、F、K				
	第8回	【テーマ】 競技スポーツとIT・スキルの示範テクニック 【計画内容】 簡潔、明瞭な説明の方法について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第9回	【テーマ】 トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～ 【計画内容】 指導者として成功するための着眼点について考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第10回	【テーマ】 元UCLAバスケットボールコーチの指導方法を学ぶ 【計画内容】 元UCLAバスケットボールコーチ、JhonWooden氏の指導理念・指導方法を理解する。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第11回	【テーマ】 競技力向上のためのチームマネジメント 【計画内容】 元NBAプレーヤー、Muggsy BoguesのDVDを観ながら、効果的なチームマネジメント方法およびミーティング方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第12回	【テーマ】 競技力向上のための情報とその活用 【計画内容】 個人の情報分析及びチームの分析方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第13回	【テーマ】 競技スポーツとIT・スキルの分析及び欠点の矯正 【計画内容】 効果的なスキル分析の方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第14回	【テーマ】 イメージの利用 【計画内容】 パフォーマンス向上のためにイメージ(ビデオ・DVD)を利用する方法を考える。 【準備学習の内容】 前回までの講義内容を理解しておく。	A、H、K				
	第15回	【テーマ】 コーチの具体的指導法まとめ 【計画内容】 前回までの授業を振り返り、理解度を確認する。 【準備学習の内容】 前回までのノート・プリントを熟読し理解を深めておくこと。	A、H、K				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	Ralph J Sabock, 1988年、『THE COACH』、日本文化出版、4931033814 R.W. クリスマ・D.M. コーコス、1991年、『スポーツ技術の指導』、大修館書店、4469161675 JhonWooden, 2004年、『育てる技術』、ディスカバー・トゥエンティワン						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		20%		10%	
	補足			レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[健]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [ス]JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修						
その他							

科目名	基礎解剖学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	高田 真吾							
授業の目的	ねらい	人体の組織および器官がどのような構造で成り立ち、どのような機能を持っているかを理解することを目的とする。特に、身体運動の基本となる受動的運動器である骨格系と能動的運動器である筋系の形態と機能を重点的に学ぶ。						
	到達目標	(1)人体の基礎的な構造に関し、その名称と働きを理解する。 (2)身体運動に関わる構造、形態、機能を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】解剖学総論 【計画内容】解剖学の概念および細胞・組織・器官・系統・方向・面について学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】骨格系(1) 【計画内容】骨および関節の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第3回	【テーマ】骨格系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部・腹部・上肢・下肢の骨について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第4回	【テーマ】筋系(1) 【計画内容】筋および軟部組織の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第5回	【テーマ】筋系(2) 【計画内容】頭部・体幹・胸部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第6回	【テーマ】筋系(3) 【計画内容】腹部・背部の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第7回	【テーマ】筋系(4) 【計画内容】上肢・手の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第8回	【テーマ】筋系(5) 【計画内容】下肢・足の骨格筋の名称と働きについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第9回	【テーマ】神経系 【計画内容】中枢神経・末梢神経の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第10回	【テーマ】循環系 【計画内容】心臓・血管の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第11回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸・ガス交換の機序と肺の構造について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第12回	【テーマ】内分泌系 【計画内容】身体の働きの調節機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第13回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚受容器の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第14回	【テーマ】消化器・泌尿器系 【計画内容】消化器・腎臓の構造と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストを熟読し、授業内容の予習・復習をしておくこと。						A
	第15回	【テーマ】基礎解剖学総括・テスト 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 【準備学習の内容】テキスト・ノートを熟読し、前回までの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。						A
テキスト	竹内修二監修、2012年、『カラー図解 人体解剖の基本がわかる事典』、西東社							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		30%		10%		
補足								
質問への対応	講義終了時に具体的な説明をします。							
資格	[健] [ス]公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修							
その他	健康運動実践指導者、健康運動指導士、教職希望者は履修することが望ましい。人間の身体の基礎を学ぶ授業であり、学習量も多くなるので、必ず毎回の授業の復習を行って、知識を積み重ねていって欲しい。							

科目名	トレーニング論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤 一騎							
授業の目的	ねらい	体力の概念を理解し、そのトレーニング理論と方法を学ぶ。各種目の競技特性や、そのパフォーマンス向上に関連する体力項目を知り、トレーニングを構築ができることをめざす。また、高齢者やジュニアの体力特性に留意してトレーニングの作成ができるような知識を得る。						
	到達目標	(1)体力の構成要素を列挙できる。 (2)スポーツごとの必要な体力要素を挙げることができる。 (3)体力要素のトレーニング方法について説明できる。 (4)目的別のトレーニング計画を立てることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の内容と進め方を説明する。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 体力の概念 【計画内容】 猪飼らによる体力の分類について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第3回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法① 【計画内容】 筋力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第4回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法② 【計画内容】 パワー関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第5回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法③ 【計画内容】 全身持久力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第6回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法④ 【計画内容】 局所における持久力関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第7回	【テーマ】 体力要素ごとのトレーニング方法⑤ 【計画内容】 敏捷性関連のトレーニング方法について説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第8回	【テーマ】 競技に向けたトレーニング方法① 【計画内容】 種々のトレーニング方法を組み合わせて、競技スポーツ向けのトレーニングの立て方を紹介する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第9回	【テーマ】 競技に向けたトレーニング方法② 【計画内容】 競技スポーツ向けのトレーニング計画の立て方を、ピリオダイゼーション理論を基に説明する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A	
	第10回	【テーマ】 トレーニング計画の作成① 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A、G	
	第11回	【テーマ】 トレーニング計画の作成② 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A、G	
	第12回	【テーマ】 トレーニング計画の作成③ 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A、G	
	第13回	【テーマ】 トレーニング計画の作成④ 【計画内容】 課題とする対象・種目へのトレーニング計画を作成する。 【準備学習の内容】 紹介する参考文献等の参照。					A、G	
	第14回	【テーマ】 トレーニング計画の評価 【計画内容】 作製したトレーニング計画について、理論的に説明されているか評価を行う。 【準備学習の内容】 発表資料の作成。					A、G、I	
	第15回	【テーマ】 発表での質疑を含めた確認 【計画内容】 授業全体の振り返りを行う。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容について復習し、理解を深めておく。					A、L	
テキスト	講義時に説明する							
参考書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	70%		20%		10%		
補足								
質問への対応	個別に回答する							
資格	[健]健康運動実践指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー資格_必修、JATI認定トレーニング指導者_必修、公認スポーツ指導者(I・II・III)_必修							
その他	運動生理学、機能解剖学の知識が必要となるため、これらの授業もしっかり学習しておくこと。							

科目名	トレーニング演習		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	井出 幸二郎、上田 知行、近藤 雄一郎、重成 敏史、高田 真吾、山本 敏美						
授業の目的	ねらい	<p>「トレーニング論」で身につけた基礎知識を活用して、安全で効果的なトレーニングを実践する。さまざまなトレーニング方法を学習し、指導技術の向上をはかるため、5種類のトレーニング方法をグループごとに展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マシントレーニング: 機能解剖に沿った機器の使用方法を習得し正しいフォームを身につける。 2. フリーウェイトトレーニング: 重力にそったウェイトの拳上方法を習得し、安全な補助の方法を身につける。 3. 自重負荷トレーニング: 自体重を利用した基本トレーニングを習得し、指導の方法を身につける。 4. 器具を利用したトレーニング: 器具を利用したトレーニングを習得し、有酸素性・無酸素性能力やスピード・パワートレーニングの方法を身につける。 5. 介護予防のためのトレーニング: 介護予防に有効なトレーニングの方法と指導方法を身につける。 					
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)筋力トレーニングの動作技術を身につけること。 (2)トレーニング機器を安全に使用できるようになること。 (3)トレーニングプログラムを作成できるようになること。 (4)トレーニングを他人に指導できるようになること。 					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のオリエンテーション、体力・形態測定、グループ分け(以下グループにより順番は異なります) 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明するとともに、筋力、体脂肪の測定、グループ分けを行います。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。			A		
	第2回	【テーマ】 マシントレーニング(1) 【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美) 【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。			A、B、L		
	第3回	【テーマ】 マシントレーニング(2) 【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美) 【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。			A、B、L		
	第4回	【テーマ】 マシントレーニング(3) 【計画内容】 トレーニングマシンを利用したトレーニングの方法について学びます。(山本敏美) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第5回	【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(1) 【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾) 【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。			A、B、L		
	第6回	【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(2) 【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾) 【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。			A、B、L		
	第7回	【テーマ】 フリーウェイトトレーニング(3) 【計画内容】 ダンベルやバーベルを用いたトレーニングの方法について学びます。(近藤雄一郎・高田真吾) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第8回	【テーマ】 静的レジスタンストレーニング 【計画内容】 自分の体重を利用した静的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史) 【準備学習の内容】 トレーニング論で学んだ内容を理解しておくこと。			A、B、L		
	第9回	【テーマ】 動的レジスタンストレーニング 【計画内容】 自分の体重を利用した動的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史) 【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。			A、B、L		
	第10回	【テーマ】 自重負荷トレーニング 【計画内容】 自分の体重を利用した静的および動的トレーニングの方法について学びます。(重成敏史) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第11回	【テーマ】 器具を用いたトレーニング(1) 【計画内容】 スピード及びパワートレーニング、ウォームアップ、クールダウンの方法について学びます。(井出幸二郎) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第12回	【テーマ】 器具を用いたトレーニング(2) 【計画内容】 アジリティ及びクイックネストレーニングの方法について学びます。(井出幸二郎) 【準備学習の内容】 これまで配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第13回	【テーマ】 介護予防と運動(1) 【計画内容】 介護予防に有効なトレーニングの方法について学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 身体各部位の機能解剖を理解しておくこと。			A、B、L		
	第14回	【テーマ】 介護予防と運動(2) 【計画内容】 介護予防に有効なトレーニングの方法について学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。			A、B、L		
	第15回	【テーマ】 体力・形態測定、授業の振り返り 【計画内容】 筋力測定、体脂肪の測定と振り返りを行います。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの授業の内容を整理しておくこと。			A、B、L		
テキスト	プリントを使用します						
参考書	健康運動指導士テキスト 健康運動実践指導者テキスト						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	50%		20%	30%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]健康運動実践指導者_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、健康運動指導士_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_必修、JATI 認定トレーニング指導者_必修、アスレティックトレーナー_必修						
その他	本講義を履修する学生は、「トレーニング論」も履修すること。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	レジャー・レクリエーション論	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	徳田 真彦						
授業の目的	ねらい	科学技術の進歩とともに労働の効率化がなされ、物質的に豊かになってきた反面、自然破壊や心身への過度のストレスなど多くの課題が生まれてきています。そのような背景から、単に働くばかりでは真の豊かさを築くことが出来ない事に気付き、労働時間の短縮や生涯学習事業の充実など、余暇活動の整備が図られてきました。レジャー・レクリエーションは労働と対比する遊びの領域で展開され、豊かでゆとりのある暮らしを支える重要な要素です。国民の誰もが生涯を通じてレジャー・レクリエーションサービスを楽しむことができる社会システムが望まれています。本講義では、労働と余暇という本質的なテーマを問いつつ、レクリエーションの企画・展開方法についても学びます。					
	到達目標	(1)現代社会におけるレジャー・レクリエーションの意義について理解する。 (2)レクリエーションの企画や運営、安全管理等について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や展開方法について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 レジャーの概念 【計画内容】 レクリエーションの類似概念である「レジャー」について学習します 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A				
	第3回	【テーマ】 現代社会におけるレクリエーションの意義 【計画内容】 現代社会においてレクリエーションの意義や担う役割について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G				
	第4回	【テーマ】 ライフスタイルとレクリエーション 【計画内容】 各ライフステージにおけるレクリエーションの意義について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G				
	第5回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画と運営 【計画内容】 レクリエーションイベントの企画や運営の基礎について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、H				
	第6回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画 【計画内容】 レクリエーションイベントの企画をグループに分かれて行います。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	H				
	第7回	【テーマ】 レクリエーションイベントの企画書作成 【計画内容】 実際にレクリエーションイベントを企画し、企画書を作成します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G、H				
	第8回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際①(説明・準備) 【計画内容】 学習理解度調査レポートの実施と室内で手軽にできるレクリエーションイベントの説明を行います。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G				
	第9回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際②(課題作成) 【計画内容】 誰でも手軽にできる室内レクリエーションイベントを実際に体験します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	H				
	第10回	【テーマ】 レクリエーションイベントの実際③(評価) 【計画内容】 前回の授業内容をもとにレクリエーションがもたらす成果について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、H				
	第11回	【テーマ】 レクリエーションマネジメントの基礎 【計画内容】 レクリエーション組織のマネジメントに関する基礎理論を学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G				
	第12回	【テーマ】 レクリエーション組織のマネジメント 【計画内容】 レクリエーション組織のマネジメントに関する基礎理論を学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、G				
	第13回	【テーマ】 レクリエーションイベントにおける安全管理 【計画内容】 レクリエーションイベントにおける安全管理について学習します。 【準備学習の内容】 前回の講義で指定した文献や資料等を読んでおくこと。	A、H				
	第14回	【テーマ】 講義の振り返り 【計画内容】 これまでの講義を振り返り、学習状況を把握するためのレポートを行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を復習しておくこと。	G、L				
	第15回	【テーマ】 講義のまとめ 【計画内容】 これまでの講義のまとめを行います。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を整理し、まとめておくこと。	L				
テキスト	プリントを使用する						
参考書	財団法人日本レクリエーション協会編、1994年、『レクリエーションマネジメント』、大修館書店、4469262838 財団法人日本レクリエーション協会、2010年、『レクリエーション支援の基礎』、財団法人日本レクリエーション協会、9784931180819 財団法人日本レクリエーション協会、2006年、『豊かに遊べる仕組みをつくる：レクリエーション・コーディネートのすすめかた：レクリエーション・コーディネーター養成テキスト』、財団法人日本レクリエーション協会、493118068X						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足			作品			
質問への対応	初回の講義時に説明します。						
資格	[健]レク・インストラクター_必修 [ス]レク・インストラクター_必修、レク・コーディネーター_必修						
その他	毎回配付されたプリントに講義内容を記入し、講義ノートを作成させます。						

科目名	生涯スポーツ(陸上競技)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	大宮 真一、品田 吉博、松橋 昌巳						
授業の目的	ねらい	陸上競技における走競技種目(短距離走・中長距離走・ハードル競走・リレー競走など)、跳躍競技種目(走り幅跳び・走り高跳び・三段跳びなど)、投てき競技種目(砲丸投げ・円盤投げ・やり投げなど)の特性を理解し、基本的な技術を習得することにより、各種目の技能向上をはかることを目標とする。また走競技種目では、健康づくりのためのジョギングを指導するために必要な項目についても学ぶ。					
	到達目標	(1)陸上競技各種目の基本的技術を身につける。 (2)陸上競技各種目の概要とルールを学ぶ。 (3)陸上競技各種目における技能向上の指導方法を学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 基礎理論 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 ウォーキングとジョギングにおける概要と基本的技術 【計画内容】 歩行、走行の基本的技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第3回	【テーマ】 短距離走における技術向上の指導方法 【計画内容】 短距離走におけるスタートダッシュの技術、ピッチ・ストライドを向上させるトレーニング法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第4回	【テーマ】 短距離走におけるまとめと技能評価 【計画内容】 50m 走タイムを測定し、全力疾走能力を評価します。測定者はストップウォッチの使用法、およびスタート合図の仕方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第5回	【テーマ】 ハードル競争における概要と基本的技術 【計画内容】 ハードル競走におけるハードリング技術について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第6回	【テーマ】 ハードル競争における技術向上の指導方法 【計画内容】 ハードル競走に必要な体力的要因およびトレーニング方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第7回	【テーマ】 ハードル競争におけるまとめと技能評価 【計画内容】 50m ハードル走のタイムを測定し、技能を評価します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第8回	【テーマ】 走り幅跳びにおける概要と基本的技術 【計画内容】 走り幅跳びで遠くに跳ぶための原理、空中フォーム、踏切脚・リード脚の技術を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第9回	【テーマ】 走り幅跳びの技術向上の指導方法 【計画内容】 走り幅跳の助走でのリズム、助走距離決定についての指導方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第10回	【テーマ】 走り幅跳びにおけるまとめと技能評価 【計画内容】 走り幅跳びの跳躍距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第11回	【テーマ】 砲丸投げにおける概要と基本的技術 【計画内容】 投擲種目を行い際の安全に実施するための留意点について学び、砲丸投げの投法および遠くに跳ぶことの原理について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第12回	【テーマ】 砲丸投げにおける技術向上の指導方法 【計画内容】 砲丸投げにおける遠くへ飛ばすためのトレーニング方法を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第13回	【テーマ】 砲丸投げにおけるまとめと技能評価 【計画内容】 砲丸投げの投擲距離を測定します。測定方法、有効試技と失敗試技について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
	第14回	【テーマ】 リレー競争における概要と基本的技術 【計画内容】 リレー競走のルールおよびバトンパスの方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 充分に実技を行える準備をしておくこと。				E、H	
	第15回	【テーマ】 リレー競争における技術向上の方法と技能評価 【計画内容】 リレー競走でタイムが短縮する技術およびトレーニング方法について学び、最後にチーム対抗のリレー競争を実施します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの内容について理解を深め確実に習得し、レポートを作成すること。				E、H	
テキスト	必要に応じてプリントを配付します						
参考書	日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技初級編』、大修館書店 日本陸上競技連盟編、2013年、『陸上競技指導教本アンダー16・19 レベルアップの陸上競技上級編』、大修館書店 『健康運動実践指導者テキスト』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		20%	40%
	補足			各單元ごとのレポート		平時	技能到達度
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]健康運動実践指導者_必修、ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	競技種目の順序・内容は変更することもあります。 「生涯スポーツ指導演習(陸上競技)」を履修する者は必ず履修してください。						

科目名	生涯スポーツ(器械運動)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	廣田 修平						
授業の目的	ねらい	器械運動の基礎技能の習得をねらいとして、「マット運動」と「鉄棒運動」「とび箱運動」を中心に基本的な技術の獲得と技能の向上を目指している。また、器械運動の技の指導法や補助法について学習することも本授業のねらいである。					
	到達目標	(1)マット運動・鉄棒運動・とび箱運動の基本技を習得する。 (2)基本技の学習方法を理解する。 (3)技の評価の視点を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業全体の説明と授業のねらいを理解する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。				A、E	
	第2回	【テーマ】マット運動 接転技群「前転」の学習 【計画内容】マット運動の前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第3回	【テーマ】マット運動 接転技群「伸膝前転」の学習 【計画内容】マット運動の伸膝前転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第4回	【テーマ】マット運動 接転技群「後転」の学習 【計画内容】マット運動の後転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第5回	【テーマ】マット運動 接転技群「後転倒立」の学習 【計画内容】マット運動の後転倒立に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第6回	【テーマ】マット運動 翻転技群「首はねおき」の学習 【計画内容】マット運動の首はねおきに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第7回	【テーマ】マット運動 翻転技群「前方倒立回転とび」の学習 【計画内容】マット運動の前方倒立回転とびに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。また、マット運動の基本技術をとび箱運動に応用する。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第8回	【テーマ】マット運動 マット運動の技術確認 【計画内容】これまでに行ったマット運動の技術確認を実施し、その反省を行う。 【準備学習の内容】前回までの学習記録をまとめておく。				E、K、L	
	第9回	【テーマ】鉄棒運動 後方支持回転技群「後方支持回転」の学習 【計画内容】鉄棒運動の後方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第10回	【テーマ】鉄棒運動 前方支持回転技群「前方支持回転」の学習 【計画内容】鉄棒運動の前方支持回転に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第11回	【テーマ】鉄棒運動 懸垂振動技の学習① 【計画内容】鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第12回	【テーマ】鉄棒運動 懸垂振動技の学習② 【計画内容】鉄棒運動の懸垂振動技に必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第13回	【テーマ】鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習① 【計画内容】鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】参考図書を概観しておく。				E	
	第14回	【テーマ】鉄棒運動 け上がり技群「け上がり」の学習② 【計画内容】鉄棒運動のけ上がりに必要な基本技術を理解し、その技術を身につける。 【準備学習の内容】前回の学習記録をまとめておく。				E	
	第15回	【テーマ】鉄棒運動 鉄棒運動の技術確認 【計画内容】これまでに行った鉄棒運動の技術確認の実施と全体の学習内容の復習を行う。 【準備学習の内容】前回までの学習記録をまとめておく。				E、K、L	
テキスト	プリントを配付します						
参考書	金子明友、1982年、『マット運動』、大修館書店 金子明友、1984年、『鉄棒運動』、大修館書店						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		70%			30%	
質問への対応	初回授業時に説明します。						
資格	[健]ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]JPSUスポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。教職必修である2年次開講の「生涯スポーツ指導演習(器械運動)」を履修する者は、必ず履修してください。受講者が40名を超える場合は履修者を制限します。						

科目名	生涯スポーツ(バレーボール)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	永谷 稔						
授業の目的	ねらい	バレーボールにおける基礎からゲームに至るまでのさまざまな技術や方法を実践し、自らの技術向上のみならず、指導方法についても身につけたい。そして、最低限のプレー技術を習得するとともに、ルールや歴史の変遷、審判法についても学習し、教養を深め、何よりチームスポーツの素晴らしさを体得したい。					
	到達目標	(1)オーバーハンド・アンダーハンドパスなどの基礎技術において、一定レベルまでの到達。 (2)ローテーションやフォーメーションの理解。 (3)ルールの理解と審判法の習得。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本実技の紹介をし、15回の展開を説明する。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。	A、E				
	第2回	【テーマ】 ボール慣れの練習 【計画内容】 バレーボールを使ってボール慣れの練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第3回	【テーマ】 オーバー・アンダーハンドパスの構え、動き 【計画内容】 基本的なパスとトスの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第4回	【テーマ】 パスとトスの練習方法 【計画内容】 パスとトスの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第5回	【テーマ】 スパイクの種類、動き 【計画内容】 基本的なスパイクの種類およびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第6回	【テーマ】 スパイクの練習方法 【計画内容】 スパイクの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第7回	【テーマ】 レシーブの構え、動き 【計画内容】 基本的なレシーブの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第8回	【テーマ】 レシーブの練習方法 【計画内容】 レシーブの練習方法の実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第9回	【テーマ】 ブロックの構え、動き 【計画内容】 ブロックの構えおよびその動き。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第10回	【テーマ】 ブロックの練習方法 【計画内容】 ブロックの練習方法とその実践。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第11回	【テーマ】 サービスの種類、練習 【計画内容】 サービスの種類およびその練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第12回	【テーマ】 守備のフォーメーション 【計画内容】 守備フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第13回	【テーマ】 攻撃のフォーメーション 【計画内容】 攻撃フォーメーション(隊形)の確認と練習。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第14回	【テーマ】 ルールと審判法 【計画内容】 ルールと審判法について、実践を交えて解説。 【準備学習の内容】 前時までの内容を理解し、本時に生かせるようイメージしておくこと。	A、E				
	第15回	【テーマ】 まとめとふりかえり 【計画内容】 まとめとして実技スキルの確認とふりかえりを行う。 【準備学習の内容】 本実技のふりかえり、スキル向上確認を行う。	A、E				
テキスト	必要に応じて資料やプリントを配付します						
参考書	日本バレーボール協会、2018年、『バレーボール6人制競技規則(ルールブック)』、日本バレーボール協会 必要に応じて資料やプリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	25%	50%			25%	
質問への対応	初回授業時に具体的に説明する						
資格	[ス] JPSU スポーツトレーナー資格_選必						
その他	上級者は示範など積極的に行うこと。適宜ゲームを行うが、チームスポーツとして協調性やチームワークを尊重すること。最低限のルール理解やゲーム運営に必要な知識は身につけること。 第16回に確認試験を実施する。教職必修である3年次開講の「生涯スポーツ指導演習(バレーボール)」を履修する者は、必ず履修すること。						

科目名	生涯スポーツ(バスケットボール)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	横山 茜理						
授業の目的	ねらい	授業の目的は、1)パス・ドリブル・シュートなどの基礎技術を習得すること、2)バスケットボールのルールや審判法について理解を深めること、3)試合を楽しみ生涯スポーツにつなげることである。					
	到達目標	(1)24秒間のゴール下のシュートで一定の基準数を越える。 (2)サークルを使ったドリブルシュートを左右連続して決める。 (3)バスケットボールのルールと審判法を理解する。 (4)チームで戦略を考え、協力して試合に臨むことができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンスとボールハンドリング 【計画内容】 バスケットボールに慣れるためにボールハンドリングを行う。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておく。			A、E		
	第2回	【テーマ】 ドリブル技術の習得 【計画内容】 ドリブルの技術習得に関する様々な練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第3回	【テーマ】 シュート技術の習得① 【計画内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートの技術習得。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第4回	【テーマ】 シュート技術の習得② 【計画内容】 前回のシュート技術の復習とセットシュートの練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第5回	【テーマ】 動きのなかでのパス技術の習得 【計画内容】 様々なパス技術に関する練習を行う。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第6回	【テーマ】 1対1の攻防とリバウンド技術の習得 【計画内容】 様々な状況における1対1の練習とリバウンド練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第7回	【テーマ】 速攻とアウトナンバー(攻撃側の数的有利な状況)の攻め方 【計画内容】 速攻と2対1や3対2の練習。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。			A、E		
	第8回	【テーマ】 これまでの授業内容の復習と確認 【計画内容】 ゴール下シュートとドリブルレイアップシュートの技能達成度について確認する。 【準備学習の内容】 ゴール下シュートとレイアップシュートについて復習する。			A、E		
	第9回	【テーマ】 チームオフENSEの学習 【計画内容】 3on3の攻防を通して、チームオフENSEの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第10回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合① 【計画内容】 バスケットボールのルールを確認してから試合を行う。 【準備学習の内容】 バスケットボールのルールについて予習する。			A、E		
	第11回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合② 【計画内容】 マンツーマン・ディフェンスの基本を学習する。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第12回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合③ 【計画内容】 審判法の学習。 【準備学習の内容】 審判法について予習する。			A、E		
	第13回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合④ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第14回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑤ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を復習する。			A、E		
	第15回	【テーマ】 チーム対抗形式の試合⑥ 【計画内容】 学生主体のチーム作りを行い、試合をする。 【準備学習の内容】 これまでの学習の振り返りを復習する。			A、E		
テキスト	適宜資料を配付します						
参考書	文部科学省、2015年、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房 日本バスケットボール協会、2013年、『2013年～バスケットボール競技規則』、セキ出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		50%			50%	
質問への対応	授業時間の前後に質問に対応します						
資格	[健]ジュニアスポーツ指導員_必修 [ス]JPSUスポーツトレーナー資格_選必、ジュニアスポーツ指導員_必修						
その他	初回から実技を行う予定であり、指定ジャージと室内シューズを準備してください。北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	生涯スポーツ(エアロビック)		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	菊地 はるひ						
授業の目的	ねらい	エアロビックは、健康体づくりを目的とした有酸素運動であるだけでなく、明確で多様な動きの身体表現と技術の向上を楽しむスポーツとしても発展してきている。授業では、エアロビックの基礎理論を学ぶとともに、基本動作を段階的に学習し、音楽にあわせてリズムカルに身体を動かす楽しさを体験する。エアロビックの基本技術、基礎技術を身につけることにより、生涯スポーツとして幅広く親しまれているエアロビックの特性を理解することをねらいとする。					
	到達目標	(1)エアロビックの基本動作を段階的に学習し、明確な動きを行う。 (2)エアロビックのプログラムの基本構成を理解する。 (3)複数で行うエアロビックの発表を通し、表現スポーツとしての理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス・エアロビック総論 【計画内容】 エアロビックの歴史と特性、指導者の資格と役割について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。	E、K				
	第2回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実際(1) 【計画内容】 エアロビックのプログラム構成と基本姿勢、基本の動きについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第3回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(2) 【計画内容】 エアロビックの運動強度およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第4回	【テーマ】 エアロビックの基礎理論と実践(3) 【計画内容】 ウォームアップとクールダウンの意義および音楽の選択について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第5回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(1) 【計画内容】 下肢の基本動作、動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第6回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(2) 【計画内容】 上肢・下肢の組み合わせによる基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第7回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(3) 【計画内容】 上肢と下肢の複雑な動きの組み合わせおよびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第8回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(4) 【計画内容】 方向転換、移動を伴った基本動作およびレジスタンスエクササイズの方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第9回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(5) 【計画内容】 音楽、動きのリズム構成に対する理解を深め、リズム変化を伴った基本動作を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第10回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(6) 【計画内容】 多様な動きをリズムカルに動く技術およびストレッチングの方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第11回	【テーマ】 エアロビックの基礎技術の習得(7) 【計画内容】 多様な動きで作られたルーティンを確認して行う技術を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、K				
	第12回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(1) 【計画内容】 複数で行うエアロビックの基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、H、K				
	第13回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(2) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを創作する。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、H、K				
	第14回	【テーマ】 チームパフォーマンスの構成(3) 【計画内容】 複数で行うエアロビックを表現スポーツとして完成度を高める。 【準備学習の内容】 前回行った内容について復習し、十分に実技が行える準備をしておくこと。	E、H、K				
	第15回	【テーマ】 まとめとチームパフォーマンスの発表 【計画内容】 実技課題の確認と発表を行う。 【準備学習の内容】 前回までの内容について十分に復習し、チームパフォーマンスを発表する準備をしておくこと。	E、F、K				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	1995年、『エアロビック指導員教本』、(公社)日本エアロビック連盟 1999年、『新・エアロビックダンスエクササイズの実技指導』、(公社)日本フィットネス協会						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		60%	20%		20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[健]健康運動実践指導者_必修、エアロビック指導員_必修 [ス]健康運動実践指導者_必修、JPSU スポーツトレーナー資格_選必、エアロビック指導員_必修						
その他	「生涯スポーツ指導演習(エアロビック)」は、この授業を履修していなければ受講できない。 健康運動指導士取得希望者は履修すること。教職(保健体育)希望者は履修することが望ましい。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	精神保健			授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉岡 品子						
授業の目的	ねらい	精神保健とは、精神障害の予防と治療のみならず、人間の発達過程や社会生活における環境への適応に関わる学問であり、メンタルヘルスに関わる全ての人に必要な知識である。ここでは、精神保健の概念や歴史について基礎的知識を得たのち、ライフサイクルと個別課題に沿って、主要な精神保健上の課題と対応について実践例を交えながら学ぶ。そして、講義を通して知識だけでなく、生涯にわたって関連する自らの精神保健について考える機会を持つことを目的とする。					
	到達目標	(1)精神保健及び精神疾患についての基礎的知識を理解する。 (2)メンタルヘルスを自分のこととして捉えることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の目的、目標、展開内容、評価方法などについて説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】精神保健の基礎(1) 【計画内容】精神保健の概論について学ぶ。 【準備学習の内容】精神保健とは何かを調べておくこと。					A、G
	第3回	【テーマ】精神保健の基礎(2) 【計画内容】精神保健の歴史について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第4回	【テーマ】人間の成長と発達の基礎的理解及びライフサイクルと精神保健(1) 【計画内容】人間の成長と発達を学び、また、乳児期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第5回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(2) 【計画内容】幼児期・学童期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第6回	【テーマ】ライフサイクルと精神保健(3) 【計画内容】青年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第7回	【テーマ】まとめと確認(中間)・ライフサイクルと精神保健(4) 【計画内容】振り返りと確認(中間)を行う。また、成人期・壮年期・老年期の特徴と心理的問題について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第8回	【テーマ】個別課題への理解と対応(1) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第9回	【テーマ】個別課題への理解と対応(2) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第10回	【テーマ】個別課題への理解と対応(3) 【計画内容】精神疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第11回	【テーマ】家庭における精神保健 【計画内容】家庭における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第12回	【テーマ】学校における精神保健 【計画内容】学校における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第13回	【テーマ】職場・地域における精神保健 【計画内容】職場・地域における精神保健について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第14回	【テーマ】精神保健福祉制度等について 【計画内容】精神保健福祉制度、精神障害者の人権・社会復帰に向けた支援について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
	第15回	【テーマ】まとめと確認(最終) 【計画内容】これまでの講義を振り返り、まとめと確認(最終)を行う。 【準備学習の内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。					A、G
テキスト	プリントを使用します						
参考書	十束士朗他、2004年、『あたらしい精神保健』、医学出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			レポート			小レポート取組み
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]介護福祉士_必修						
その他	成績評価は、各項目の60%以上取得した場合を合格とする。大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視するので、講義に集中できない学生はよく熟考して履修を決めること。						

科目名	生活の中の介護福祉		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	福島 義典						
授業の目的	ねらい	少子高齢社会といわれる現代では、介護を必要とする人の増加を背景に「介護」に関連する様々な課題が問われています。それらの課題と関連させながら「介護」とは何かを考えていきます。その上で介護援助の要素について学びます。 介護および介護福祉の概念・理念から講義をスタートし、それらを踏まえて介護福祉サービスを提供するための基本的な考え方と技法を学びます。					
	到達目標	(1)介護・介護福祉についての基本的な知識を身につける。 (2)介護を取り巻く状況について、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (3)介護を必要とする人の尊厳の保持と自立支援の重要性を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション、介護・介護福祉の概念・理念等について 【計画内容】 講義展開の説明から講義の全体像を把握し、学び方を考えます。介護等の理念等について学びます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおいてください。				A	
	第2回	【テーマ】 介護における倫理について 【計画内容】 人権と尊厳を支える介護とはどのようなことか。自立支援など介護における倫理についても学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第3回	【テーマ】 介護におけるコミュニケーションについて 【計画内容】 日常で行っているバーバル、ノンバーバルコミュニケーションを含めて、介護を通じてその意味と方法について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、B	
	第4回	【テーマ】 移動、排せつの介護について 【計画内容】 移動、排せつに関する介護等を介護用品も確認しながら、QOLも含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第5回	【テーマ】 食事、入浴の介護について 【計画内容】 食事、入浴に関する介護等をQOLも含めてケア内容等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第6回	【テーマ】 認知症ケアについて 【計画内容】 アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症等の疾病、そのケア対応内容などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、B	
	第7回	【テーマ】 福祉用具の意義と活用について 【計画内容】 よりよい生活を送るために福祉用具にはどのようなものがあるのか。福祉用具を利用した自立と介護について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第8回	【テーマ】 リスクマネジメントについて 【計画内容】 日常生活で起こり得るリスクについて、ソフト(人)やハード(物)を活用した予防方法等について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、B	
	第9回	【テーマ】 心身の健康管理について 【計画内容】 介護を行う上で大切となる心と体の健康管理を感染症予防、腰痛予防、メンタルヘルス等を通じて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、B	
	第10回	【テーマ】 介護にかかわる制度政策について 【計画内容】 介護、介護福祉にかかわる介護保険制度、老人福祉法などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、B	
	第11回	【テーマ】 障害の理解について 【計画内容】 介護を行う上で大切となる口腔ケア、その内容などについて学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第12回	【テーマ】 ターミナルケアについて 【計画内容】 ホームに入居している介護が必要な高齢者が、エンディングまで人生を生き抜くために行う支援と介護について学びます。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておいてください。				A、H	
	第13回	【テーマ】 介護予防について 【計画内容】 ケアレクやケアアクティビティ等、現在の介護予防の取り組みについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておいてください。				A、E	
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。				A、L	
	第15回	【テーマ】 今後のケアワークについて 【計画内容】 ケアワークの現状と課題と魅力、そして今後について学びます。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容を配付したプリントと各自のノートで復習してください。				A、H	
テキスト	講義時にプリントを配付します。						
参考書	講義時にプリントを配付します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%				50%	
補足	足						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	〔健〕介護福祉士_選必						
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。						

科目名	介護予防実践演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名	小田 史郎、阿部 豊、岩本 希、尾形 良子、梶 晴美、黒澤 直子、小坂井 留美、佐藤 郁子、佐藤 克之、杉岡 品子、本間 美幸、八巻 貴穂、吉田 修大							
授業の目的	ねらい	本科目では、介護予防論を踏まえ、地域で活動している団体等で実践している内容について現場実習を通じて体験する。また、本講座終了後、介護予防リーダーとしてどのような活動を行っていきたいのか終了レポートを作成する。さらに、終了レポートについて報告会にて発表し、介護予防の取り組みについて学びを深めることを目的とする。						
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の実際について理解する。 (2)現場での体験をしながら介護予防リーダーの役割について理解する。 (3)住民主体の介護予防計画を立案できるようになる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の展開予定について理解する。 実習のルールについて理解する。(小田史郎) 【準備学習の内容】介護予防論で学んだことを復習しておく。						A、G
	第2回	【テーマ】現場実習についての理解 【計画内容】実習を行う施設・団体の方から、実習の内容や心構え等を聞き、実習の準備を整える。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習を行う施設・団体について調べておく。						A、G
	第3回	【テーマ】現場実習(1) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第4回	【テーマ】現場実習(2) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第5回	【テーマ】現場実習(3) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第6回	【テーマ】現場実習(4) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第7回	【テーマ】現場実習(5) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第8回	【テーマ】現場実習(6) 【計画内容】住民主体の介護予防を行っている施設・団体に実習を行う。(小田史郎) 【準備学習の内容】実習のルールや心構えを復習しておく。						M
	第9回	【テーマ】介護予防計画の立案(1) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第10回	【テーマ】介護予防計画の立案(2) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第11回	【テーマ】介護予防計画の立案(3) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第12回	【テーマ】介護予防計画の立案(4) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第13回	【テーマ】介護予防計画の立案(5) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第14回	【テーマ】介護予防計画の立案(6) 【計画内容】実習で得た知識や経験をもとに、介護予防計画を立案する。(全教員) 【準備学習の内容】実習で得た知識や経験をまとめておく。						G
	第15回	【テーマ】介護予防計画の報告 【計画内容】自ら立案した介護予防計画の報告を行う。(全教員) 【準備学習の内容】介護予防計画のレポートをもとに発表練習をしてくる。						B、F
テキスト	講義内で提示します							
参考書	講義内で提示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補足								
質問への対応	講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。							
資格								
その他								

科目名	医学概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	大宮司 信						
授業の目的	ねらい	科学と医学の進歩により、例えばヒトの遺伝情報の全貌が明らかにされつつある。このような現代医学の進歩を踏まえて、健康と長寿をキーワードとし、介護や福祉に従事するために必要なからだのしくみを習得する。また心身機能と身体機能及び疾病や傷害について、人間の成長・発達と日常生活との関係を踏まえて理解する。さらに国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。					
	到達目標	(1)健康と長寿をキーワードとし、身体の構造と生理機能を学ぶ。 (2)介護や福祉に従事するために、必要なからだのしくみや疾病を習得する。 (3)国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義全体のオリエンテーション及び人体の解剖・生理の基礎 【計画内容】 人体の主要部位の名称、人体を構成する細胞の構造と機能、そして全体としてのからだの働きを学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスにより講義内容を把握しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 がん(総論) 【計画内容】 がんとはどのようなものかについて理解する。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第3回	【テーマ】 がん(各論) 【計画内容】 現代問題にされているがんについて理解し、その社会的な影響について考える。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第4回	【テーマ】 感染症(1) 【計画内容】 結核を中心に、感染症に対する公衆衛生を踏まえた社会の取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第5回	【テーマ】 感染症(2) 【計画内容】 エイズ、ノロウイルス感染症などの新しい感染症とその社会に与える影響について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第6回	【テーマ】 人の成長と発達(1) 【計画内容】 出生から死亡までの人の一生とその各時期の特徴からからだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第7回	【テーマ】 人の成長と発達(2) 【計画内容】 若者にすでにみられるメタボリック症候群、その結果中年以降に問題となる生活習慣病について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第8回	【テーマ】 人の成長と発達(3) 【計画内容】 生活習慣病の結果として高血圧・脳血管疾患について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第9回	【テーマ】 ICFの基本的な考え方と概要 【計画内容】 WHOの疾病の把握の仕方や取り組みの概要について学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第10回	【テーマ】 健康のとらえ方 【計画内容】 健康・病気・未病などの考え方を西洋と東洋を比較しながら、からだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第11回	【テーマ】 リハビリテーション(1) 【計画内容】 第8回で学んだ脳血管疾患を例にとってリハビリテーションの概略を知る。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第12回	【テーマ】 リハビリテーション(2) 【計画内容】 地域リハビリテーションやエンパワーメントなどのリハビリテーションについて最近の知見を学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第13回	【テーマ】 話題の病気 【計画内容】 これからパンデミックな広がり懸念される、鳥インフルエンザ感染症などについて取り上げる。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第14回	【テーマ】 日本の医療 【計画内容】 他の国々と比較した際の我が国の疾病の特徴や取り組みについて学ぶ。 【準備学習の内容】 前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A				
	第15回	【テーマ】 全体のまとめ: 病気からみた健康と人間の一生 【計画内容】 疾病をとおしてみた健康や人の成長と一生を全体として考える。 【準備学習の内容】 これまで学んだことをあらかじめ復習しておくこと。	A				
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉養成講座-1)』、中央法規出版						
参考書	講義時に適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
補足				毎回の小レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
その他	欠席時は事後でもよいので必ず欠席届を提出すること。						

科目名	医学知識		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	大宮司 信						
授業の目的	ねらい	死・ターミナルケア・緩和医療などを念頭に、からだのしくみの基礎、すなわち身体の構造並びに生理機能、特に死にゆくひとのこころとからだのしくみを理解するために医療の各分野を全般的に紹介し、現代に特徴的な疾病についての講義をねらいとする。特に死の捉え方、終末期から危篤の時期・死亡期の身体的・精神的諸問題の理解など、医療職との連携をふまえ、疾病を広く理解できることを目標とする。					
	到達目標	(1)介護領域を中心に会うことの多い疾患とその背景にある身体の仕組みを説明できる。 (2)臨死・緩和ケアに関する考え方の基礎を理解している。 (3)他の医療機関との関係・協力、それぞれの果たす役割が理解できている。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション：医療の倫理 【計画内容】 介護・福祉に携わる立場の専門家として必要な医療の倫理を学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスをあらかじめよく読んでおくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 医療の中の介護と福祉 【計画内容】 他の医療機関との関係、連携の仕方、役割分担などを知ることを通して、からだのしくみを理解する重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 人の身体の恒常性の維持機能(1) 【計画内容】 人が外界の変化に関わらず身体を恒常的に維持できる機能、すなわちホメオスタシスについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第4回	【テーマ】 人の身体の恒常性の維持機能(2) 【計画内容】 ホメオスタシスの具体的な機能である内分泌や免疫系について学び、からだのしくみを理解する。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第5回	【テーマ】 脳・神経の構造と機能 【計画内容】 神経系のしくみと働きを脊髄反射などを通して学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第6回	【テーマ】 循環のしくみと構造 【計画内容】 心臓を中心とする体循環・肺循環・抹消循環、動脈と静脈、リンパの循環などについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第7回	【テーマ】 循環の異常と病気 【計画内容】 高血圧、心筋梗塞などの虚血性心疾患とその治療について学ぶ。AEDの使用法についても実習する。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第8回	【テーマ】 消化のしくみと構造 【計画内容】 口から肛門へ至る消化器の構造と機能、消化・吸収の意義などについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第9回	【テーマ】 消化の異常と病気 【計画内容】 介護場面で問題となる嚥下障害をはじめ、主な消化器の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第10回	【テーマ】 呼吸のしくみと構造、その病気 【計画内容】 外呼吸と内呼吸、肺の構造とはたらき、肺炎や誤嚥による気道閉塞の危険性などについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第11回	【テーマ】 排泄のしくみと構造 【計画内容】 腎臓における尿の生成のしくみ、排尿のしくみ、泌尿器系の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第12回	【テーマ】 皮膚の構造と病気 【計画内容】 褥瘡のできるしくみ・治療・予防を中心に皮膚の病気について学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第13回	【テーマ】 臨死(1) 【計画内容】 死にゆく人のこころとからだのしくみを学ぶ。 【準備学習の内容】 指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。				A	
	第14回	【テーマ】 臨死(2) 【計画内容】 ターミナルケアと緩和医療を学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付する資料を読んでおくこと。				A	
	第15回	【テーマ】 まとめ：医療の中の介護と福祉の役割 【計画内容】 医療の中において介護・福祉が置かれている現在の状況やこれからの可能性について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付する資料を読んでおくこと。				A	
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉士養成講座-1)』、中央法規出版						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足			40% 毎回の 小レポート		60%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]介護福祉士_必修						
その他	欠席時は事後でよいので必ず欠席届を提出すること。						

科目名	社会学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	松下 守邦						
授業の目的	ねらい	社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の一つの学問です。経済学や政治学の扱う領域に近いものですが、人間生活をあつかう社会福祉学にも近い学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。					
	到達目標	(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。 (2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。 (3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。 (4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 テキスト、配付資料、ノート、作業課題(齊藤孝氏「3色線引読み」)、授業の振り返りなど、授業のながれについて説明をします。 【準備学習の内容】 シラバスと「講義ノートの作り方」(参考動画、下記に URL 記載)を確認ください。				A	
	第2回	【テーマ】 社会学の考え方 【計画内容】 社会学の基本的概念である、社会化、社会的地位、役割について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第1章「社会学の考え方」を読み、予習してください。				A	
	第3回	【テーマ】 家族社会-1 【計画内容】 家族の種類と機能について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第2章「家族の構成と機能」を読み、予習してください。				A	
	第4回	【テーマ】 家族社会-2 【計画内容】 日本の家族形態の変化と親族関係について、解説しその問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第3章「日本の家族の変容と親族関係」と配付資料を読み、予習してください。				A	
	第5回	【テーマ】 ライフコース 【計画内容】 ライフコース、ライフサイクルについて、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第4章「ライフコースの発想」と学習のヒントを読み、予習してください。				A	
	第6回	【テーマ】 「社会学の基本的概念」「家族社会」「ライフコース」のまとめ 【計画内容】 3テーマ「社会学の基本的概念」「家族社会」「ライフコース」の復習と理解度を確認する作業をおこないます。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容を整理し、テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認してください。				A、L	
	第7回	【テーマ】 ジェンダー 【計画内容】 性別役割規範、ジェンダー、社会文化的性差について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第5章「ジェンダー」と学習のヒントを読み、予習をしてください。				A	
	第8回	【テーマ】 地域社会-1 【計画内容】 都市化、都市的生活様式、過疎化について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第8章「都市と都市的生活様式」と学習のヒントを読み、予習をしてください。				A	
	第9回	【テーマ】 地域社会-2 【計画内容】 第一次的関係、パーソナル・ネットワーク、地域社会の人口変動について、解説し問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第10章「都市社会のパーソナル・ネットワーク」と学習のヒントを読み、予習をしてください。				A	
	第10回	【テーマ】 少子化と高齢化 【計画内容】 少子化と高齢化、人口転換(出生力、死亡力)について、その定義と問題点を学習します。 【準備学習の内容】 テキスト第11章と学習のヒントを読み、予習をしてください。				A	
	第11回	【テーマ】 「ジェンダー」「地域社会」「少子化と高齢化」のまとめ 【計画内容】 3テーマ「ジェンダー」「地域社会」「少子化と高齢化」の復習と理解度を確認する作業をおこないます。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容を整理し、テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認してください。				A、L	
	第12回	【テーマ】 社会階層と格差 【計画内容】 平等と公平の意味、公正の定義について説明します。さらに社会的少数者への配慮について学習をします。 【準備学習の内容】 テキスト第7章「社会階層と格差」と学習のヒントを読み、予習をしてください。				A	
	第13回	【テーマ】 産業労働社会 【計画内容】 田中研之輔「井家の経営」、仕事のあり方に関する文献を学習します。 【準備学習の内容】 配付資料を読み、予習をしてください。				A、K	
	第14回	【テーマ】 福祉社会 【計画内容】 ギデンス「貧困」、ホックシールド「感情労働」、社会福祉と対人サービスのあり方に関する文献を学習します。 【準備学習の内容】 配付資料を読み、予習をしてください。				A、K	
	第15回	【テーマ】 授業全体のまとめと振り返り 【計画内容】 授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料、オリジナルノートを確認、その上で不明な点を質問できるよう準備してください。				A、L	
テキスト	森岡清志、2016年、『改訂版 社会学入門』、放送大学教育振興会、9784595316319						
参考書	日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 日本社会学会、2017年、『社会学理論応用事典』、丸善、9784621300749						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		10%	10%
	補足	筆記試験		作業シート		協働学習に参加	ノート作成
質問への対応	初回授業の際に説明をします。						
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必、社会教育主事_選必						
その他	ていねいに深く学びつづけることを大切にします。「講義ノートの取り方」アカデミック・スキルズ(佐藤望先生)を参考にしてください。 https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA						

科目名	心理学概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	澤 聡一						
授業の目的	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることにより、自己洞察や他者理解を深めることを目指します。講義で扱う心理学の概念を日常生活の経験にてらして具体的に理解し、自己の成長や円滑な人間関係の構築、ひいては他者への支援に応用できるような活きた心理学の知識と考察する力を身につけることを目標とします。					
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景について学び、心理学が社会からどのように必要とされてきたかを知ること、心の学びのイントロダクションとします。 【準備学習の内容】シラバスの内容をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第2回	【テーマ】集団心理 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にあることで受ける影響等について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストの第2章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】自己概念や自尊感情など、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第7回	【テーマ】学習 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように対応しているかを学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章の該当箇所を読んでおくほか、配付資料で示した課題に取り組むこと。				A、K	
	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけ、生理的欲求、社会的欲求、認知的欲求等について概説します。 【準備学習の内容】テキストの第6章をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域と、さまざまな理論について紹介します。 【準備学習の内容】テキストの第7章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】クライアント中心療法や認知行動療法などのさまざまな心理療法について概説します。 【準備学習の内容】テキストの第7章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第13回	【テーマ】乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、人間の成長の特殊性、認知発達理論、発達段階説、言語発達の様相などについて学びます。 【準備学習の内容】テキストの第8章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】自我同一性などの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【準備学習の内容】テキストの第8章の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。				A、K	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを、ストレス等を例に考えます。 【準備学習の内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。				A、K	
テキスト	平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940133						
参考書	講義のなかで適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				30%	30%
	補足	最終				平時	毎回の感想・考察シート
質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。						
資格	[健]介護福祉士 _ 選必、社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必 [心]公認心理師 _ 必修、精神保健福祉士 _ 選必、認定心理士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必						
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 私語や携帯電話使用などの講義の進行を妨げる行為や他の受講生への迷惑行為に対し、注意されても受講態度が変わらない場合は単位を認定しません。						

科目名	ソーシャルワーク概説Ⅰ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	岩本 希						
授業の目的	ねらい	本講義は社会福祉士やソーシャルワーカーに求められる人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解することを目的とします。さらに、ソーシャルワークの形成過程を踏まえつつ、相談援助に必要な理念について学ぶことによって社会福祉およびソーシャルワークの基礎的概念を理解します。					
	到達目標	(1)社会福祉専門職である社会福祉士の役割や意義について説明することができる。 (2)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な資格制度の歴史、法制度、ソーシャルワークの定義など相談援助の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 (3)社会福祉士およびソーシャルワーカーに必要な人権尊重や社会正義など相談援助の理念を理解する。 (4)総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション ソーシャルワークとは何か 【計画内容】ソーシャルワークの概念を踏まえ、ソーシャルワークの視点に沿ったクライアントを理解する考え方について学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(1)～社会福祉士とは～ 【計画内容】社会福祉士及び精神保健福祉士の仕事内容や活躍している施設・機関について学びます。さらに社会福祉士が社会に対して果たすべき役割や意義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第1節を読んでおくこと。				A	
	第3回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(2)～社会福祉士の専門性～ 【計画内容】社会福祉士としてクライアントを支援する場合、どのような専門的な知識、技術、価値・倫理を用いているのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第1節を読んでおくこと。				A	
	第4回	【テーマ】社会福祉士の役割と意義(3)～社会的背景～ 【計画内容】ソーシャルワークを必要とする背景として、現代社会の特徴や地域生活における諸問題を学びます。 【準備学習の内容】テキストの第1章第2節を読んでおくこと。				A、K	
	第5回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(1)～ソーシャルワークの定義～ 【計画内容】ソーシャルワークの概念や定義について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章第1節を読んでおくこと。				A	
	第6回	【テーマ】相談援助の概念と範囲(2)～相談援助の構成要素～ 【計画内容】ソーシャルワークの構成要素の内容と相互の影響について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第2章第2節を読んでおくこと。				A、K	
	第7回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(1)～ソーシャルワークの源流、基礎確立期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第3章を読んでおくこと。				A	
	第8回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(2)～ソーシャルワークの発展期・展開期～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章第1,2節を読んでおくこと。				A	
	第9回	【テーマ】ソーシャルワークの形成過程(3)～ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク～ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史について学びます。また、歴史的背景を踏まえつつソーシャルワークがどのように発展してきたのか学びます。 【準備学習の内容】テキストの第4章第3節を読んでおくこと。				A、K	
	第10回	【テーマ】相談援助の理念(1)～ソーシャルワーク実践と価値～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章第1,2節を読んでおくこと。				A	
	第11回	【テーマ】相談援助の理念(2)～ソーシャルワーク実践と権利擁護～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第5章第3節を読んでおくこと。				A	
	第12回	【テーマ】相談援助の理念(3)～クライアントの尊厳と自己決定～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第1節を読んでおくこと。				A	
	第13回	【テーマ】相談援助の理念(4)～ソーシャルワークと自立支援～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第1節を読んでおくこと。				A	
	第14回	【テーマ】相談援助の理念(5)～ノーマライゼーション、社会的包摂～ 【計画内容】ソーシャルワーカーの相談援助において重要な理念について学びます。 【準備学習の内容】テキストの第6章第2節を読んでおくこと。				A	
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】今日的なソーシャルワーク(相談援助)と専門職のありかたについての整理と理解度の確認。 【準備学習の内容】第14回までの復習しておくこと。				A、K、L	
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『社会福祉士養成講座 第6巻 相談援助に基盤と専門職 第3版』、中央法規出版						
参考書	講義で適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
	補足			ワークシート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必						
その他							

科目名	ソーシャルワーク概説Ⅱ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	岩本 希						
授業の目的	ねらい	本講義は、ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念や専門職倫理について我が国の資格制度と関連させながら理解することを目的としています。また、地域におけるソーシャルワーク(相談援助)の考え方やその理論的背景について学びます。					
	到達目標	(1)ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲について理解する。 (2)ソーシャルワーク(相談援助)における専門的倫理について理解する。 (3)総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)、多職種連携について理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション(社会福祉とソーシャルワークの関係) 【計画内容】講義の展開方法の説明及び本講義で扱うソーシャルワーク(相談援助)の社会福祉相対システムにおける位置づけを確認する。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。			A		
	第2回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲1- 専門職と専門職団体 【計画内容】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の成立要件や専門職団体の意義や目的を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第1節を読んでおくこと。			A		
	第3回	【テーマ】ソーシャルワーク(相談援助)専門職の概念と範囲2- 社会福祉専門職とその範囲 【計画内容】わが国の社会福祉従事者と社会福祉専門職の理解と分野別社会福祉専門職の業務や役割を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第10章第2節を読んでおくこと。			A、K		
	第4回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ1- 専門職倫理の概念 【計画内容】価値と倫理に関する基本的な理解及び専門職倫理の必要性について学ぶ。 【準備学習の内容】テキスト第7章第1節を読んでおくこと。			A		
	第5回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ2- 倫理綱領 【計画内容】倫理綱領の意義と内容について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第2節を読んでおくこと。			A		
	第6回	【テーマ】専門的倫理と倫理的ジレンマ3- 倫理的ジレンマへの対応 【計画内容】倫理的ジレンマへの対応方法について、事例に基づいて理解する。 【準備学習の内容】テキスト第7章第3節を読んでおくこと。			A、J、K		
	第7回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)1- 動向と背景 【計画内容】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)をめぐる動向とその理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第1節を読んでおくこと。			A		
	第8回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)2- 基本的視座 【計画内容】地域を基盤としたソーシャルワーク(相談援助)の基本的視座について理解する。 【準備学習の内容】テキスト第8章第2節を読んでおくこと。			A、K		
	第9回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論1 【計画内容】総合的なソーシャルワーク(相談援助)の考え方と政策動向を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第1節を読んでおくこと。			A		
	第10回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論2 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークに関する理論を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。			A		
	第11回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)を支える理論3 【計画内容】ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第9章第2節を読んでおくこと。			A、K		
	第12回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能1- 総合相談の全体像 【計画内容】総合相談システムの今日的課題を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章の解説を読んでおくこと。			A		
	第13回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能2- 機能の解説1 【計画内容】個と地域の一体的機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第1節から第3節を読んでおくこと。			A		
	第14回	【テーマ】総合的かつ包括的なソーシャルワーク(相談援助)における専門的機能3- 機能の解説2 【計画内容】総合的支援機能、多問題家族支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能を理解する。 【準備学習の内容】テキスト第11章第4節から第7節を読んでおくこと。			A		
	第15回	【テーマ】総括と確認 【計画内容】ソーシャルワークの専門職倫理及び総合的かつ包括的な相談援助についての整理と理解度の確認をする。 【準備学習の内容】第14回までの復習をしておくこと。			A、K、L		
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新・社会福祉士養成講座6相談援助の基盤と専門職 第3版』、中央法規出版、4805832533						
参考書	講義で適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
補足	ワークシート						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必						
その他	本講義は、「相談援助の基盤と専門職」で教育されるべき内容の一部に該当しています。						

科目名	ソーシャルワーク論Ⅰ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	尾形 良子						
授業の目的	ねらい	相談援助の過程とそれに関わる知識と技術について理解します。相談援助における援助関係のあり方や面接技術の知識などの理解を通して、人間関係形成のための基礎的なコミュニケーションや対人援助の技法を学びます。					
	到達目標	(1)実践のために必要な人間理解や、他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーションに関する知識を習得します。 (2)ソーシャルワークの展開過程や面接技術について理解します。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、ソーシャルワークとは何か 【計画内容】講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明します。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。				A、K、L	
	第2回	【テーマ】相談援助における援助関係① 【計画内容】援助関係の意義と概念について学び、相談援助のあり方について考えます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第3回	【テーマ】相談援助における援助関係② 【計画内容】援助関係を築く際の人間関係形成の方法について学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第4回	【テーマ】相談援助における援助関係③ 【計画内容】援助関係に必要なコミュニケーションの基礎について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第5回	【テーマ】相談援助の過程① 【計画内容】問題発見から援助につながる過程について理解します。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第6回	【テーマ】相談援助の過程② 【計画内容】インタークからアセスメントに至る過程について学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第7回	【テーマ】相談援助の過程③ 【計画内容】プランニングから援助の実施に進む過程について学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第8回	【テーマ】相談援助の過程④ 【計画内容】モニタリング、終結までの援助過程について学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第9回	【テーマ】相談援助のための面接技術① 【計画内容】面接の意義や目的について学びます。面接のために重要なことは何か理解を深めます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第10回	【テーマ】相談援助のための面接技術② 【計画内容】面接の方法や技術について学びます。面接に必要なコミュニケーション技術についても理解します。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第11回	【テーマ】相談援助の技術① 【計画内容】スーパービジョンの目的や機能、方法について学び、実践の場で活用することの重要性を理解します。 【準備学習の内容】授業時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第12回	【テーマ】相談援助の技術② 【計画内容】ソーシャルワーカーが用いる記録のスタイルや様式について学び、その方法を理解します。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第13回	【テーマ】相談援助の現代的課題 【計画内容】ソーシャルワークにおける現代的な特徴と、それに伴う課題について学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第14回	【テーマ】相談援助の実際 【計画内容】事例を用いて、援助関係のあり方について理解を深め、援助のプロセスを学びます。 【準備学習の内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。				A、K、L	
	第15回	【テーマ】相談援助の実際と試験 【計画内容】事例から、面接技術の活用方法やコミュニケーションのあり方について学び、また、まとめを行います。 【準備学習の内容】これまでに配付したプリントを復習しておくこと。				A、K、L	
テキスト	プリントで実施します						
参考書	講義の中で適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	40%				60%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します						
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修						
その他							

科目名	高齢者福祉論 I				授業形態	講義	単位数	2
教員名	吉田 修大							
授業の目的	ねらい	現代社会における高齢者問題について、人口構造、家族形態、地域社会等の変化などから理解を深める。また、高齢者福祉制度の発展過程について理解することをねらいとする。さらに、高齢者福祉の理念・目的を押さえて、相談援助活動に必要な高齢者福祉ニーズ・介護需要に対応する法制度について理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)高齢者の生活実態を多方面から理解する。 (2)高齢者福祉の発展過程を歴史展開から理解する。 (3)高齢者の生活や支援に関する法律・制度を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】高齢者の社会的理解を定義とイメージ、家族と社会関係、社会参加と生きがい、安全と差別のキーワードから考え理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、K	
	第2回	【テーマ】現代社会と高齢者問題1 【計画内容】高齢者の生活実態について、生涯発達の意味、人生と社会変動、死とスピリチュアリティ等から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】現代社会と高齢者問題2 【計画内容】高齢者を取り巻く社会情勢について、少子高齢社会の現状やその原因、地域間格差をキーワードにして、国内外の状況を理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】現代社会と高齢者問題3 【計画内容】高齢者の暮らしと福祉及び介護需要について、住居や居住条件をめぐる変化、産業別従事者の推移、就労の実態から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第5回	【テーマ】高齢者と家族 【計画内容】高齢者介護と家族の関係について、ライフサイクルの変化、扶養に関する変化から介護の問題と家族関係の変化について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】高齢者の理解 【計画内容】高齢者の身体・精神的特性について、加齢に伴う身体機能の変化、老化の指標(外面、内面)、心理的な特徴と心の病気から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程1 【計画内容】老人福祉法制定前の歴史について、古代の養老律令から四箇院、恤救規則といった制度とその背景を考えることにより理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程2 【計画内容】老人福祉法制定以降の歴史 昭和40年代から60年代、平成元年から7年、平成7年から12年の年代ごとの特徴から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ1 【計画内容】高齢者を取り巻く諸問題の中から、特に健康問題、介護問題、老老介護、認知症の問題を中心に理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第10回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ2 【計画内容】高齢者の住まいと環境、就労・雇用・収入など所得状況、貯蓄の分布、生活保護、生活意識から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第11回	【テーマ】高齢者の法制度1 【計画内容】老人福祉法の概要について、成立の経緯、構成、総則の内容、福祉の措置、老人福祉計画、有料老人ホームについて理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第12回	【テーマ】高齢者の法制度2 【計画内容】高齢者の医療制度の概要について、成立の経緯、背景、主な内容、これからの課題について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第13回	【テーマ】高齢者の法制度3 【計画内容】介護保険法の概要について、介護保険制度の全体像、目的と理念、改正の背景と方向性、保険財政について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第14回	【テーマ】高齢者の法制度4 【計画内容】関連諸施策の概要について、高齢者虐待防止法、バリアフリー法の内容、高齢者の居住の安定確保に関する法律等について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第15回	【テーマ】高齢者保健福祉制度の課題(まとめ) 【計画内容】高齢者保健福祉制度における高齢者支援の課題について、第11回から14回以外の制度施策(権利擁護・成年後見制度等)について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
その他								

科目名	高齢者福祉論 I				授業形態	講義	単位数	2
教員名	若狭 重克							
授業の目的	ねらい	現代社会における高齢者問題について、人口構造、家族形態、地域社会等の変化などから理解を深める。また、高齢者福祉制度の発展過程について理解することをねらいとする。さらに、高齢者福祉の理念・目的を押さえて、相談援助活動に必要な高齢者福祉ニーズ・介護需要に対応する法制度について理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)高齢者の生活実態を多方面から理解する。 (2)高齢者福祉の発展過程を歴史展開から理解する。 (3)高齢者の生活や支援に関する法律・制度を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】高齢者の社会的理解を定義とイメージ、家族と社会関係、社会参加と生きがい、安全と差別のキーワードから考え理解する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、K	
	第2回	【テーマ】現代社会と高齢者問題1 【計画内容】高齢者の生活実態について、生涯発達の意味、人生と社会変動、死とスピリチュアリティ等から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】現代社会と高齢者問題2 【計画内容】高齢者を取り巻く社会情勢について、少子高齢社会の現状やその原因、地域間格差をキーワードにして、国内外の状況を理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】現代社会と高齢者問題3 【計画内容】高齢者の暮らしと福祉及び介護需要について、住居や居住条件をめぐる変化、産業別従事者の推移、就労の実態から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第5回	【テーマ】高齢者と家族 【計画内容】高齢者介護と家族の関係について、ライフサイクルの変化、扶養に関する変化から介護の問題と家族関係の変化について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】高齢者の理解 【計画内容】高齢者の身体・精神的特性について、加齢に伴う身体機能の変化、老化の指標(外面、内面)、心理的な特徴と心の病気から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程1 【計画内容】老人福祉法制定前の歴史について、古代の養老律令から四箇院、恤救規則といった制度とその背景を考えることにより理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第8回	【テーマ】高齢者福祉の発展過程2 【計画内容】老人福祉法制定以降の歴史 昭和40年代から60年代、平成元年から7年、平成7年から12年の年代ごとの特徴から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ1 【計画内容】高齢者を取り巻く諸問題の中から、特に健康問題、介護問題、老老介護、認知症の問題を中心に理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第10回	【テーマ】高齢期の諸問題と生活ニーズ2 【計画内容】高齢者の住まいと環境、就労・雇用・収入など所得状況、貯蓄の分布、生活保護、生活意識から理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第11回	【テーマ】高齢者の法制度1 【計画内容】老人福祉法の概要について、成立の経緯、構成、総則の内容、福祉の措置、老人福祉計画、有料老人ホームについて理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第12回	【テーマ】高齢者の法制度2 【計画内容】高齢者の医療制度の概要について、成立の経緯、背景、主な内容、これからの課題について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第13回	【テーマ】高齢者の法制度3 【計画内容】介護保険法の概要について、介護保険制度の全体像、目的と理念、改正の背景と方向性、保険財政について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第14回	【テーマ】高齢者の法制度4 【計画内容】関連諸施策の概要について、高齢者虐待防止法、バリアフリー法の内容、高齢者の居住の安定確保に関する法律等について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
	第15回	【テーマ】高齢者保健福祉制度の課題(まとめ) 【計画内容】高齢者保健福祉制度における高齢者支援の課題について、第11回から14回以外の制度施策(権利擁護・成年後見制度等)について理解する。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、K	
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			70%		30%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します							
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
その他								

科目名	児童・家庭福祉論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	小松 留美子						
授業の目的	ねらい	①児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力(D.V)の実態を含む。)について理解する。 ②児童・家庭福祉制度の発展過程について理解する。 ③児童の権利について理解する。 ④相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。					
	到達目標	(1)児童・家庭福祉に関する基礎知識を習得する。 (2)現代社会と児童・家庭福祉の問題について理解する。 (3)将来の担い手として、子どもと家庭を取り巻く課題及び今後の展望について自らの意見を述べるができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、講義の進め方、評価等について説明する。児童家庭福祉を学ぶ意義を考える。 【準備学習の内容】シラバスの内容を確認しておくこと。			A、G		
	第2回	【テーマ】現代の児童家庭福祉 【計画内容】子どもを取り巻く環境の変化について考え、子どもの貧困など子どもと家庭を取り巻く諸問題について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第3回	【テーマ】児童の定義と権利 【計画内容】子どもの権利について理解を深め、子どもの定義を確認しながら、その変遷と現代の課題について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第4回	【テーマ】配偶者からの暴力とDV禁止法 【計画内容】ドメスティックバイオレンスの現状と法的な対応についての理解を深め、課題と今後の展望について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第5回	【テーマ】児童虐待の現状と取り組み 【計画内容】児童虐待について理解を深め、その対策について考えながら、法制度などを理解する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第6回	【テーマ】親子の関係と愛着について 【計画内容】親子の絆の大切さと影響について理解を深め、役割を理解する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第7回	【テーマ】児童福祉施策の現状と課題 【計画内容】現代社会における児童福祉施策の現状と課題について理解し、今後求められる対策について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第8回	【テーマ】子育て支援と健全育成事業 【計画内容】現代社会における子育ての実際と地域社会の変容について理解し、今後求められる課題について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第9回	【テーマ】児童・家庭福祉を実施する行政機関と施設 【計画内容】社会的養護の種類について理解し、課題と展望について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第10回	【テーマ】児童相談所の役割と現状 【計画内容】児童相談の内容や関係機関との連携について理解を深め、現代の課題と今後の展望について考察する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第11回	【テーマ】児童・家庭福祉の歴史 【計画内容】これまで学習した諸制度などを踏まえながら、子ども家庭福祉の歴史について理解を深め、今日における課題について考察する。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第12回	【テーマ】児童・家庭福祉の法制度と行政の仕組み 【計画内容】法制度の変遷と現状及び行政の仕組みについて理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第13回	【テーマ】児童・家庭福祉のネットワーク 【計画内容】児童・家庭福祉におけるネットワークの意義とその機能について理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第14回	【テーマ】児童・家庭福祉に関わる専門機関の役割と実際 【計画内容】専門機関および専門職の役割と現状を理解し、今後の課題について考える。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
	第15回	【テーマ】児童家庭福祉に関わる基本的な知識の振り返り 【計画内容】児童家庭福祉にかかわる基本的な知識について復習し、理解を深める。 【準備学習の内容】配付資料に示す予習課題に取り組むこと。			A、G		
テキスト	山縣文治、2017年、『よくわかる子ども家庭福祉[第9版]』、ミネルヴァ書房、9784623069545 伊藤嘉余子 / 澁谷昌史、2017年、『子ども家庭福祉』、ミネルヴァ書房、9784623079261						
参考書	浅井春夫、2017年、『子ども家庭福祉[第3版]』、建帛社、9784767950587						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%		70%		10%	
補足				授業内レポート実施			
質問への対応	初回時に説明する。						
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
その他	授業中の私語やスマートフォンの利用には厳粛に対応する。						

科目名	生活生理学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	長屋 智美						
授業の目的	ねらい	解剖学・生理学から心身のメカニズムを知り、生活行為の成り立ちを理解する。 その上で生活行為の障害はなぜ起きるのか、それにどのように対応すればいいのか、について効果的で根拠を持った対応をする必要性を理解できる。					
	到達目標	(1)生活行為の生理的なしくみを理解することができる (2)精神面を含めたからだの仕組みを知り、必要な援助とその根拠を考慮することができる (3)根拠を持って適した介護技術を行うことが、どのように生活に影響を与えるかを説明することができる					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ころのしくみを理解する 【計画内容】 ころのしくみについての基本を講義。 脳や神経ところの関連を学習する。 【準備学習の内容】 指定テキストを事前に準備し、全体の目次に目を通しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 からだのしくみを理解する① 【計画内容】 解剖学的な視点からからだのしくみを学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 からだのしくみを理解する② 【計画内容】 からだのうごきに関連するからだのしくみを学習する。 高齢者のからだの特徴について学習する。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第4回	【テーマ】 身じたくに関連したしくみ 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の身じたくに関するころとからだのしくみについて。 身じたくの援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第5回	【テーマ】 移動に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の移動に関するころとからだのしくみについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第6回	【テーマ】 移動に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 移動の援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第7回	【テーマ】 食事のしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の食事に関するころとからだのしくみについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第8回	【テーマ】 食事のしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 食事の援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第9回	【テーマ】 入浴・清潔保持に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の入浴や清潔に関するころとからだのしくみについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第10回	【テーマ】 入浴・清潔保持に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 入浴や清潔の援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第11回	【テーマ】 排泄に関連したしくみ① 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の排泄に関するころとからだのしくみについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第12回	【テーマ】 排泄に関連したしくみ② 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 排泄の援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第13回	【テーマ】 睡眠に関連したしくみ 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の睡眠に関するころとからだのしくみについて。 睡眠の援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第14回	【テーマ】 死にゆく人に関連したしくみ 【計画内容】 代表的な生活行為ごとに必要なころとからだのしくみを理解し、根拠を持った援助を考える。 生活行為の中の看取りに関するころとからだのしくみについて。 看取りの援助に関わる観察のポイント・医療職との連携のポイントについて。 【準備学習の内容】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。				A	
	第15回	【テーマ】 ころとからだのしくみについてのまとめ 【計画内容】 実際の介護や相談の場面で根拠を持って援助するための知識について確認する。 事例演習をグループワークで行う。 【準備学習の内容】 第14回の授業内容を復習しておくこと。				H	
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会、2015年、『ころとからだのしくみ』、中央法規、9784805839430						
参考書	プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足	授業振り返しシート						
質問への対応	授業中・終了後いずれか						
資格	[健]介護福祉士_必修						
その他	テキストを購入・準備すること						

科目名	介護概論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	本間 美幸						
授業の目的	ねらい	本講義では、介護及び介護福祉の概念を様々な角度から学ぶことを目的とする。 介護福祉の意義・介護福祉士の役割と専門性を考え、介護福祉サービス利用者の尊厳の保持と自立支援の重要性を認識する。 介護福祉士の社会的な役割を、社会福祉・介護福祉の歴史を踏まえて学んでいく。地域福祉・社会福祉施設の取り組みや諸外国の事例などから、介護福祉士としての姿勢と利用者理解を深めていく。					
	到達目標	(1)介護福祉士を取り巻く状況や背景を、介護の歴史を通して理解し、社会情勢と関連付けて考えることができる。 (2)介護福祉の理念、介護福祉士の倫理について学ぶとともに、実践場面でどのように活かせるのかを理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション:介護福祉とは? 【計画内容】講義展開の説明から講義の全体像を把握し、学び方を考えます。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、H				
	第2回	【テーマ】介護福祉の概念と歴史 【計画内容】介護福祉の成り立ちを概観し、介護福祉に関連する制度・社会情勢、対象者を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅰを読むこと。	A				
	第3回	【テーマ】介護福祉士を取り巻く状況 【計画内容】介護福祉に関連する社会情勢と介護をめぐる諸課題を整理し、求められる介護福祉士像を考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅱを読むこと。	A				
	第4回	【テーマ】介護のはたらきと基本視点 【計画内容】生活支援技術の意義を学び、観察をはじめとする基本視点を理解します。 【準備学習の内容】指定したテキストの第1章を読むこと。	A、H				
	第5回	【テーマ】介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ(1)介護福祉士制度 【計画内容】介護福祉士資格制度の成立過程、介護福祉士の役割・機能を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第2章Ⅲを読むこと。	A				
	第6回	【テーマ】介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ(2)関連諸規定 【計画内容】介護福祉士に関連する制度・諸規定を学び、介護福祉の理念について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章Ⅰを読むこと。	A				
	第7回	【テーマ】専門職団体の活動について 【計画内容】日本介護福祉士会の役割と機能を知り、専門職としてのあり方を学びます。 【準備学習の内容】事前に配付した資料を読んでおくこと。	A				
	第8回	【テーマ】尊厳を支える介護 【計画内容】介護福祉の対象を理解し、介護福祉の理念を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章ⅡⅢを読むこと。	A、H				
	第9回	【テーマ】ノーマライゼーションの視点とICFの考え方 【計画内容】ノーマライゼーションの理念を知り、ICFの基本的な考え方と介護福祉サービスへの活かし方を学びます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章ⅢⅣを読むこと。	A				
	第10回	【テーマ】自立に向けた介護～自立支援のための生活支援技術 【計画内容】日常生活における生活支援技術を介護サービス利用者の自立支援という視点で考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第3章Ⅳを読むこと。	A				
	第11回	【テーマ】介護福祉士の専門性と個別ケア 【計画内容】介護福祉士の専門性とは何かを考えるとともに、個別ケアの実践方法としてのユニットケアを学びます。 【準備学習の内容】配付した資料を読んでおくこと。	A				
	第12回	【テーマ】介護従事者の倫理(1) 【計画内容】介護の専門性と倫理について学び、介護職に求められる倫理について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第8章ⅠⅡを読むこと。	A				
	第13回	【テーマ】介護従事者の倫理(2) 【計画内容】介護福祉に関連する倫理的諸問題を取り上げ、介護福祉士に求められる倫理観について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第8章Ⅲを読むこと。	A、H				
	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、学びの確認をします。 【準備学習の内容】テキストおよび講義のプリントを復習すること。	L				
	第15回	【テーマ】介護福祉の課題と展望 【計画内容】わが国の介護福祉の状況と新たなサービスの展開について学び、その中で介護福祉士の可能性について考えます。 【準備学習の内容】指定したテキストの第13章を読むこと。	A、H				
テキスト	西村洋子編、2017年、『最新介護福祉全書第3巻 介護の基本』、メヂカルフレンド社、9784839231668 講義時にプリントを配付します						
参考書	適宜プリントに示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			40%		40%	20%
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[健]介護福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
その他	自ら考え学ぶ姿勢と積極的な受講態度を期待します。						

科目名	介護技術演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1		
教員名	藤原 素子						
授業の目的	ねらい	介護福祉の基本となる人間関係の形成、コミュニケーションについて学ぶ。利用者の生活場面で考えられるコミュニケーションを、人間関係形成の基本的視点から、また介護専門職の視点から考えていく。					
	到達目標	(1)人間関係形成の要素を考え、日常的なコミュニケーションのとり方を理解する。 (2)介護専門職としてコミュニケーションの方法を理解し、実践に活用する基盤を学ぶ。 (3)介護専門職に求められる観察・記録・報告を理解し、チームにおけるコミュニケーションを学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。人と関わることの基本を述べる。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。			A		
	第2回	【テーマ】 コミュニケーションとは 介護技術の意味とコミュニケーション 【計画内容】 介護技術の基本要素を説明し、コミュニケーションの重要性について考える。 【準備学習の内容】 指定したテキストの第1章を読んでおくこと。			A		
	第3回	【テーマ】 介護におけるコミュニケーションの基本 【計画内容】 人間関係形成の重要性を理解し、介護技術の基本要素としてコミュニケーションをとらえ、姿勢・方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。			A		
	第4回	【テーマ】 介護における関わりづくりの要素 様々なコミュニケーション手段の活用 【計画内容】 言語的、非言語的要素を合わせてメッセージの受け止め方、伝え方を考える。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。			A		
	第5回	【テーマ】 心身の状況に応じたコミュニケーション(1) 【計画内容】 高齢者の方、感覚機能に障害がある方とのコミュニケーション。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。			A、B		
	第6回	【テーマ】 心身の状況に応じたコミュニケーション(2) 【計画内容】 運動機能障害のある方、知的障害のある方とのコミュニケーション。 【準備学習の内容】 テキストにある指定した事例を読んでおくこと。			A、B		
	第7回	【テーマ】 心身の状況に応じたコミュニケーション(3) 【計画内容】 認知症のある方とのコミュニケーション。認知症のある方自身の困難さを理解し、尊厳を守る関わり方の基本を学ぶ。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。			A、B		
	第8回	【テーマ】 演習 事例による学習 【計画内容】 事例に基づきグループディスカッションを行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。			B、H		
	第9回	【テーマ】 介護における観察の意義 【計画内容】 介護実践における観察の意義を理解し、コミュニケーションにおける観察の重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。			A、B		
	第10回	【テーマ】 介護過程の理解 【計画内容】 個人の生活理解と支援方法を探るため、観察とコミュニケーションの役割を理解する。 【準備学習の内容】 配付するプリントの示す予習課題に取り組むこと。			A		
	第11回	【テーマ】 介護における記録・報告の基本 【計画内容】 記録・報告の原則を学び、介護専門職の役割を理解する。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。			A		
	第12回	【テーマ】 ケアチームにおける連携とコミュニケーション 【計画内容】 利用者主体の生活支援のための他職種との連携と介護職チーム内のコミュニケーションについて述べる。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。			A		
	第13回	【テーマ】 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 【計画内容】 利用者家族との意思疎通をはかり、利用者主体の生活支援に結びつけることの重要性を学ぶ。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。			A、B		
	第14回	【テーマ】 場面を想定した演習 ロールプレイによる学習 【計画内容】 利用者と関わる姿勢・言葉かけを体験的に学習し、意見交換を行う。 【準備学習の内容】 プリントの示す場面を想定し、検討しておくこと。			B、D		
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 講義、演習で学んだ内容を振り返り、実践での対応の仕方を考える。 【準備学習の内容】 プリント、テキストを復習し、理解を深めておくこと。			A、B		
テキスト	黒澤貞夫、2009年、『コミュニケーション技術』、建帛社、9784767933535						
参考書	介護福祉士養成講座編集委員会編、2016年、『コミュニケーション技術第3版』、中央法規、9784805853085 プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足				課題提出・レポート			
質問への対応	初回講義時具体的に説明する。						
資格	[健]介護福祉士_必修						
その他							

講義要綱
SYLLABUS
生涯スポーツ学部 1年次

平成30年4月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386-8011
FAX (011) 387-1542

